

2020年度

経済学部

目吉地区・三田地区設置

外国語科目履修案内

(英・独・仏・中・スペイン語・選択外国語)

目 次

一部の項目については、各学生に適用されている学則によって内容が異なる場合がありますので注意してください。特に注記がないものは全学則共通の内容です。

外国語科目 履修申告までのスケジュール	2
日吉「英語セミナー（特別上級）」応募要領・履修上の注意	4
第1 外国語科目の履修について	5
1 外国語科目の履修チャート	5
2 進級および卒業必要科目・単位	7
第2 選択必修科目のエントリー	8
1 エントリー	8
2 エントリー方法	9
3 結果発表	10
4 履修クラスが未決定の学生	10
5 決定した履修クラスの取り消し	10
6 複数履修について	10
第3 外国語Ⅰ（英語）の履修について	11
1 第1学年	11
2 第2学年	13
3 第3・4学年	14
4 段階的な履修について	14
5 外国語Ⅰ（英語）ガイダンスについて	15
6 英語セミナー・英語リーディングのトピック（テーマ）別一覧表	16
第4 外国語Ⅱの履修について	18
1 第1学年で履修する必修科目	18
2 第2学年で履修する選択必修科目	18
3 第1学年必修科目の再履修	19
4 第3・4学年での履修	19
第5 外国語Ⅲ・選択外国語・自主選択科目	20
1 外国語Ⅲ	20
2 選択外国語（選択A）・自主選択科目	21
日吉地区設置科目 講義要綱	23
三田地区設置科目 講義要綱	77

外国語科目 履修申告までのスケジュール

【春学期】

日時	時間	1年生	2・3・4年生	場 所
3/11 (水)	10:00~		外国語Ⅲ 履修希望申請 (第1学年で履修した外国語Ⅱと別語種の履修を希望する学生) →『第5 外国語Ⅲ・選択外国語・自主選択科目』p.20	
3/19 (木)	~11:00 締切		外国語Ⅲ 履修希望申請	
3/23 (月)	9:30		外国語Ⅲ 履修許可発表	※
	10:00~		「英語リーディング」 「英語セミナー【春】(中級・上級)」 } エントリー (1回目) 「独・仏・中・西」	
3/24 (火)	~13:30 締切		「英語リーディング」 「英語セミナー【春】(中級・上級)」 } エントリー (1回目) 「独・仏・中・西」	
3/25 (水)	9:30		「英語リーディング」 「英語セミナー【春】(中級・上級)」 } 履修クラス発表 (1回目) 「独・仏・中・西」	※
	9:30 ~13:30 締切		「英語リーディング」 「英語セミナー【春】(中級・上級)」 } エントリー (2回目) 「独・仏・中・西」	
3/26 (木)	9:30		「英語リーディング」 「英語セミナー【春】(中級・上級)」 } 履修クラス発表 (2回目) 「独・仏・中・西」	※
3/27 (金)	13:30 ~14:30	再履修クラス決定面接【1年原級者, 2年生】(第1学年必修外国語Ⅱ未取得者用) →『第4 外国語Ⅱの履修について』p.19の表で確認		日吉 第4校舎 独立館D203
			「英語リーディング」「英語セミナー【春】(中級・上級)」 「独・仏・中・西」履修クラス未決定学生, 外国語Ⅲ履修クラス, 「英語Study Skills」再履修者 学習指導面接	日吉 第4校舎 独立館D203
3/30 (月)		必ず4月1日までに「新入生お知らせシステム」で, クラス・学籍番号・履修タイプ, 外国語Ⅱの語種と未習, 既修クラスを確認し, 控えておいてください。		
4/1 (水)	9:15 ~10:40	新入生クラスガイダンス, 外国語Ⅰ(英語)全体ガイダンス (引き続き12:30まで学生生活ガイダンス, AED講習会が行われます)		日吉 第4校舎 独立館
	10:55 ~12:30	新入生学生生活ガイダンス・AED講習会		日吉 第4校舎 独立館
4/2 (木)	10:00~	「英語セミナー【秋】(中級・上級) エントリー (1回目)」		
	10:30集合	外国語Ⅱ(独・仏・中・西)既習クラスへの変更希望受付 →『第4 外国語Ⅱの履修について』p.18		日吉 第4校舎 23番教室
		外国語Ⅲ履修クラス 学習指導面接		
	11:00~	外国語Ⅰ(英語) ・「英語セミナー(中級・上級)」ヘルプデスク		日吉 第4校舎 J434,J435
13:00集合	「英語セミナー(特別上級)」履修者選抜(授業ガイダンス・ライティング試験) 春学期履修希望者(「英語Study Skills」免除希望者含む)および秋学期履修希望者 『日吉「英語セミナー(特別上級)」応募要領・履修上の注意』(p.4) →『第3 外国語Ⅰ(英語)の履修について』p.11		日吉 第4校舎 22番教室	

日時	時間	1年生	2・3・4年生	場 所
4/3 (金)	9:00	英語セミナー（特別上級）選抜・クラス振り分け結果発表		日吉 第4校舎 独立館経済 学部掲示板
	10:00～	「英語セミナー（特別上級）」ヘルプデスク 春学期履修希望者（「英語Study Skills」免除希望者含む）および秋学期履修希望者 →『第3 外国語Ⅰ（英語）の履修について』p.11		日吉 第3校舎 1階
	～13:30 締切	「英語セミナー【秋】（中級・上級）エントリー（1回目）」		
4/6 (月)	9:30	「英語セミナー【秋】（中級・上級）」履修クラス発表（1回目） 「英語セミナー【秋】（中級・上級）」エントリー（2回目）」		※
4/7 (火)		外国語Ⅰ・外国語Ⅱ・外国語Ⅲ（必修科目および選択必修科目） 授業開始 選択外国語（選択A）・留学生用日本語科目 授業開始		
	～13:30 締切	「英語セミナー【秋】（中級・上級）エントリー（2回目）」		
4/8 (水)	9:30	「英語セミナー【秋】（中級・上級）」履修クラス発表（2回目）」		※
	12:15 ～13:00	「英語セミナー【秋】（中級・上級）」履修クラス未決定学生 学習指導面接		日吉第4校舎 独立館 DB103・104
	12:30～	学事Web履修申告（～4/14 11:00） ・学事Web履修申告画面を開くと、エントリーで決定した選択必修科目が表示されます。正しく表示されているか、履修申告期間内に必ず確認してください。なお、エントリーを行わない必修科目は自動的に履修登録されませんので、必ず学事Web履修申告画面から履修申告してください。		
4/9 (木)	12:15 ～13:00	「英語セミナー【秋】（中級・上級）」履修クラス未決定学生 学習指導面接		日吉第4校舎 独立館 DB103・104
4/10 (金)	12:15 ～13:00	学習指導相談		日吉第4校舎 独立館 DB103・104
4/13 (月)	12:15 ～13:00	学習指導相談 エントリーで決定した「英語リーディング」「英語セミナー【春】（中級・上級）」の取消を希望する学生は、この日までに学習指導教員の面談を受けること。		日吉第4校舎 独立館 DB103・104
4/14 (火)			英語最上級アドバンスト英語を選択必修科目として履修を希望する学生は、外国語教育研究センターのガイダンスに出席し、必要な手続きを行った上でこの日までに所属地区の学生部へ申し出ること	所属地区の 学生部経済 学部窓口

■：『第2 選択必修科目のエントリー』 p.8

※：履修クラス発表 keio.jpのNews欄で確認してください。

→『第2 選択必修科目のエントリー』 p.8

【秋学期】

日時	時間	1年生	2・3・4年生	場 所
9月中旬		【1・2年生のみ】 ・9月上旬頃、以下①②の該当者のみに通知します。保証人宛住所に郵送する春学期成績表に同封します。 ①春学期に履修した外国語Ⅰ（英語）が不合格だった学生 ②「英語セミナー」のレベル変更を推薦された学生 →『第3 外国語Ⅰ（英語）の履修について』p.11		
9月中旬 ～下旬		秋学期履修修正 →『第2 選択必修科目のエントリー』 p.8, 『第3 外国語Ⅰ（英語）の履修について』 p.11		
10/1 (木)		秋学期授業開始		

日吉「英語セミナー（特別上級）」応募要領・履修上の注意

4月2日（木）	13：00 集合	説明・筆記試験	日吉地区第4校舎22番教室
4月3日（金）	9：00	選抜・振り分け結果発表	日吉地区第4校舎1階 経済学部掲示板、 第3校舎1階
	10：00～	ヘルプデスク	日吉地区第3校舎1階

- ▶履修者選抜およびクラス振り分けをおこないます。
- ▶履修者選抜は、2019年度に履修した経験がある学生、秋学期のみの履修を希望する学生も含めて、2020年度特別上級セミナーの履修希望者全員が対象です。必ず出席してください。
- ▶授業ガイダンスとライティングのテストが1日目にあります。
- ▶選抜では、履修したいクラスの申告をします。下のクラス一覧と、英語セミナー（特別上級）の講義要綱を参考にして、履修したいクラスを各学期3つ以上、あらかじめ考えておいてください。なお、選抜の過程で、第1希望以外のクラスを勧められることもあります。
- ▶持ってくるもの
 - ①筆記用具 ②『経済学部外国語科目履修案内』（この冊子）、『経済学部授業時間割』

「英語セミナー（特別上級）」履修上の注意

- 対象者：すでに高度な会話力・聴解力をもち、長文の英語を読むことに慣れている学生向けの科目です。授業内に英語でディスカッションできることが条件です。特定のスキルがやや弱い海外滞在経験をもつ1年生向けには、“Bridging Course”が春学期に2クラス設置されています（本冊子の英語セミナー（特別上級）の講義要綱にある概要説明参照）。
- 科目の種類：第1学年の春学期に履修する場合は、「英語Study Skills」の代わりに**必修科目**として履修します。必修科目を取得済みの学生は、**選択必修科目**として履修します。*
 - *第2学年以上で必修科目を取得済みの学生は、「英語最上級アドバンスト英語」（外国語教育研究センター設置科目）を選択必修科目として履修することもできます。
- クラス指定科目との重複について：選抜により履修が認められた英語セミナーの曜日・時限が、クラス指定科目と重複する場合、指定クラスの変更も可能です。ただし、外国語Ⅱとの重複など、一部、変更できない場合があります。詳しいことは、学習指導担当教員に相談してください。

英語セミナー（特別上級）設置クラス一覧

春学期

Instructor	Title	Class Time
AINGE, Michael	Understanding Movies 1: U.S. Films & Society, 1930-1965	Tue5/Fri5
BATTY, Roger	Art & Fashion: Philosophy and Style (D)	Mon1/Wed2
BATTY, Roger	Environment and Development: Regional Studies (A)	Mon3/Wed4
ISHII, Akira	Advertising and Music	Mon1/Wed1
* KASHIWAZAKI, Chikako	Perspectives on Society	Tue4/Fri1
SASAKI, Yumi	Culture and Emotions	Tue2/Thu2
mitsuda, Tatsuya	An Age of Innocence? Children and Childhoods in Modern Society	Mon5/Fri4

※Bridging Course

秋学期

Instructor	Title	Class Time
AINGE, Michael	Understanding Movies 2: U.S. Films & Society since 1967	Tue5/Fri5
BATTY, Roger	Art & Fashion: Movements & Creators (A)	Mon1/Wed2
BATTY, Roger	Environment and Development: Regional Studies - (B)	Mon3/Wed4
MATSUOKA, Kazumi	Rethinking Dominant American Brands	Tue1/Fri2
mitsuda, Tatsuya	An Age of Innocence? Children and Childhoods in Modern Society	Mon5/Fri4
NOTTER, David	Modern Sports	Mon5/Wed5

第1 外国語科目の履修について

この『経済学部 外国語科目履修案内』は、経済学部学生に対して適用される「学則」の外国語科目部分について解説したものです。学則に明示されていない細則もこの冊子で説明されていますので、よく読んで、履修申告してください。履修に関わる事柄について詳細に説明されていますので、履修申告の時だけでなく、常に振り返って内容を確認するように心がけてください。

一部の項目については、各学生に適用されている学則によって内容が異なる場合がありますので注意してください。特に注記がないものは全学則共通の内容です。

履修についての質問・相談は、学習指導担当教員または学生部経済学部担当窓口にお問い合わせください。特に日時を指定されているガイダンス等には必ず出席し、履修に関して不利にならないように気をつけてください。

学習指導上の注意事項や学生部からの連絡事項は、経済学部掲示板に掲示しますので掲示板には注意を向けてください。

なお、本冊子内に「組」という表記が出てきます。これは、皆さんの所属する組を示しています。所属する組は学生証の在籍確認シールに記載されています。一方「クラス」という表記は皆さんが履修する授業を示しています。

◆セット科目について

外国語科目名の末尾に小文字の a および b が付されている科目があります。末尾 a は春学期科目、末尾 b は秋学期科目を示し、春学期と秋学期で同一担当者、同一曜日時限の科目をセットで履修しなければなりません。これらの科目の成績は年度末に一括して通知します。したがって、春学期・秋学期の両方に出席していないと両学期ともに単位を取得することができませんので注意してください。（※一部半期集中科目あり）

1 外国語科目の履修チャート

授業科目の種類	日吉キャンパス				三田 キャンパス	卒業必要 単 位	
	1 年		2 年		3 年・4 年		
	春学期	秋学期	春学期	秋学期			
外国語科目	①外国語 I 英語Study Skills 2 単位					2	14
	②外国語 II 入学後に発表された語種 1 語種 ドイツ語・フランス語・中国語 ・スペイン語・（日本語） 6 単位					6	
		英語セミナー ③外国語 I 英語リーディング a/b 英語最上級 アドバンスト英語*			2 年以上で 履修可能	2	6
			④外国語 II ②と同語種の場合 2 単位 ②とは別語種の場合 4 単位 [外国語 III] ⑤第 2 学年以上で取得すべき外国語 I または外国語 II ③・④とは別に 2 単位 (外国語 III を除く)			2	
卒業単位 認定科目	⑥【全学則】 選択外国語 (A) ⑦自主選択科目					卒業単位認定科目 [16単位] に数えられます。	

※第 2 学年以上で、「英語Study Skills」または「英語セミナー（特別上級）」取得済の学生は選択必修科目として履修できます。（それ以外の学生が履修する場合、自主選択科目の単位になります。）

(1) 必修科目 (外国語Ⅰ・外国語Ⅱ) (表内)

決められた学年・組で履修する科目です。外国語科目の必修科目は、第1学年にのみ設置されています。これらの科目に不合格だった場合は、改めて履修しなければなりません。

① 外国語Ⅰ (英語) 2単位

第1学年春学期に「英語Study Skills」または、「英語セミナー (特別上級)」(週2回授業, 2単位)を履修します。

→『第3 外国語Ⅰ (英語) の履修について』p.11

→『日吉「英語セミナー (特別上級)」応募要領・履修上の注意』p.4

② 外国語Ⅱ 6単位

履修する語種は、必ず4月1日までに「新入生お知らせシステム」で確認し、控えておいてください。決定された語種は変更できません。

→『第4 外国語Ⅱの履修について』p.18

(2) 選択必修科目

自分で履修する授業を選び、決められた単位を取得しなければならない科目です。

③ 外国語Ⅰ 2単位

「英語セミナー (中級・上級・特別上級)」, 「英語リーディングa/b」より、第1学年秋学期から卒業するまでに必ず2単位を取得しなければなりません。「英語セミナー」は「英語Study Skills」に合格した学生のみが履修できます。第1学年秋学期は「英語セミナー」1クラスのみ履修可能です。

(第2学年以上で、「英語Study Skills」または「英語セミナー (特別上級)」取得済の学生は、外国語教育研究センター特設科目「英語最上級アドバンスト英語」を外国語Ⅰ (英語) の選択必修科目として履修できます。(それ以外の学生が履修する場合、自主選択科目の単位になります。))

→『第2 選択必修科目のエントリー』p.8 / 『第3 外国語Ⅰ (英語) の履修について』p.11

④ 外国語Ⅱ 2単位

第2学年以降, 2単位を取得しなければなりません。

第1学年で履修した必修科目 (前述②) と同語種を選択し, 履修します。

→『第2 選択必修科目のエントリー』p.8 / 『第4 外国語Ⅱの履修について』p.18

外国語Ⅲ

語種変更許可を得て, 第1学年で履修した必修科目 (前述②) とは別語種を履修することができます。各語種の初修クラスを4単位履修します。合格すると2単位分は後述⑤に充当されます。

→『第5 外国語Ⅲ・選択外国語・自主選択科目』p.20

⑤ 第2学年以上で取得すべき外国語Ⅰまたは外国語Ⅱ 2単位

前述③・④の選択必修科目の単位以外に, さらに2単位を③または④から履修し合格しなければなりません。

(3) 選択科目

外国語科目の卒業・進級単位には含まれませんが, 卒業単位認定科目 (16単位) に含まれます。

⑥ 選択外国語 (選択A)

時間割で「(選択A)」と記載されている科目は選択外国語 (選択A) です。

経済学部設置科目のみです。

→『第5 外国語Ⅲ・選択外国語・自主選択科目』p.20

⑦ 自主選択科目

外国語教育研究センター特設科目 (一部例外有), オープン科目 (他学部設置) は自主選択科目として履修できます。

→『第5 外国語Ⅲ・選択外国語・自主選択科目』p.20

(4) 自由科目

各学年における進級単位 (第1学年24単位以上, 第2学年60単位以上, 第3学年28単位以上, 第4学年12単位以上) には含まれますが, 卒業単位には含まれません。履修上限には含まれます。自由科目として取り扱われる外国語科目は以下のものです。

外国語教育研究センター特設科目の一部

→『第5 外国語Ⅲ・選択外国語・自主選択科目』p.21

2 進級および卒業必要科目・単位

(1) 第1学年から第2学年への進級条件

外国語科目についての条件はありません。

(2) 第2学年から第3学年への進級条件

以下①・②を充足する必要があります。

①外国語Ⅰ（英語）の必修科目2単位

②外国語Ⅱの第1学年必修科目6単位

(3) 第3学年から第4学年への進級条件

外国語科目についての条件はありません。

(4) 卒業条件

以下①～⑤を充足する必要があります。

①外国語Ⅰ（英語）の必修科目2単位

②外国語Ⅱの必修科目6単位

③外国語Ⅰ（英語）の選択必修科目2単位

④外国語Ⅱの選択必修科目2単位（〔外国語Ⅲ〕を履修した場合は4単位）

⑤前述③・④以外に取得した外国語Ⅰまたは外国語Ⅱの選択必修科目2単位

※〔外国語Ⅲ〕を履修し合格した学生は前述④で取得した4単位のうち2単位を⑤に充当することができます。

第2 選択必修科目のエントリー

1 エントリー

選択必修科目はクラス毎に履修定員が設定されています。これらの科目を履修するためには指定された期間に履修希望クラスをエントリーする必要があります。エントリー内容に基づいてコンピューターによる抽選を行います。

(1) エントリー対象科目と履修定員

・外国語Ⅰ（英語）

英語セミナー【春】 } 中級：30名程度
英語セミナー【秋】 } 上級：20名程度

英語リーディング 35名程度（日吉・三田地区）

・外国語Ⅱ（ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語） 日吉地区「IVa/IVb」「XIa/XIb」、三田地区「IVa/IVb」
履修者数に応じて数名から20名程度

未習者は未習クラス、既習者は既習クラスを履修してください。第1学年で既習クラスを履修した学生が第2学年で未習クラスを履修し単位を取得しても外国語の卒業必要単位には含まれませんので注意してください。

ただし三田地区で開講されるクラスは未習・既習の区別なく、すべて「IVa/IVb」となります。

PEARL生対象の外国語Ⅱは、2020年度はドイツ語、中国語（授業は英語で行う）のみ若干名の履修を受け付けます。履修形態は半期集中型です。

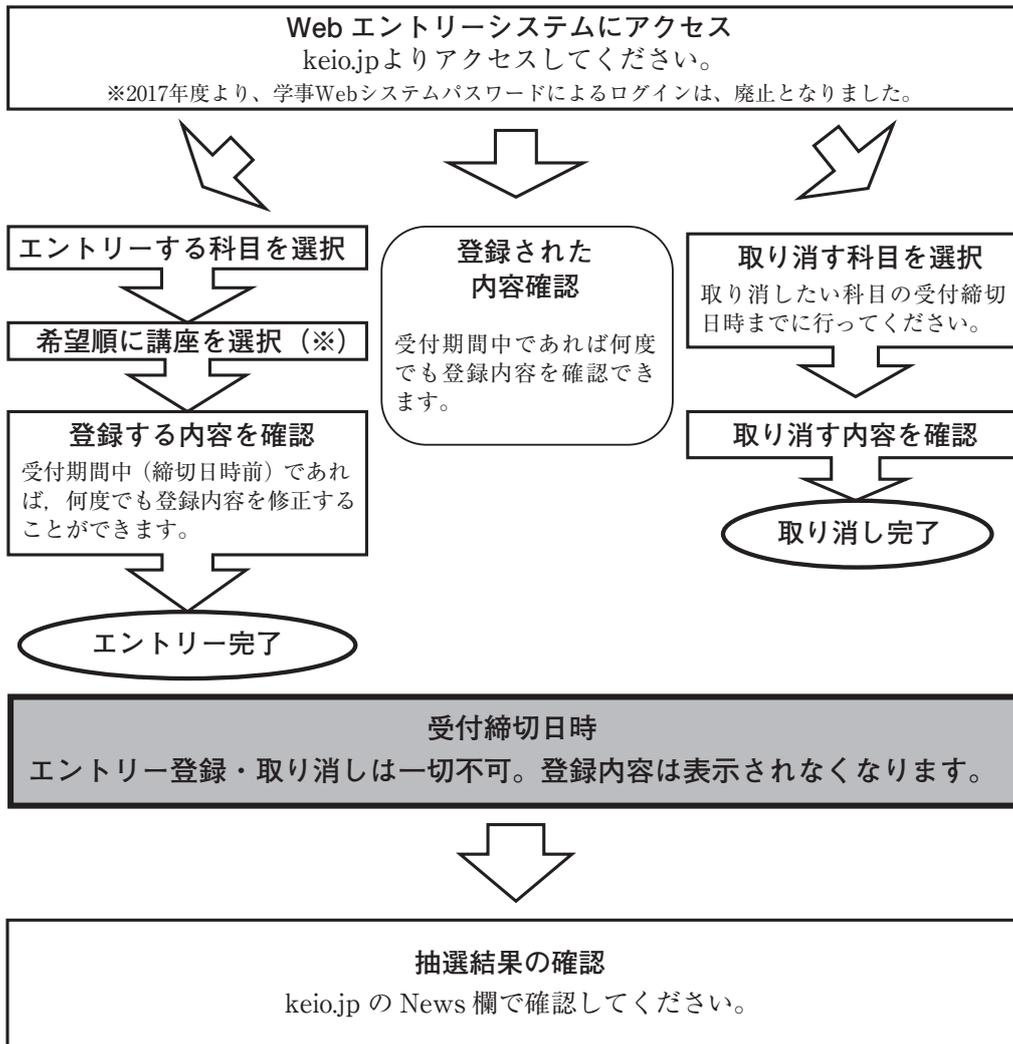
(2) エントリーのスケジュール

		外国語Ⅰ		外国語Ⅱ
		英語セミナー【秋】 (中級・上級)	英語セミナー【春】 (中級・上級) 英語リーディング	ドイツ語・フランス語 中国語・スペイン語
ガイダンス		外国語Ⅰ（英語）全体ガイダンス 4月1日（水）新入生クラスガイダンス時に行います。	ガイダンスはありません。本書掲載の講義要綱およびWeb上の「講義要綱・シラバス」を参考にして、履修希望クラスを選択してください。	
1 回目	登録	4月2日（木）10：00～4月3日（金）13：30	3月23日（月）10：00～3月24日（火）13：30	
	発表	4月6日（月）9：30	3月25日（水）9：30	
2 回目	登録	4月6日（月）9：30～4月7日（火）13：30	3月25日（水）9：30～13：30	
	発表	4月8日（水）9：30	3月26日（木）9：30	
発表方法		keio.jpのNews欄で確認してください。		

(3) 注意事項

- ① 第1学年は「英語セミナー【秋】」のみエントリーできます。
第1学年原級者で英語必修科目取得済の学生は「英語セミナー【春】」も履修できます。
- ② 抽選で決まったクラスは自動的に履修登録されます。組ごとに指定されている必修・選択必修科目と曜日時限が重複しないように注意してください。誤って重複したクラスを選択した場合は、学習指導担当教員の面談を受け、抽選で決定したクラスを取り消す必要があります。
- ③ 同じ科目・学期で2クラスの履修を希望する場合は、1回目と2回目の両方にエントリーしてください。3クラス以上の履修を希望する場合は2回目の抽選結果発表後、学習指導相談会場で相談してください。
- ④ 2回目の抽選は、1回目の抽選に漏れた学生および1回目の抽選で決定したクラスに追加して別のクラスの履修を希望する学生（上記②）が対象となります。1回目の抽選で決定したクラスを変更するためのものではありません。
- ⑤ 英語セミナーは春学期と秋学期それぞれ別の日程でエントリーを受け付けます。従って第1希望「英語セミナー【春】」、第2希望「英語セミナー【秋】」というエントリーはできません。春学期と秋学期に「英語セミナー」、更に「英語リーディング」の履修を希望する場合、「英語セミナー【春】」、「英語セミナー【秋】」、「英語リーディング」の合計3科目にエントリーする必要があります。
- ⑥ 「英語セミナー」の授業は週2回です。週2回の曜日時限が組ごとに指定された授業と重ならないように注意してください。

2 エントリー方法



※希望順位について

英語セミナー【春】	} 第4希望まで選択	ドイツ語	} 第3希望まで選択
英語セミナー【秋】		フランス語	
英語リーディング		中国語	
	スペイン語		

2回目のエントリーで、指定の希望順位まで選択できない場合は、
選択可能な順位まで選択してください。

3 結果発表

エントリーの結果はkeio.jpのNews欄にて発表します。結果発表の日時はエントリーのスケジュールを参照してください。Webエントリーシステムおよび教育支援システムでは確認できません。

抽選で決定したクラスは自動的に履修登録されます。履修申告期間中に学事Web履修申告画面を開くと、抽選で決定したクラスが表示されます。正しく表示されているか必ず確認してください。

4 履修クラスが未決定の学生

2回のエントリーで抽選に漏れた学生は学習指導担当教員の面接を受けてください。

履修定員に達していないクラスの中から面接で履修クラスを決定します。面接で決まった履修クラスは自動的に履修登録されます。履修申告期間中に学事Web履修申告画面に表示される履修クラスを確認してください。

面接日時・場所

	英語セミナー【秋】 (中級・上級)	英語セミナー【春】 (中級・上級) 英語リーディング	ドイツ語・フランス語 中国語・スペイン語
日吉地区設置科目	4月8日(水)～4月13日(月) 12:15～13:00(土・日を除く)	3月27日(金) 13:30～14:30	
	面接会場:日吉第4校舎独立館 DB103・104	面接会場:日吉第4校舎独立館D203	
三田地区設置科目	面接はありません。三田学生部経済学部担当にて確認してください。		

5 決定した履修クラスの取り消し

エントリーおよび学習指導担当教員との面接で決定した科目の履修を取り消したい場合は、各学期に定められた履修登録取消期間または9月の履修追加・修正申告期間に取消することができます。詳細は『2020年度 経済学部履修案内(日吉キャンパス 第1・2学年)』を参照してください。

6 複数履修について

外国語Ⅰ・外国語Ⅱの科目では、同一担当者で同一もしくは類似サブタイトルのクラスを複数履修した場合、重複履修と見なされて履修の修正(取り消し)が必要です。エントリーの際には注意してください。なお、外国語Ⅰ(英語)については、『第3 外国語Ⅰ(英語)の履修について』(p.11)の下線部の注意をよく読んでください。

第3 外国語 I (英語) の履修について

外国語 I の卒業必要単位数は必修科目 2 単位、選択必修科目 2 単位の合計 4 単位で、その内訳は以下の表のとおりです。

なお、英語を十分に習得したい学生は、外国語の卒業必要単位14単位を超え卒業単位認定科目として、外国語 I (英語) の選択必修科目を履修することが可能です。

ただし、同一担当者による同一もしくは類似サブタイトルのクラスを複数履修した場合、重複履修とみなされて、履修の修正が必要です。たとえ担当者が異なっても、シラバスに(同じサブタイトルの授業の重複履修不可)と記載がある場合は、科目のレベルや科目名(例:英語セミナーと英語リーディング)が異なっても履修は不可となります。また、特にシラバスに(同じサブタイトルの授業の重複履修不可)という記載がなく、担当者が異なっても、サブタイトルが同一もしくは類似している授業や同じテキスト(教科書)を使う授業など内容の重複がある場合には、必ず履修申告の前に、学習指導担当教員に相談してください。

科目種類	科目名/注意点	履修申告
必修科目 (2 単位)	(1) 英語 Study Skills 第 1 学年春学期に履修します。授業は週 2 回です。 (または必修科目として履修する「英語セミナー (特別上級)」)	履修申告期間に、必ず所属する組が指定されている「英語 Study Skills」を履修登録してください。
選択必修科目 (2 単位以上 取得すること)	(2) 英語セミナー ①外国語 I 必修科目「英語 Study Skills」に合格すると、「英語セミナー」の履修資格が得られます。 ②中級・上級・特別上級の 3 段階のレベルが用意されています。 ③第 1 学年秋学期から履修できます。第 1 学年秋学期には 1 クラスのみ履修できます。 ④春学期に履修した「英語 Study Skills」の結果を受けて、秋学期に履修予定の「英語セミナー」のレベルを中級から上級へ上げるよう、担当者から推薦される場合があります。 予め秋学期の「英語セミナー」を履修登録している学生が対象になります。 ⑤PCPプログラムへの参加を希望する学生は、第 2 学年終了時まで「英語セミナー (上級)」または「英語セミナー (特別上級)」を履修しておくことが好ましいです。 ⑥日吉地区のみに設置されており、全て半期集中科目、週 2 回の授業です。	エントリーに基づく抽選で履修クラスが決定し、自動的に履修登録されます。 履修申告期間中に履修申告画面を開くと、抽選で決定した履修クラスが表示されます。正しく表示されているか、必ず確認してください。
	(3) 英語リーディング a/b 第 2 学年より履修できます。 外国語 I 必修科目 (上記(1)) に合格していなくても履修できます。	
	(4) 英語最上級 アドバンスト英語 (a) (b) (外国語教育研究センター特設科目) 第 2 学年以上で、「英語 Study Skills」または「英語セミナー (特別上級)」取得済の学生は選択必修科目として履修できます。(それ以外の学生が履修する場合、自主選択科目の単位になります。)	選択必修科目として履修を希望する学生は、外国語教育研究センターのガイダンスに出席し、必要な手続きを行ったうえで 4/14までに所属地区の学生部へ申し出てください。

経済学部英語クラスWebページも参考にしてください。 <http://econeng.hc.keio.ac.jp/>

1 第1学年

(1) 春学期の履修申告

①「英語 Study Skills」を履修します。授業は週 2 コマの春学期集中科目です。時間割で指定されている授業を確認し、履修申告期間中に必ず履修登録してください。(登録番号は週前半のコマに記載されています。1つの登録番号を選択すると、2コマ分登録されます。) 授業開始は 4 月 7 日 (火) です。

②「英語 Study Skills」の履修免除について※

英語選抜試験に合格すると、「英語 Study Skills」の代わりに「英語セミナー (特別上級)」を必修科目として履修することができます。外国語 I 必修科目として「英語セミナー (特別上級)」の履修を希望する学生は、次の選抜試験を受験してください。『日吉「英語セミナー (特別上級)」応募要領・履修上の注意』(p.4) 参照。

「英語セミナー（特別上級）」履修者選抜

4月2日（木）	13：00 集合	説明・筆記試験	日吉地区第4校舎22番教室
4月3日（金）	9：00	選抜・振り分け結果発表	日吉地区第4校舎1階 経済学部掲示板, 第3校舎1階
	10：00～	ヘルプデスク	日吉地区第3校舎1階

選抜試験の結果、決定したクラスは自動的に履修登録されます。履修申告期間中に学事Web履修申告画面で登録されたクラスを必ず確認してください。

※「英語Study Skills」の履修によって得ることを目標としている英語能力を既に備え、また「英語セミナー（特別上級）」の授業テーマに意欲的に取り組みたい学生が英語選抜試験の対象となります。海外における勉学経験の有無は問いません。

ただし、英語圏の中学校・高等学校で1年以上の勉学経験を持ち、英会話や聴解に不自由がなく、英語でディスカッションが十分できる学生は、全員選抜試験に申し込んでください。授業における使用言語および配布される資料は全て英語です。

③秋学期履修の選択必修科目「英語セミナー」について

春学期の外国語 I 必修科目「英語Study Skills」に合格した学生は、秋学期設置の「英語セミナー」を履修することができます。履修クラスは、エントリーに基づく抽選によって決定します。なお、第1学年秋学期に履修できる「英語セミナー」は1クラスのみです。

(2) 秋学期の英語履修修正申告

秋学期英語履修修正申告期間：9月中～下旬

秋学期授業開始：10月1日（木）

次の①～③はすべて修正申告用紙を使って窓口で修正申告します。（学事Webシステムを利用した修正申告はできません。）原則として、履修申告済みの他の科目と曜日時限が重複しないクラスを選択してください。

①「英語Study Skills」の再履修

春学期に履修した外国語 I（英語）必修科目「英語Study Skills」または必修科目として履修した「英語セミナー（特別上級）」が不合格だった学生を対象に、「英語Study Skills（再履修）」が開講されています。

再履修対象者へは、9月上旬に保証人宛に郵送する春学期成績表へ通知を同封します。対象者は、履修修正申告を行ってください。

②必修科目として履修した「英語セミナー（特別上級）」の再履修

春学期に外国語 I 必修科目として履修した「英語セミナー（特別上級）」が不合格となった学生は、原則として秋学期設置の「英語セミナー（特別上級）」を必修科目として再履修してください。「英語セミナー（特別上級）」を再履修しない場合は、「英語Study Skills（再履修）」を再履修科目として修正申告してください。なお、「英語セミナー（中級）（上級）」を必修科目として履修することはできません。

再履修対象者へは、前述①同様に9月上旬に保証人宛に郵送する春学期成績表へ通知を同封します。対象者は履修修正申告を行ってください。

なお①・②の対象学生（外国語 I 必修科目の不合格者）は、秋学期「英語セミナー」の履修登録が自動的に取り消されます。

③「英語セミナー」のレベルアップ

秋学期「英語セミナー（中級）」を履修登録している学生の中で、春学期の「英語Study Skills」で特に優れた成績を残した学生は、「英語Study Skills」担当教員から「英語セミナー（上級）」へ履修変更の推薦を受ける場合があります。推薦を受けた学生へは、9月上旬に保証人宛に郵送する春学期成績表へ通知を同封します。レベル変更希望者は通知の指示に従い、履修修正申告を行ってください。

2 第2学年

(1) 必修科目

①春学期

必修科目を未取得のまま第2学年に進級した学生は、再履修しなければなりません。「英語Study Skills」を再履修する場合は、学習指導面接を受けて再履修クラスを決定してください。

面接日：3月27日（金）13：30～14：30

面接会場：日吉第4校舎独立館D203

「英語セミナー（特別上級）」を必修科目として再履修する場合は、必ず下記の選抜試験を受け、担当教員から履修の許可を得てください。

「英語セミナー（特別上級）」履修者選抜

4月2日（木） 13：00 集合 説明・筆記試験 日吉地区第4校舎22番教室

4月3日（金） 9：00 選抜・振り分け結果発表 日吉地区第4校舎1階 経済学部掲示板、
第3校舎1階

10：00～ ヘルプデスク 日吉地区第3校舎1階

②秋学期

第3学年への進級には、外国語I必修科目に合格していることが条件になります。

第2学年春学期に不合格だった学生は、必ず第2学年秋学期に再履修してください。

再履修に関する詳細は、『1 第1学年 (2) 秋学期の英語履修修正申告』(p.12)を参照してください。

(2) 選択必修科目

①英語セミナー

必修科目を取得済の学生は、「英語セミナー」を選択必修科目として履修することができます。

選択必修科目「英語セミナー（中級）・（上級）」の履修クラスは、エントリーに基づく抽選によって決定します。「英語セミナー（特別上級）」の履修希望者は、下記の選抜試験を受け、担当教員から履修の許可を得てください。

「英語セミナー（特別上級）」履修者選抜

4月2日（木） 13：00 集合 説明・筆記試験 日吉地区第4校舎22番教室

4月3日（金） 9：00 選抜・振り分け結果発表 日吉地区第4校舎1階 経済学部掲示板、
第3校舎1階

10：00～ ヘルプデスク 日吉地区第3校舎1階

第2学年で、春学期・秋学期ともに「英語セミナー（上級）」を履修登録している学生に限り、教員の推薦により、秋学期の履修クラスを「上級」から「特別上級」に変更（レベルアップ）できる場合があります。春学期は「英語セミナー（上級）」に登録できたものの、抽選の結果、秋学期は上級レベルの履修ができなくなった学生は、4月上旬の学習指導相談窓口で相談してください。

なお、第3・4学年でPCPプログラムへの参加を希望する学生は、第2学年終了時まで「英語セミナー（上級）」または「英語セミナー（特別上級）」を履修しておくことが好ましいです。

②英語リーディングa/b

第2学年から履修できる選択必修科目です。履修クラスは、3月に実施するエントリーに基づく抽選によって決定します。なお、必修科目に合格していなくても履修できます。

③英語最上級アドバンスト英語（a）（b）（外国語教育研究センター特設科目）

第2学年で、英語必修科目を取得済の学生は、英語選択必修科目として履修できます。（それ以外の学生が履修する場合は自主選択科目の単位になります。）

選択必修科目として履修を希望する学生は、外国語教育研究センターのガイダンスに出席し、必要な手続きを行ったうえで4月14日（火）までに日吉学生部へ申し出てください。

3 第3・4学年

卒業に必要な選択必修科目を未取得の場合、および卒業に必要な選択必修科目を取得した上でさらに英語の履修を希望する場合は、日吉地区設置の「英語セミナー」および日吉地区・三田地区双方に設置された「英語リーディングa/b」を履修することができます。

3月にエントリーを行う必要があります。詳細は『第2 選択必修科目のエントリー』（p.8）を参照してください。

(1) 英語セミナー

日吉地区設置の「英語セミナー」を履修できます。ただし、「英語セミナー（特別上級）」の履修希望者は必ず下記の選抜試験を受け、担当教員から履修の許可を得てください。

「英語セミナー（特別上級）」履修者選抜

4月2日（木）	13：00	集合 説明・筆記試験	日吉地区第4校舎22番教室
4月3日（金）	9：00	選抜・振り分け結果発表	日吉地区第4校舎1階 経済学部掲示板、 第3校舎1階
	10：00～	ヘルプデスク	日吉地区第3校舎1階

(2) 英語リーディング

日吉地区・三田地区双方に設置された「英語リーディングa/b」を履修できます。

(3) 英語最上級 アドバンスト英語

必修科目を取得済の学生は「英語最上級 アドバンスト英語（a）（b）」（外国語教育研究センター特設科目）も選択必修科目として履修可能です（それ以外の学生が履修する場合は、自主選択科目の単位になります）。選択必修科目として履修を希望する学生は、外国語教育研究センターのガイダンスに出席し、必要な手続きを行ったうえで、三田学生部まで申し出てください。

4 段階的な履修について

(1) 英語セミナーの受講レベルと位置付け

レベルの選定は、各自が責任を持って行ってください。基本的には第1学年で履修した「英語Study Skills」または秋学期に履修した「英語セミナー」の成績を基準にして選定します。次の表Aを参考にしてください。

表A. 成績別による望ましい履修進路

第1学年の履修科目	成績	第2学年以降で履修するのが望ましい科目
英語Study Skills	S	英語セミナー（上級）
	A	英語セミナー（上級）、英語セミナー（中級）
	B	英語セミナー（上級）、英語セミナー（中級）
	C	英語セミナー（中級）
英語セミナー（中級）	S	英語セミナー（上級）
	A	英語セミナー（上級）、英語セミナー（中級）
	B	英語セミナー（上級）、英語セミナー（中級）
	C	英語セミナー（中級）
	D	英語セミナー（中級）
英語セミナー（上級）	S	英語セミナー（特別上級）
	A	英語セミナー（特別上級）、英語セミナー（上級）
	B	英語セミナー（上級）
	C	英語セミナー（中級）
	D	英語セミナー（中級）

なお、第3・4学年でPCPプログラムへの参加を希望する学生は、第2学年終了時まで「英語セミナー（上級）」または「英語セミナー（特別上級）」を履修しておくことが好ましいです。

(2) 段階的な学習例

表Aで選定した履修レベルを念頭に入れながら、段階的に履修することを勧めます。

以下の表B, Cは英語の段階的な学習例です。履修計画の参考にしてください。これらは様々に組み合わせられる学習パターンの数例にすぎません。自分の興味と時間割に即して自由に組み合わせを考えてください。

表B.〈英語セミナー集中型〉(計16単位)			
第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
春 Study Skills	春 英語セミナー (中級)	英語セミナー(上級・特別上級), その他, 任意の英語科目	
秋 英語セミナー (中級)	秋 英語セミナー (上級)		

表C.〈読解基礎力充実型〉(計10単位)			
第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
春 Study Skills	英語リーディングa/b	英語リーディングa/b	英語リーディングa/b
秋 英語セミナー (中級)			

(3) 外国語 I (英語) 科目のトピック (テーマ) の分類について

「英語セミナー」と「英語リーディングa/b」の各授業には、特定のトピック (テーマ) が定められています。それぞれのトピック (テーマ) は次の4つのカテゴリーに分類されています。

- 1) 文学・芸術・思想 2) 言語・文化 3) 社会・経済・歴史 4) その他

これらの分類を参考にして段階的に履修することにより、特定の分野における知識を深めることも可能です。

次ページの「6 英語セミナー・英語リーディングのトピック (テーマ) 別一覧表」を参照してください。

5 外国語 I (英語) ガイダンスについて

全体ガイダンス (新入生対象)

4月1日 (水) 新入生クラスガイダンス時に行います。

「英語セミナー (中級・上級)」ヘルプデスク

4月2日 (木) 日吉キャンパス第4校舎J434, J435

「英語セミナー」および「英語リーディングa/b」は、同一担当者による同一もしくは類似サブタイトルのクラスを複数履修した場合、重複履修とみなされて、履修の修正が必要です。たとえ担当者が異なっても、シラバスに (同じサブタイトルの授業の重複履修不可) と記載がある場合は、科目のレベルや科目名 (例: 英語セミナーと英語リーディング) が異なっても履修は不可となります。また、特にシラバスに (同じサブタイトルの授業の重複履修不可) という記載がなく、担当者が異なっても、サブタイトルが同一もしくは類似している授業や同じテキスト (教科書) を使う授業など内容の重複がある場合には、必ず履修申告の前に学習指導担当教員に相談してください。

6 英語セミナー・英語リーディングのトピック（テーマ）別一覧表

2020年度

【英語セミナー（中級）】

文学・芸術・思想カテゴリーの授業

担当者	ショートタイトル
鎌田 由美子	World Art History from the Perspective of Intercultural Contacts
迫田 真帆	Vampire in Texts and Images
迫田 真帆	Femininity and the Female Body in Texts and Images
トーマス, ダックス	Introduction to Archaeology
パワー, トーマス	Storytelling through Movies
メニッシュ, マーク	Exploring Space in English
由井 ロバート	Fact Fiction and Fantasy

【英語セミナー（中級）】

言語・文化カテゴリーの授業

担当者	ショートタイトル
アップス, ピーター	Australia Part Two: Australia - The Coming of the Europeans
飯野 彩	Introduction to American and Canadian Studies
鈴木 亮子	Global English and World Englishes
田中 裕司	Why Linguistics Matters
パロウス, リチャード	UK Culture & Society
ベデロ, サイモン	The World Around Us
星 浩司	Introduction to Wonderful World of Language
マーフィー, ケビン	News and Media in the 21st Century
レイン, ポール	21st Century Issues

【英語セミナー（中級）】

社会・経済・歴史カテゴリーの授業

担当者	ショートタイトル
楠 浩恵	The Magic & Current English
スズキ, スティーブン・タロー	Renewable Energy Resources and Technology
中込 さやか	Society and Education in Modern Britain
中津川 みゆき	American Studies: History, Society and Culture
パロウス, リチャード	Product Design, Marketing & Advertising
藤井 誠	Business and Ecology 1
藤井 誠	Business and Ecology 2
ボーム, スティーブン	Economic Cycles and Financial Crises
ボルトハウス, ジェイ	Current Social and Environmental Issues
ボンジー, アラーナ	Introduction to Corporate Social Responsibility
マーティン, ジェローム	Comparative Japanese Global Studies
マディーン, エリック	Global Issues: Africa Seminar
三原 龍太郎	Topics on the Japanese Economy and Society
レブル, クリストファー	English for Global Business
レブル, クリストファー	Ethics in Society
由井 ロバート	Environmental Problems from 1960s to the present

【英語セミナー（中級）】

その他のカテゴリーの授業

担当者	ショートタイトル
志村 明彦	Current Topics about Japan
ドゥモビッチ, ジョン	What is Love?
パロウス, リチャード	Oceans in Peril

【英語セミナー（上級）】

文学・芸術・思想カテゴリーの授業

担当者	ショートタイトル
エインジ, マイケル	Hollywood Western Films: Themes, Ideas, Social Issues
エインジ, マイケル	Representations of Women in Hollywood Films since 1945
トーマス, ダックス	World Mythology
永井 容子	Critical Thinking Using Literary Works
不破 有理	Reading Poetry and Paintings
レブル, クリストファー K	Introduction to Poetry

【英語セミナー（上級）】

言語・文化カテゴリーの授業

担当者	ショートタイトル
佐々木 由美	Intercultural Communication and Discourse
星 浩司	Introduction to Language Study

【英語セミナー（上級）】

社会・経済・歴史カテゴリーの授業

担当者	ショートタイトル
アートル, ジョン J	Anthropology of Tourism
石井明	Social and Political Issues in America
柏崎千佳子	International Migration and Immigration Policy
鈴木 亮子	GNP vs GNH: Two inspiring countries in Asia
永井 容子	Introduction to Globalization
中津川 みゆき	Life in Society
ノブオカ, メアリー	Economic Trends in the 21st Century
パロウス, リチャード	Ethnic Strife & Tribal Extinction in the 21st Century
不破 有理	A Critical Reading of British History from 1700 to 1900
松岡 和美	Industry Analysis and Company Strategies
マディーン, エリック	Asia Through Economists' and Environmentalists' Eyes
光田 達矢	We are what we eat
三原 龍太郎	Creative Industries
三原 龍太郎	Anime: A Comprehensive Overview
柳生 智子	International Relations Since 1945

【英語セミナー（上級）】

その他のカテゴリーの授業

担当者	ショートタイトル
志村 明彦	Current Topics about Japan
志村 明彦	Current Topics about Sports and the Olympic Games

【英語セミナー（特別上級）】

文学・芸術・思想カテゴリーの授業

担当者	ショートタイトル
エインジ, マイケル	Understanding Movies 1: U.S. Films & Society, 1930-1965
エインジ, マイケル	Understanding Movies 2: U.S. Films & Society since 1967
バティエ, ロジャー	Art & Fashion: Movements & Creators (A)
バティエ, ロジャー	Art & Fashion: Philosophy and Style (D)

【英語セミナー（特別上級）】

言語・文化カテゴリーの授業

担当者	ショートタイトル
佐々木 由美	Culture and Emotions

【英語セミナー（特別上級）】

社会・経済・歴史カテゴリーの授業

担当者	ショートタイトル
石井 明	Advertising and Music
柏崎 千佳子	Perspectives on Society (Bridging Course)
ノッター, デビッド	Modern Sports
バティエ, ロジャー	Environment and Development: Regional Studies (A)
バティエ, ロジャー	Environment and Development: Regional Studies (B)
松岡 和美	Rethinking Dominant American Brands
光田 達矢	An Age of Innocence?

【英語リーディング】

言語・文化カテゴリーの授業

担当者	ショートタイトル
日高 正司	Current Issues of the World and Japan
星 浩司	Thinking about Grammar Again!

【英語リーディング】

社会・経済・歴史カテゴリーの授業

担当者	ショートタイトル
アートル, ジョン J	Topics in Cultural Anthropology
キャノン, タラ	Prospects for an East Asian Community
キャノン, タラ	Corporate Governance, Market Governance
斎藤 早苗	Exploration of Global Enterprises
田中 裕司	Summary and Note-taking
永井 容子	Reading and Critical Thinking: Understanding Current Topics
西村 恵子	Discourses of Japanese Popular Culture
ボーム, スティーブン	Current Economic Issues

【英語リーディング】

その他のカテゴリーの授業

担当者	ショートタイトル
ノッター, デビッド M	Extensive Reading in English on Academic Topics

★三田英語リーディング

担当者	ショートタイトル
佐藤 空	Ideas on Politics, Economics and Society Worth Sharing

各講義の内容は講義要綱を参照してください。

英語セミナー中級：p.32～

英語セミナー上級：p.42～

英語セミナー特別上級：p.49～

英語リーディング（日吉設置）：p.53～

英語リーディング（三田設置）：p.78～

第4 外国語Ⅱの履修について

1 第1学年で履修する必修科目

(1) 第1学年の「外国語Ⅱ」は全て必修科目です。 授業開始は4月7日(火)です。(留学生用日本語科目も4月7日(火)から開始)

必修科目は春学期3科目および秋学期3科目(各1単位計6単位)です。時間割表で所属する組ごとに未習・既習が指定されています。履修すべきクラス全てを履修申告期間中に履修登録してください。未習クラスの「Ⅰa/Ⅰb」と「Ⅱa/Ⅱb」は同一担当者によって授業が行われます。

語種	科目名	
ドイツ語	未習	ドイツ語 Ⅰa/Ⅰb, Ⅱa/Ⅱb, Ⅲa/Ⅲb
	既習	ドイツ語 Ⅷa/Ⅷb, Ⅸa/Ⅸb, Xa/Xb
フランス語	未習	フランス語 Ⅰa/Ⅰb, Ⅱa/Ⅱb, Ⅲa/Ⅲb
	既習	フランス語 Ⅷa/Ⅷb, Ⅸa/Ⅸb, Xa/Xb
中国語	未習	中国語 Ⅰa/Ⅰb, Ⅱa/Ⅱb, Ⅲa/Ⅲb
	既習	中国語 Ⅷa/Ⅷb, Ⅸa/Ⅸb, Xa/Xb
スペイン語	未習	スペイン語 Ⅰa/Ⅰb, Ⅱa/Ⅱb, Ⅲa/Ⅲb
	既習	スペイン語 Ⅷa/Ⅷb, Ⅸa/Ⅸb, Xa/Xb
日本語	留学生用の授業です。国際センターのガイダンスに必ず出席してください。	

(2) 既習クラスへの変更

これまでに学習経験があり、未習クラスから既習クラスへ変更を希望する場合は、必ず下記面接を受け、担当教員から履修の許可を得てください。

既習クラスへの変更希望面接：4月2日(木) 10:30集合 日吉地区第4校舎23番教室

2 第2学年で履修する選択必修科目

(1) 第2学年で履修する「外国語Ⅱ」は選択必修科目です。 授業開始は4月7日(火)です。(留学生用日本語科目も4月7日(火)から開始)

第1学年で既習クラスを履修した学生は、必ず既習クラスを履修しなければなりません。

未習クラスを履修し、単位を取得しても卒業に必要な外国語の単位には含まれません。

語種	科目名	
ドイツ語	未習	ドイツ語 Ⅳa/Ⅳb
	既習	ドイツ語 Ⅺa/Ⅺb
フランス語	未習	フランス語 Ⅳa/Ⅳb
	既習	フランス語 Ⅺa/Ⅺb
中国語	未習	中国語 Ⅳa/Ⅳb
	既習	中国語 Ⅺa/Ⅺb
スペイン語	未習	スペイン語 Ⅳa/Ⅳb
	既習	スペイン語 Ⅺa/Ⅺb
日本語	留学生用の授業です。国際センターのガイダンスに必ず出席してください。	

(2) 履修クラスの選択

選択必修科目「外国語Ⅱ」を履修するためには、エントリーする必要があります。エントリー方法や抽選発表日等の詳細については『第2 選択必修科目のエントリー』(p.8)を参照してください。なお、本書掲載の講義要綱およびWeb上の「講義要綱・シラバス」を参考にして、組ごとに指定されている他の必修・選択必修科目と曜日時限が重複しないようにクラスを選択してください。誤って重複したクラスを選択した場合は、学習指導担当教員の面談を受け、抽選で決定したクラスを取り消す必要があります。

「外国語Ⅱ」の選択必修科目は半期セット科目(春学期1科目/秋学期1科目(各1単位)・一部半期集中科目(2単位あり)ですが、さらに実力を伸ばしたい学生は2クラス以上履修することもできます。

3 第1学年必修科目の再履修

(1) 第1学年に留まった学生の再履修

第1学年に留まった学生は、次の表で示すルールに従って再履修してください。再履修するクラスは、全て履修申告期間中に履修申告が必要です。

学習指導面接が必要な場合：面接日 3月27日（金）13：30～14：30 日吉第4校舎独立館D203

	前年度までの取得状況	再履修クラス
既習クラス	【スペイン語】 組ごとに指定されている第1学年設置の【既習クラス】のうち、前年度までに不合格だった科目（Ⅷa/Ⅷb・Ⅸa/Ⅸb・Ⅹa/Ⅹb）と同一科目を再履修してください。 【ドイツ語・フランス語・中国語】 学習指導面接を受けて、再履修クラスを決定してください。	
未習クラス	第1学年で履修した「Ⅰa/Ⅰb」「Ⅱa/Ⅱb」「Ⅲa/Ⅲb」すべてに不合格だった場合	組ごとに指定されている「Ⅰa/Ⅰb」「Ⅱa/Ⅱb」「Ⅲa/Ⅲb」すべてを再履修
	第1学年で履修した「Ⅰa/Ⅰb」と「Ⅱa/Ⅱb」が不合格だった場合	組ごとに指定されている「Ⅰa/Ⅰb」と「Ⅱa/Ⅱb」を再履修
	第1学年で履修した「Ⅰa/Ⅰb」または「Ⅱa/Ⅱb」のいずれかと、「Ⅲa/Ⅲb」が不合格だった場合	学習指導教員の面接を受けて、再履修クラスを決定してください。
	第1学年で履修した「Ⅰa/Ⅰb」または「Ⅱa/Ⅱb」のいずれかが不合格だった場合	
	第1学年で履修した春学期3科目・秋学期3科目のうち、「Ⅲa/Ⅲb」が不合格だった場合	組ごとに指定されている「Ⅲa/Ⅲb」を再履修

(2) 第2学年での再履修

第2学年において、第1学年の必修科目を再履修する場合は、次の表で示すルールに従ってください。再履修するクラスの曜日時限が他の必修・選択必修科目と重複している場合は、必ず第1学年必修外国語Ⅱ未取得者再履修クラス決定面接を受けてください。再履修するクラスは、全て履修申告期間中に履修申告が必要です。

学習指導面接が必要な場合：面接日 3月27日（金）13：30～14：30 日吉第4校舎独立館D203

	前年度までの取得状況	再履修クラス
既習クラス	【スペイン語】 組ごとに指定されている第1学年設置の【既習クラス】のうち、前年度までに不合格だった科目と同一科目を再履修してください。（第1学年の時間割で確認してください。）組が時間割上に記載されていない場合は学習指導面接を受けて履修クラスを決定してください。 【ドイツ語・フランス語・中国語】 学習指導面接を受けて再履修クラスを決定してください。	
未習クラス	第1学年で履修した「Ⅰa/Ⅰb」「Ⅱa/Ⅱb」「Ⅲa/Ⅲb」すべてに不合格だった場合	組ごとに指定されている第1学年設置「Ⅰa/Ⅰb」「Ⅱa/Ⅱb」「Ⅲa/Ⅲb」すべてを再履修
	第1学年で履修した「Ⅰa/Ⅰb」と「Ⅱa/Ⅱb」が不合格だった場合	特修クラス「Ⅶa/Ⅶb」2クラスを選択して履修 【ドイツ語】 学習指導教員の面接を受けて、再履修クラスを決定してください。
	第1学年で履修した「Ⅰa/Ⅰb」または「Ⅱa/Ⅱb」のいずれかと、「Ⅲa/Ⅲb」が不合格だった場合	特修クラス「Ⅶa/Ⅶb」2クラスを選択して履修 【ドイツ語】 学習指導教員の面接を受けて、再履修クラスを決定してください。
	第1学年で履修した「Ⅰa/Ⅰb」または「Ⅱa/Ⅱb」のいずれかが不合格だった場合	特修クラス「Ⅶa/Ⅶb」1クラスを選択して履修
	第1学年で履修した春学期3科目・秋学期3科目のうち、「Ⅲa/Ⅲb」が不合格だった場合	

4 第3・4学年での履修

卒業に必要な選択必修科目を未取得の場合は、日吉地区に設置された選択必修科目を履修するようにしてください。

卒業に必要な選択必修科目を取得した上で更に履修を希望する場合、日吉地区・三田地区双方に設置された選択必修科目を履修することができます。エントリーが必要になりますので『第2 選択必修科目のエントリー』（p.8）を参照してください。なお、三田地区では未習・既習の区別なく、「Ⅳa/Ⅳb」が開講されています。

第5 外国語Ⅲ・選択外国語・自主選択科目

1 外国語Ⅲ

- (1) 授業開始は4月7日(火)です。
- (2) 今年度開講の『外国語Ⅲ』は以下のとおりです。全て日吉地区に設置されています。
ドイツ語, フランス語, 中国語, スペイン語, ロシア語, 韓国朝鮮語, イタリア語
- (3) 履修クラス
いずれの語種も初級から始まります。

語種	履修クラス
ドイツ語 フランス語 中国語 スペイン語	日吉地区設置の第1学年必修科目「外国語Ⅱ」(原則として未習クラス)のうち「Ia/Ib」・「IIa/IIb」の4科目(各1単位, 合計4単位)を履修します。
ロシア語 韓国朝鮮語 イタリア語	日吉地区に設置されている「外国語Ⅲ」(春秋各1単位, 合計4単位)を履修します。

- (4) 『外国語Ⅲ』の履修希望者は必ず日吉学生部経済学部担当窓口にて履修希望申請を行う必要があります。履修を許可された学生は学習指導教員の面接を経て、履修クラスを決定します。
履修には第1学年の必須科目『外国語Ⅱ』の単位をすべて取得していることが必要となり、『外国語Ⅱ』の成績を基準に選抜します。

履修希望申請期間^{※1}: 3月11日(水) 10:00 ~ 3月19日(木) 11:00

履修許可者発表^{※2}: 3月23日(月) 9:30 keio.jpのNews欄

学習指導教員面接^{※3}: 3月27日(金) 13:30 ~ 14:30 日吉第4校舎独立館D203
4月2日(木) 10:30 ~ 日吉第4校舎23番教室

- ※1 申請の際は必ず『外国語Ⅱ』の成績を証明できる書類を持参すること。
- ※2 条件付許可となった場合、面接により履修が認められない場合があります。条件付許可者は必ず現在履修している語種の第2学年選択必修科目のエントリーに参加してください。
- ※3 履修許可者はいずれかの日程で必ず面接を受けてください。

- (5) 履修申告

学習指導教員面接において決定した履修クラスは、自動的に履修登録されます。履修申告期間に、既に登録されている履修クラスを履修申告画面で確認してください。

2 選択外国語（選択A）・自主選択科目

(1) 選択外国語（選択A）

- ① 選択外国語の授業は4月7日（火）から始まります。
- ② 選択外国語（選択A）は、経済学部設置科目です。これらの科目を履修し合格すると、各学年の進級単位（第1学年24単位以上、第2学年60単位以上、第3学年28単位以上、第4学年12単位以上）に含まれます。また卒業単位認定科目（16単位）にも含まれます。
- ③ 今年度、開講が予定されている『選択外国語（選択A）』の科目は次のとおりです。
日吉地区・三田地区のいずれかに設置されています。

[経済学部設置科目]

語種	科目名
ドイツ語	ドイツ語Va/Vb
フランス語	フランス語Va/Vb
中国語	中国語Va/Vb, 中国語V
スペイン語	スペイン語Va/Vb
ロシア語	ロシア語a/b

[外国語教育研究センター特設科目]

外国語教育研究センター特設科目を受講するためにはガイダンスに出席し、必要な手続きを取らなければなりません。詳細は外国語教育研究センターの履修案内を確認してください。

外国語教育研究センターの登録番号で履修登録してください。

選択外国語 (選択A)	英語最上級 アドバンスト英語 (a) (b)*	ロシア語表現技法1 (a) (b)
	英語異文化トレーニング (a) (b)	ロシア語表現技法2 (I) (II)
	英語異文化トレーニング (I) (II)	ロシア語聴解 (I) (II)
	英語ドラマ (a) (b)	中国語表現技法1 (I) (II)
	英語翻訳 (a) (b)	中国語表現技法2 (I) (II)
	英語留学準備 (I) (II)	中国語表現技法3 (I) (II)
	英語経済・金融 (I) (II)	中国語表現技法4 (I) (II)
	英語法律・法務 (I) (II)	中国語表現技法5 (I) (II)
	英語アカデミック・ライティング (I) (II)	中国語表現技法6 (I) (II)
	英語スピーチとディベート (I) (II)	スペイン語表現技法1 (a) (b) (初級)
	ドイツ語表現技法1 (a) (b)	スペイン語表現技法2 (a) (b) (中級)
	ドイツ語表現技法2 (a) (b)	スペイン語表現技法3 (I) (II) (上級)
	ドイツ語表現技法3 (a) (b)	インドネシア語ベーシック (I)
	ドイツ語表現技法4 (I) (II)	インドネシア語ベーシック (II)
	ドイツ語表現技法5 (I) (II)	アラビア語 (a) (b)
	フランス語表現技法1 (a) (b)	イタリア語表現技法1 (I) (II)
	フランス語表現技法2 (I) (II)	イタリア語表現技法2 (I) (II)
	フランス語表現技法3 (a) (b)	
	フランス語表現技法3 (I) (II)	
	フランス語表現技法4 (I) (II)	
フランス語表現技法5 (I) (II)		
自由科目	英語オーラル・プレゼンテーション (I) (II) (初級)・英語初級 (a) (b)	

* 第2学年以上で、「英語Study Skills」または「英語セミナー（特別上級）」取得済の学生は選択必修科目として履修できます。（それ以外の学生が履修した場合は、自主選択科目の単位となります。）

(2) 自主選択科目

- ① 外国語教育研究センター特設科目（一部の科目を除く。下記④参照）、オープン科目（他学部設置）は自主選択科目（諸研究所設置科目）（分野番号50-50-01）です。これらの科目を履修し合格すると、各学年の進級単位（第1学年24単位以上、第2学年60単位以上、第3学年28単位以上、第4学年12単位以上）に含まれます。また卒業単位認定科目（16単位）にも含まれます。
- ② 科目リスト、詳細は「外国語教育研究センター履修案内・講義要綱」で確認してください。
- ③ 外国語教育研究センター特設科目を受講するためにはガイダンスに出席し、必要な手続きを取らなければなりません。詳細は外国語教育研究センターの履修案内を確認してください。
外国語教育研究センターの登録番号で履修登録してください。ただし、オープン科目のうち、経済学部が設置する科目は（1）選択外国語（選択A）として経済学部の登録番号（経済学部時間割に記載）で履修登録してください。
- ④ 外国語教育研究センター設置科目（特設科目）のうち、以下のものは科目の扱いが異なるので注意してください。

英語最上級 アドバンスト英語 (a) (b)	第2学年以上で、「英語Study Skills」または「英語セミナー（特別上級）」取得済の学生は選択必修科目として履修できます。 (それ以外の学生が履修した場合は、自主選択科目の単位となります。)
英語オーラル・プレゼンテーション (I) (II) (初級) 英語初級 (a) (b)	自由科目（自主選択科目にはなりません。)

A. 日吉地区設置科目

※各科目の講義要綱について、この『経済学部 外国語科目履修案内』では、各クラスの「サブタイトル」「授業科目の内容」「成績評価方法」「教科書・参考書（指定がある場合）」のみ掲載しています。「授業の計画」「担当者から履修者へのコメント」「質問・相談」はWeb上の「講義要綱・シラバス」で確認してください。（なお、担当者により記載がない場合もあります）

・「keio.jp」 <http://keio.jp/> または

・塾生サイト「履修案内・講義要綱・時間割」のページ
<https://www.students.keio.ac.jp/hy/class/registration/>

※開講曜日時限は変更となる場合があります。

必ず時間割と経済学部掲示板で変更点等を確認して下さい。

外国語 I 英語 (必修)

英語 (Study Skills) 2 単位 (春学期集中)

「英語を学ぶ」から「英語で学ぶ」へ

志村 明彦 ほか (各クラスの担当者は時間割で確認のこと)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

大学の勉強に必要なアカデミックイングリッシュの3つの基本的技能を集中的に訓練します。

授業は、基本的に英語で行われます。

◆Writing

自分の考えを論理的に提示する英文パラグラフの書き方を習得し、それを発展させて短いエッセイ (レポート) にまとめる方法を学ぶ。

◆Reading

主題や論理構成を的確に把握する、つまり「必要な情報を得るためのリーディング」を習得。読んだ文章の要点や概要を、パラフレーズ (言い換え) の技術を使って自分の英語表現でまとめる。

◆Presentation

英語のプレゼンテーションの基礎の訓練: 効果的な話し方やジェスチャー・論理的な構成・視覚にアピールする資料の作成と利用。

成績評価方法:

Opinion Paragraph and Essay: 20%

Final Reading and Writing Exam: 30%

Mid-term Presentation: 10%

Final Presentation: 20%

Reading Assignments: 10%

Attendance, participation, and other assignments: 10%

テキスト(教科書):

Study Skills for College English 2nd ed. 慶應義塾大学経済学部英語部会編 2011年 ISBN: 978-4-7664-1794-4

Dorothy E. Zemach et al. (2011). Writing Essays: From Paragraph to Essay. Macmillan Language House. ISBN: 978-0-2304-1592-8

英語 (Study Skills) (再履修用) 2 単位 (秋学期集中)

「英語を学ぶ」から「英語で学ぶ」へ

柏崎 千佳子
迫 桂

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

大学の勉強に必要なアカデミックイングリッシュの3つの基本的技能を集中的に訓練します。

授業は、基本的に英語で行われます。

◆Writing

自分の考えを論理的に提示する英文パラグラフの書き方を習得し、それを発展させて短いエッセイ (レポート) にまとめる方法を学ぶ。

◆Reading

主題や論理構成を的確に把握する、つまり「必要な情報を得るためのリーディング」を習得。読んだ文章の要点や概要を、パラフレーズ (言い換え) の技術を使って自分の英語表現でまとめる。

◆Presentation

英語のプレゼンテーションの基礎の訓練: 効果的な話し方やジェスチャー・論理的な構成・視覚にアピールする資料の作成と利用。

成績評価方法:

Opinion Paragraph and Essay: 20%

Final Reading and Writing Exam: 30%

Mid-term Presentation: 10%

Final Presentation: 20%

Reading Assignments: 10%

Attendance, participation, and other assignments: 10%

テキスト(教科書):

Study Skills for College English 2nd ed. 慶應義塾大学経済学部英語部会編 2011年 ISBN: 978-4-7664-1794-4

Dorothy E. Zemach et al. (2011). Writing Essays: From Paragraph to Essay. Macmillan Language House. ISBN: 978-0-2304-1592-8

外国語Ⅱ（必修）ドイツ語

ドイツ語Ⅰa 1単位(春学期)

ドイツ語Ⅰb 1単位(秋学期)

山本 賀代

セット履修 ほか（各クラスの担当者は時間割で確認のこと）

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業は、ドイツ語を初めて学ぶ学生を対象とし、発音や初級文法などドイツ語の基礎を身につけながら、総合的なドイツ語運用能力の養成と、ドイツ語圏の言語文化に対する教養を深めることを目的としています。Ⅰ、Ⅱ、Ⅲをセットで履修しますが、ⅠとⅡは同一教員が、Ⅲは別の教員が担当します。

成績評価方法:

平常点（出席・授業への参加度）、授業内試験、学年末一斉試験の結果から総合的に評価します。

テキスト(教科書):

各担当教員の指示に従ってください。

参考書:

各担当教員の指示に従ってください。

ドイツ語Ⅱa 1単位(春学期)

ドイツ語Ⅱb 1単位(秋学期)

山本 賀代

セット履修 ほか（各クラスの担当者は時間割で確認のこと）

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業は、ドイツ語を初めて学ぶ学生を対象とし、発音や初級文法などドイツ語の基礎を身につけながら、総合的なドイツ語運用能力の養成と、ドイツ語圏の言語文化に対する教養を深めることを目的としています。Ⅰ、Ⅱ、Ⅲをセットで履修しますが、ⅠとⅡは同一教員が、Ⅲは別の教員が担当します。

成績評価方法:

平常点（出席・授業への参加度）、授業内試験、学年末一斉試験の結果から総合的に評価します。

テキスト(教科書):

各担当教員の指示に従ってください。

参考書:

各担当教員の指示に従ってください。

ドイツ語Ⅲa 1単位(春学期)

ドイツ語Ⅲb 1単位(秋学期)

クリーク, ブリギッテ

セット履修 ほか（各クラスの担当者は時間割で確認のこと）

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業は、ドイツ語を初めて学ぶ学生を対象とし、発音や初級文法などドイツ語の基礎を身につけながら、総合的なドイツ語運用能力の養成と、ドイツ語圏の言語文化に対する教養を深めることを目的としています。Ⅰ、Ⅱ、Ⅲをセットで履修しますが、ⅠとⅡは同一教員が、Ⅲは別の教員が担当します。

成績評価方法:

平常点（出席・授業への参加度）、授業内試験、学年末一斉試験の結果から総合的に評価します。

テキスト(教科書):

各担当教員の指示に従ってください。

参考書:

各担当教員の指示に従ってください。

ドイツ語Ⅶa 1単位(春学期)

ドイツ語Ⅶb 1単位(秋学期)

山本 賀代

セット履修

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業は、高校までに一定レベルのドイツ語を学習した経験のある学生を対象とし、すでに習得したドイツ語の基礎を定着させ、さらなるドイツ語運用能力の養成を目指します。合わせてドイツ語圏の社会や文化、そこに住む人々のものの考え方や日常生活などへの理解を深めます。Ⅶ、Ⅸ、Ⅹをセットで履修します。

成績評価方法:

平常点（出席・授業への参加度）、授業内試験、学年末一斉試験の結果から総合的に評価します。

テキスト(教科書):

各担当教員の指示に従ってください。

参考書:

各担当教員の指示に従ってください。

ドイツ語Ⅸa 1単位(春学期)

ドイツ語Ⅸb 1単位(秋学期)

セット履修

米山 かおる

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業は、高校までに一定レベルのドイツ語を学習した経験のある学生を対象とし、すでに習得したドイツ語の基礎を定着させ、さらなるドイツ語運用能力の養成を目指します。合わせてドイツ語圏の社会や文化、そこに住む人々のものの考え方や日常生活などへの理解を深めます。Ⅶ、Ⅸ、Ⅹをセットで履修します。

成績評価方法:

平常点（出席・授業への参加度）、授業内試験、学年末一斉試験の結果から総合的に評価します。

テキスト(教科書):

各担当教員の指示に従ってください。

参考書:

各担当教員の指示に従ってください。

ドイツ語Ⅹa 1単位(春学期)

ドイツ語Ⅹb 1単位(秋学期)

セット履修

デーゲン, ラルフ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業は、高校までに一定レベルのドイツ語を学習した経験のある学生を対象とし、すでに習得したドイツ語の基礎を定着させ、さらなるドイツ語運用能力の養成を目指します。合わせてドイツ語圏の社会や文化、そこに住む人々のものの考え方や日常生活などへの理解を深めます。Ⅶ、Ⅸ、Ⅹをセットで履修します。

成績評価方法:

平常点（出席・授業への参加度）、授業内試験、学年末一斉試験の結果から総合的に評価します。

テキスト(教科書):

各担当教員の指示に従ってください。

参考書:

各担当教員の指示に従ってください。

ドイツ語Ⅶa 1単位(春学期)

ドイツ語Ⅶb 1単位(秋学期)

セット履修

山本 賀代

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業は、ドイツ語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲのうち1つの科目において目標レベルに到達できなかった2年生の学生を対象としています。初級ドイツ語の復習をしながら、習熟度の低かった項目を克服・定着させ、中級ドイツ語への橋渡しを目的とします。

成績評価方法:

平常点（出席・授業への参加度）、授業内試験、学年末一斉試験の結果から総合的に評価します。

テキスト(教科書):

担当教員の指示に従ってください。

参考書:

担当教員の指示に従ってください。

外国語Ⅱ（必修）フランス語

フランス語Ⅰa 1単位(春学期)

フランス語Ⅰb 1単位(秋学期)

フランス語初級文法

中川 真知子

セット履修 ほか(各クラスの担当者は時間割で確認のこと)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業の目標は、フランス語の仕組みを理解し、基礎的なコミュニケーション能力の土台を築くことです。そのために文法を一から学習します。授業では、フランス語のさまざまな用法の特徴を見つけたうえで、豊富な練習を通じて実践につなげていきます。

成績評価方法:

各学期(春・秋)の中間・期末試験、年4回の単語テストならびに平常点(出席、授業参加、課題)により評価します。

テキスト(教科書):

『アトリエ・フランセ——見聞きフランス語文法』石上亜紀子ほか著 朝日出版社 2007年 ISBN: 978-4-255-35184-1

参考書:

各教員の選択による。

フランス語Ⅱa 1単位(春学期)

フランス語Ⅱb 1単位(秋学期)

フランス語初級文法

中川 真知子

セット履修 ほか(各クラスの担当者は時間割で確認のこと)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業の目標は、フランス語の仕組みを理解し、基礎的なコミュニケーション能力の土台を築くことです。そのために文法を一から学習します。授業では、フランス語のさまざまな用法の特徴を見つけたうえで、豊富な練習を通じて実践につなげていきます。

成績評価方法:

各学期(春・秋)の中間・期末試験、年4回の単語テスト、および平常点(出席、授業参加、課題)により評価します。

テキスト(教科書):

『アトリエ・フランセ——見聞きフランス語文法』石上亜紀子ほか著 朝日出版社 2007年 ISBN: 978-4-255-35184-1

参考書:

各教員の選択による。

フランス語Ⅲa 1単位(春学期)

フランス語Ⅲb 1単位(秋学期)

口語表現法

クレメール 小椋, アレクサンドラ J.

セット履修 ほか(各クラスの担当者は時間割で確認のこと)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

フランス語会話に必要な基礎知識、日常生活の様々な場面に対応できる自然なフランス語を習得します。会話において基礎文法・基本表現等を応用できる思考力を養うとともに、言語の背景となっているフランス文化に関する幅広く豊かな知識を身につけます。

成績評価方法:

各学期(春・秋)の中間・期末試験、および平常点(出席、授業参加、課題)により評価します。

テキスト(教科書):

各教員の選択による。

参考書:

各教員の選択による。

フランス語Ⅷa 1単位(春学期)

フランス語Ⅷb 1単位(秋学期)

フランス語初級文法(既習クラス)

新島 進

福田 桃子

セット履修

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

初級文法を一通り学習したことのある学生を対象にした授業です。教科書の項目を利用して既習事項を確認しながら、新たな知識を獲得し、正確な読解力の土台を築くことが目標です。文法練習を重ねながら、学習者にとってつまづきやすい箇所を発見し、フランス語のさまざまな用法について理解を深めます。

成績評価方法:

各学期(春・秋)の中間・期末試験、ならびに平常点(出席、授業参加、課題)により評価します。

テキスト(教科書):

『Le Français sans Maître』伊藤まどか著 駿河台出版社 2008年 ISBN 978-4-411-00764-3

参考書:

各教員の選択による。

フランス語Ⅸa 1単位(春学期)

フランス語Ⅸb 1単位(秋学期)

総合フランス語

セット履修

ガボリオ, マリ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、「読む・書く・聴く・話す」というフランス語の総合的な運用能力を伸ばすことを目的とします。文法・会話の授業の総復習をし、既習事項を日常生活において自然に使えるようになることを目指します。発音・読解力・筆記力向上にむけ多くの練習を行い、個人的に細かい指導をしていきたいと思えます。また秋学期に毎週、日記(日常生活の描写等)をフランス語で書いてもらう予定です。

成績評価方法:

授業への積極的な参加の有無、共通テスト、及び春学期・秋学期各一回ずつの試験を総合して、評価を行います。

テキスト(教科書):

プリントを配布します。

参考書:

必要に応じて指示します。

フランス語Ⅹa 1単位(春学期)

フランス語Ⅹb 1単位(秋学期)

口語表現法

ノエル・中尾, パトリシア

セット履修

ブレッフユエル, ロミュアルド

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では数多くの聞き取り練習や小グループによる実践的な会話を通じ、日常生活の様々な場面に対応できる実用的で自然なフランス語の習得を目指します。学生ひとりひとりに細かい指導を行ないたいと思えます。

成績評価方法:

各学期(春・秋)の中間・期末試験ならびに平常点(出席点、遅刻数、授業態度)により評価します。

テキスト(教科書):

各教員の選択による。

参考書:

必要に応じて指示します。

フランス語Ⅶa 1単位(春学期)

フランス語Ⅶb 1単位(秋学期)

復習 フランス語初級文法・会話

林田 愛
福田 桃子

セット履修

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

フランス語I、II、IIIのうち、一つあるいは二つの授業の単位を未習得である2年生以上の学生を対象とする授業です。フランス語の初級文法の各項目を見直し、発音を練習し、基礎的な会話力を習得することを目指します。

成績評価方法:

各学期(春・秋)の中間・期末試験ならびに平常点(出席、授業参加、課題など)により評価します。

テキスト(教科書):

各教員の選択による。

参考書:

各教員の選択による。

外国語Ⅱ（必修）中国語

中国語Ⅰa 1単位(春学期)

中国語Ⅰb 1単位(秋学期)

千田 大介

セット履修 ほか(各クラスの担当者は時間割で確認のこと)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

大学で初めて中国語を学ぶ学生を対象とした授業で、発音から始まり、聞き取り・文法・語彙など、初級レベルの総合的中国語運用能力の習得を目指す。経済学部が将来、中国の経済や社会について学習・研究する上で必要な、中国語力の基礎をしっかりと固めるとともに、中華圏の文化についても理解を深めていただきたい。

この授業で学ぶ中国語とは、中国で使われている共通語(普通話)のことである。中国には多くの方言があるが、共通語は学校教育を通じて広く普及しているため、これを学んでおけば、中国のどこに行ってもコミュニケーションに困ることはない。中国語の発音には、そり舌音などの日本語にない発音や、四声と呼ばれる音の高低(tone)などがあり、発音表記にはピンインというローマ字表記法が使われている。また、中国語では「簡体字」と呼ばれる簡略化された字形が使われている。いずれも日本人学習者にとっては難しい側面もあるが、中国語学習の基礎となるので、心して学んでほしい。授業の中では、発音を身につけるためできるだけたくさん発音練習を行う。また、文法の学習に重点を置き、読解・作文・会話の基礎となる文法事項を先ず理解した上で、作文・読解等の練習を通して語学を運用できる能力を身につけていく。

なお、中国語ⅠとⅡは同じ教員が担当し、連続した内容の授業を行う。このため、授業計画に書かれている内容は、原則としてⅠとⅡで計二回扱うことになる。

成績評価方法:

定期試験、及び平常点により評価する。

テキスト(教科書):

担当者により異なるので、指示に従って用意すること。

中国語Ⅱa 1単位(春学期)

中国語Ⅱb 1単位(秋学期)

千田 大介

セット履修 ほか(各クラスの担当者は時間割で確認のこと)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

大学で初めて中国語を学ぶ学生を対象とした授業で、発音から始まり、聞き取り・文法・語彙など、初級レベルの総合的中国語運用能力の習得を目指す。経済学部が将来、中国の経済や社会について学習・研究する上で必要な、中国語力の基礎をしっかりと固めるとともに、中華圏の文化についても理解を深めていただきたい。

この授業で学ぶ中国語とは、中国で使われている共通語(普通話)のことである。中国には多くの方言があるが、共通語は学校教育を通じて広く普及しているため、これを学んでおけば、中国のどこに行ってもコミュニケーションに困ることはない。中国語の発音には、そり舌音などの日本語にない発音や、四声と呼ばれる音の高低(tone)などがあり、発音表記にはピンインというローマ字表記法が使われている。また、中国語では「簡体字」と呼ばれる簡略化された字形が使われている。いずれも日本人学習者にとっては難しい側面もあるが、中国語学習の基礎となるので、心して学んでほしい。授業の中では、発音を身につけるためできるだけたくさん発音練習を行う。また、文法の学習に重点を置き、読解・作文・会話の基礎となる文法事項を先ず理解した上で、作文・読解等の練習を通して語学を運用できる能力を身につけていく。

なお、中国語ⅠとⅡは同じ教員が担当し、連続した内容の授業を行う。このため、授業計画に書かれている内容は、原則としてⅠとⅡで計二回扱うことになる。

成績評価方法:

定期試験、及び平常点により評価する。

テキスト(教科書):

担当者により異なるので、指示に従って用意すること。

中国語Ⅲa 1単位(春学期)

中国語Ⅲb 1単位(秋学期)

池田 麻希子

セット履修 ほか(各クラスの担当者は時間割で確認のこと)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

初めて中国語を学ぶ学生を対象に、発音及び文法の基礎を習得し、日常的会話や作文の能力を身につけることを目指す。そして、経済学部の学生が将来、中国の経済や社会について学習・研究する上で必要な中国語力の基礎をしっかりと固めることを目指す。中国語の発音には声調(四声)など日本語にない要素が多く、授業の中で発音練習をしながら学習していく。そして、会話の学習に重点を置いて、基礎的な文法事項を学びながら、発話・リスニング・作文・読解の練習を行い、会話・作文・読解の基礎力を培ってゆく。

成績評価方法:

定期試験、及び平常点により評価する。

テキスト(教科書):

担当者により異なるので、指示に従って用意すること。

中国語Ⅳa 1単位(春学期)

中国語Ⅳb 1単位(秋学期)

長堀 祐造

セット履修

溝部 良恵

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

入学以前に中国語の初級を学習した経験をもつ学生を対象とし、初級から中級への橋渡しとなる内容を学習する。春学期は初級文法の確認に重点を置き、会話・作文・読解の基礎力をつけていく。秋学期は、中級文法を主に扱い、文法事項の運用能力の向上を図る。そして、経済学部の学生が将来、中国の経済や社会について学習・研究する上で必要な中国語力の基礎をしっかりと固めることを目標とする。

成績評価方法:

定期試験と平常点により評価する。

テキスト(教科書):

担当者により教科書が異なるので、指示に従って用意すること。

中国語Ⅴa 1単位(春学期)

中国語Ⅴb 1単位(秋学期)

金 スノグ

セット履修

楊 晶

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

入学以前に中国語の初級を学習した経験をもつ学生を対象とし、初級から中級への橋渡しとなる内容を学習する。春学期は初級文法の確認に重点を置き、会話・作文・読解の基礎力をつけていく。秋学期は、中級文法を主に扱い、文法事項の運用能力の向上を図る。そして、経済学部の学生が将来、中国の経済や社会について学習・研究する上で必要な中国語力の基礎をしっかりと固めることを目標とする。

成績評価方法:

定期試験と平常点により評価する。

テキスト(教科書):

担当者により教科書が異なるので、指示に従って用意すること。

中国語Ⅵa 1単位(春学期)

中国語Ⅵb 1単位(秋学期)

趙 暉

セット履修

波多野 眞矢

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

入学以前に中国語の初級を学習した経験をもつ学生を対象とし、初級から中級への橋渡しとなる内容を学習する。春学期は初級文法の確認に重点を置き、会話・作文・読解の基礎力をつけていく。秋学期は、中級文法を主に扱い、文法事項の運用能力の向上を図る。そして、経済学部の学生が将来、中国の経済や社会について学習・研究する上で必要な中国語力の基礎をしっかりと固めることを目標とする。

成績評価方法:

定期試験と平常点により評価する。

テキスト(教科書):

担当者により教科書が異なるので、指示に従って用意すること。

中国語Ⅶa 1単位(春学期)

中国語Ⅶb 1単位(秋学期)

貝塚 典子

佐高 春音

千田 大介

セット履修

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

中国語Ⅰ・中国語Ⅱ・中国語Ⅲのうち、一科目ないし二科目を未修得の学生を対象とする。発音及び文法の再確認をしながら定着を図り、基本的な作文・読解や簡単な会話の力を身につけることを目指す。そして、経済学部の学生が将来、中国の経済や社会について学習・研究する上で必要な中国語力の基礎をしっかりと固めることを目標とする。

授業では、発音を身につけるためできるだけ発音練習を行っていく。また、読解・作文・会話の基礎となる文法事項の再確認とともに、作文・読解等の練習を通して語学の運用能力を身につけていく。

成績評価方法:

定期試験、及び平常点により評価する。

テキスト(教科書):

担当者により異なるので、指示に従って用意すること。

外国語Ⅱ（必修）スペイン語

スペイン語Ⅰa 1単位(春学期)

スペイン語Ⅰb 1単位(秋学期)

ミヤン・マルティン, アルベルト
セット履修 ほか(各クラスの担当者は時間割で確認のこと)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業は、スペイン語を初めて学習する学生を対象とする授業です。週2回、文法の演習を中心に1年間でスペイン語初級文法の習得をめざし、簡単な文章の読み書きができるようにします。

成績評価方法:

平常点(出席状況・授業態度)、課題、試験などをあわせて総合的に判断します。詳細は初回授業時に担当教員が説明します。

テキスト(教科書):

初回時に担当者から指示します。

参考書:

辞書については電子辞書、紙媒体の辞書を初回の授業までに必ず購入してください。以下のものをお勧めします。

『ペルタ新スペイン語辞典』研究社

『西和中辞典』小学館

『クラウン西和辞典』三省堂

『現代スペイン語辞典』白水社

カシオEX-word(電子辞書)

スペイン語Ⅱa 1単位(春学期)

スペイン語Ⅱb 1単位(秋学期)

ミヤン・マルティン, アルベルト
セット履修 ほか(各クラスの担当者は時間割で確認のこと)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業は、スペイン語を初めて学習する学生を対象とする授業です。週2回、文法の演習を中心に1年間でスペイン語初級文法の習得をめざし、簡単な文章の読み書きができるようにします。

成績評価方法:

平常点(出席状況・授業態度)、課題、試験などをあわせて総合的に判断します。詳細は初回授業時に担当教員が説明します。

テキスト(教科書):

初回時に担当者から指示します。

参考書:

辞書については電子辞書、紙媒体の辞書を初回の授業までに必ず購入してください。以下のものをお勧めします。

『ペルタ新スペイン語辞典』研究社

『西和中辞典』小学館

『クラウン西和辞典』三省堂

『現代スペイン語辞典』白水社

カシオEX-word(電子辞書)

スペイン語Ⅲa 1単位(春学期)

スペイン語Ⅲb 1単位(秋学期)

アロンソ, マリア・シルビア
セット履修 ほか(各クラスの担当者は時間割で確認のこと)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業は、スペイン語を初めて学習する学生を対象とする授業です。週1回、会話やリスニングの演習を通して、基本的な語彙と初歩的なコミュニケーション能力(話す力・聴く力)を習得することをめざします。

成績評価方法:

平常点(出席状況・授業態度)、課題、試験などをあわせて総合的に判断します。詳細は初回授業時に担当教員が説明します。

テキスト(教科書):

初回時に担当者から指示します。

参考書:

辞書については電子辞書、紙媒体の辞書を初回の授業までに必ず購入してください。以下のものをお勧めします。

『ペルタ新スペイン語辞典』研究社

『西和中辞典』小学館

『クラウン西和辞典』三省堂

『現代スペイン語辞典』白水社
カシオ EX-word(電子辞書)

スペイン語Ⅷa 1単位(春学期)

スペイン語Ⅷb 1単位(秋学期)

セット履修 ミヤン・マルティン, アルベルト

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業は、大学入学以前にスペイン語を学んだことのある学生を対象とする授業です。週2回、スペイン語の初級文法の演習をしながら、1年間でスペイン語の基本的な4つの技能(読む、聞く、書く、話す)を確実に身につけるようにします。

成績評価方法:

平常点(出席状況・授業態度)、課題、試験などをあわせて総合的に判断します。詳細は初回授業時に担当教員が説明します。

テキスト(教科書):

初回時に担当者から指示します。

参考書:

辞書については電子辞書、紙媒体の辞書を初回の授業までに必ず購入してください。以下のものをお勧めします。

『ペルタ新スペイン語辞典』研究社

『西和中辞典』小学館

『クラウン西和辞典』三省堂

『現代スペイン語辞典』白水社

カシオEX-word(電子辞書)

スペイン語Ⅸa 1単位(春学期)

スペイン語Ⅸb 1単位(秋学期)

セット履修 ミヤン・マルティン, アルベルト

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業は、大学入学以前にスペイン語を学んだことのある学生を対象とする授業です。週2回、スペイン語の初級文法の演習をしながら、1年間でスペイン語の基本的な4つの技能(読む、聞く、書く、話す)を確実に身につけるようにします。

成績評価方法:

平常点(出席状況・授業態度)、課題、試験などをあわせて総合的に判断します。詳細は初回授業時に担当教員が説明します。

テキスト(教科書):

初回時に担当者から指示します。

参考書:

辞書については電子辞書、紙媒体の辞書を初回の授業までに必ず購入してください。以下のものをお勧めします。

『ペルタ新スペイン語辞典』研究社

『西和中辞典』小学館

『クラウン西和辞典』三省堂

『現代スペイン語辞典』白水社

カシオEX-word(電子辞書)

スペイン語Ⅹa 1単位(春学期)

スペイン語Ⅹb 1単位(秋学期)

セット履修 マルティネス シレス, パウラ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業は、大学入学以前にスペイン語を学んだことのある学生を対象とする授業です。週1回、スペイン語母語話者の教員とともに、会話、リスニング、作文の演習を通して、実用的な表現を学び、コミュニケーション能力や表現力の向上をめざします。

成績評価方法:

平常点(出席状況・授業態度)、課題、試験などをあわせて総合的に判断します。詳細は初回授業時に担当教員が説明します。

テキスト(教科書):

初回時に担当者から指示します。

参考書:

辞書については電子辞書、紙媒体の辞書を初回の授業までに必ず購入してください。以下のものをお勧めします。

『ペルタ新スペイン語辞典』研究社

『西和中辞典』小学館

『クラウン西和辞典』三省堂

『現代スペイン語辞典』白水社

カシオEX-word（電子辞書）

スペイン語Ⅶa 1単位(春学期)

スペイン語Ⅶb 1単位(秋学期)

小原 正
竹中 宏子
利根川 リリ
山本 昭代

セット履修

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業はスペイン語I, II, IIIのうちの1科目、または2科目の単位を取得できなかった学生を対象とする授業です。1年間で初級文法(直説法から接続法まで)の復習を行います。

成績評価方法:

平常点(出席状況・授業態度)、課題、試験などをあわせて総合的に判断します。詳細は初回授業時に担当教員が説明します。

テキスト(教科書):

初回時に担当者から指示します。

参考書:

辞書については電子辞書、紙媒体の辞書を初回の授業までに必ず購入してください。以下のものをお勧めします。

『プエルタ新スペイン語辞典』研究社

『西和中辞典』小学館

『クラウン西和辞典』三省堂

『現代スペイン語辞典』白水社

カシオEX-word（電子辞書）

英語セミナー

〈目標〉

Study Skills で培った技能を生かして、特定のトピックやテーマを研究し、発表するセミナー形式のクラスです。テーマに関連した文献を読み、英文のレポートを作成し、議論を行うという作業を通じて英語の総合的な運用能力を高めることを目標とします。使用言語は英語が中心となります。レベルによって必要とされる予習量が異なります。詳しくは各レベルの説明の冒頭部分、ならびに各担当教員の講義要綱、経済学部英語クラスWebページ (p.11) を参照してください。

英語セミナー (中級)

英語セミナー (中級) は、様々な英語の技能を研ぎたい学生向けの科目です。授業では原則英語が使われ、定期的にプレゼンテーションやディスカッションを行うことが要求されます。リーディングやライティングの宿題も定期的に出ます。

各英語セミナーの授業は、扱われるトピック (テーマ) によって次の4つのカテゴリーに分類されています。

1) 文学・芸術・思想, 2) 言語・文化, 3) 社会・経済・歴史, 4) その他

それぞれの授業がどのカテゴリーに属しているかは、英語セミナー・英語リーディングのトピック (テーマ) 別一覧表を参照してください。

英語セミナー (中級)

英語セミナー(中級) 2単位(春学期集中)

英語セミナー(中級) 2単位(秋学期集中)

Australia Part Two: Australia - The Coming of the Europeans
(言語・文化)

(前年度との繰り返し履修不可)

春学期: (水2/金2)

秋学期: (水1/金2) (水2/金1)

アプス, ピーター

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Australia is one of Japan's closest partners in Asia but most Japanese students know little about Australia. In this course the study will take in The beginning of the European Settlement/ Invasion of Australia. We will study when the Europeans discovered Australia, why did they want to colonize Australia, who were the first white people and the interaction between them and the Aboriginals. If you are interested in Australia this course will be interesting for you.

成績評価方法:

Attendance and Participation 10%

Power Point Presentations 40%

Class Summaries 25%

Essays and small paragraphs 25%

テキスト(教科書):

There will be no textbook for the course but the students will be given readings during the course semester.

参考書:

There are no reference books for this course but an English/ Japanese dictionary will be useful.

英語セミナー(中級) 2単位(春学期集中)

アメリカ・カナダの文化と社会

(言語・文化)

(前年度との繰り返し履修不可)

春学期: 火3/水5

飯野 彩

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

多民族・多文化国家アメリカとカナダの歴史、移民、エスニック集団、両国に渡った日本人の歴史、多様性、調和的共存、多文化教育、アイデンティティに目を向けながら、知識・理解を深めます。また、論文・エッセー等を読む・聞くことで、語学力だけではなく、的確に且つ迅速に内容を把握しまとめる力に加え、トピックについて自身で考え表現するライティング・ディスカッション・プレゼンテーション能力を身に付けます。今後、日本または海外において積極的に発信できるリーダーとして活躍する皆さんに役立つ授業を行います。

成績評価方法:

The final grade is based on overall elements, including class participation, assignments, quizzes, and a research paper.

テキスト(教科書):

・Gallagher, Charles A.. (2018). Rethinking the Color Line: Readings in Race and Ethnicity. Sixth Edition. Sage Publishing. ISBN: 978-1506394138

・Selected readings from publications, including books, academic journals, newspaper articles, and essays. Handouts.

参考書:

・Meacham, Jon. (2018). The Soul of America: The Battle for Our Better Angels. Random House. ISBN:978-0399589812

・Mills, Melinda. (2017). The Borders of Race: Patrolling "Multiracial" Identities.

Lynne Rienner Publishers, Inc. ISBN: 978-1626375826

・ Gerstle, Gary. (2017). *American Crucible: Race and Nation in the Twentieth Century*. 2nd ed. Princeton University Press. ISBN: 978-0-691-17327-6

・ Portes, Alejandro, and Rubén G. Rumbaut. (2014). *Immigrant America: A Portrait* 4th ed. University of California Press. ISBN: 978-0-520-27402-0

・ Troper, Satzewich, V. and N. Liidakis. (2013). *'Race' and Ethnicity in Canada*. 3rd ed. Oxford University Press. ISBN 978-0-195-44901-3

・ Gerber, David. (2011). *American Immigration: A Very Short Introduction*. Oxford University Press. ISBN: 978-0-195-33178-3

・ Gallagher, Charles A.. (2011). *Rethinking the Color Line: Readings in Race and Ethnicity* 5th ed. McGraw-Hill. ISBN: 978-0-078-02663-8

・ Segura, Gary M. and S. Bowler. (eds.). (2006). *Diversity in Democracy: Minority Representation in the United States (Race, Ethnicity, and Politics)*. University of Virginia Press. ISBN: 978-0813923383

・ Selected readings from publications, including academic journals, newspaper articles, and essays.

・ 『エスニック・アメリカ -多文化社会における共生の模索』 第3版 明石紀雄, 飯野正子 編著 有斐閣 2011年 ISBN 978-4-641-28122-6

・ 『新版史料が語るカナダ1535-2007-16世紀の探検時代から21世紀の多元国家まで』 日本カナダ学会 編 有斐閣 2008年 ISBN 978-4-641-17343-9

英語セミナー(中級) 2単位(秋学期集中)

World Art History from the Perspective of Intercultural Contacts
(文学・芸術・思想)
(前年度との繰り返し履修不可)
秋学期: 月4/土2

鎌田 由美子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

In today's highly globalized society, we are expected to communicate with people from all over the world. Therefore, it is important to understand and analyze our own culture as well as a variety of foreign cultures. This seminar "World art history from the perspective of intercultural contacts" aims to develop students' deeper understanding of the history, culture, society, religion, and trade behind the production of a specific art object from a different culture.

Students are expected to read variety of reading materials on history and art. Final essay and presentation should be based on your original research on specific topic related to art and culture. Details of course plan are subject to change.

成績評価方法:

Attendance and active participation: 30 %

Short presentation: 10 %

Final presentation: 30 %

Final essay (1000 words): 30 %

テキスト(教科書):

Reading materials will be provided by the instructor.

英語セミナー(中級) 2単位(春学期集中)

英語セミナー(中級) 2単位(秋学期集中)

マジックで人生を変える&時事英語
(社会・経済・歴史)
(前年度との繰り返し履修不可)
春学期・秋学期: 水4/金3

楠 浩恵

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

1. 授業の目的: Study Skills で培った技能(Presentation, Paragraph Writing, Looking for main ideas in reading passages and paraphrasing)を生かして、特定のテーマ(自己啓発)を追求する。
2. 授業の内容: 「マジックで人生を変える」授業は、教科書を読み、宿題でmagic practicesに取り組み、short presentationsを行う。「時事英語」の授業は、CALL教室で行い、current topicsを扱う。dictation, timed reading & shadowingを通して英語の技能を高める。宿題でoutside readingsに取り組み、discussionsを行う。
3. 授業における使用言語: 原則として英語を使用する。英英辞典の使用も奨励する。

4. 比率: リスニング20% プレゼンテーション20% リーディング20% ライティング20% 議論20%

5. 課題: magic practicesとshort presentationsの準備、outside readingsとdiscussionsの準備、final presentation、そしてessays/term paper (1,000 words+)を課す。

6. 学生へ: 積極的に授業に参加することが要求される。

成績評価方法:

Outside Readings, Discussions	20%
Dictation, Timed Reading, Shadowing	10%
Magic Practices, Short Presentations	20%
Final Presentation	20%
Term paper / Essay (1,000 words+)	20%

Attendance, participation, and other assignments
10%

テキスト(教科書):

Byrne, Rhonda. (2012). *The Magic (The Secret)*. Atria Books. ISBN: 9781451673449

Handouts

参考書:

Byrne, Rhonda. (2006). *The Secret. Beyond Words* Pub. Co. ISBN: 9781582701707

Byrne, Rhonda. (2010). *The Power (The Secret)*. Atria Books. ISBN: 9781439181782

英語セミナー(中級) 2単位(秋学期集中)

Vampire in Texts and Images
(文学・思想・芸術)
秋学期: 木4/土1

迫田 真帆

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course explores the relationships between texts (mainly fiction) and images (painting, photography, and film) by reading Dram Stoker's novel, *Dracula* (1897). In this course, we will focus on the European arts and cultures of the fin de siècle (the end of the nineteenth century), questioning what *Dracula* represents and how the figure has been changing its form. Key topics for class discussion include immigration, imperialism, racism, technology, gender, sexuality, class, scientific discovery, and so on. The aim of this seminar is to provide students with opportunities to practice close analysis of textual and visual materials. By the end of the course, the students should be able to express their opinions confidently and develop critical thinking, research, discussion, and presentation skills. And they should be able to acquire basic knowledges of literature and visual arts in the late nineteenth-century Britain and Europe.

This is a seminar course based on in-class discussions. Arriving in class with nothing to share with others is not acceptable. For each session, the students must prepare by doing the assigned reading and making a list of discussion topics to develop in class. They will be required to give at least two in-class presentations. The students will be expected to speak and participate in discussion in English.

成績評価方法:

Attendance and active participation- 20%

Homework assignment - 30%

Presentation- 20 %

Term paper (1000-word)- 30%

テキスト(教科書):

Stoker, Bram. (2003). *Dracula*. Penguin Classics. ISBN: 978-0141439846

*Other reading materials will be provided in class.

英語セミナー(中級) 2単位(秋学期集中)

Femininity and the Female Body in Texts and Images

(文学・思想・芸術)

秋学期：木5/土2

迫田 真帆

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

This course examines the representations of femininity in texts (poetry, non-fictional prose, and fiction) and images (painting, photography, and film). The first half of the course focuses on literary texts, discussing the ways in which female writers construct and re-construct the representation of "ideal women." Our readings include nineteenth- and twentieth-century British, American and Canadian fictional and non-fictional works by writers such as Christina Rossetti, Virginia Woolf, Shirley Jackson, and Margaret Atwood. The second half of the course explores female bodies in visual arts including painting, photograph, portraiture, and film by western artists. We will examine the ways in which ideal female bodies are socially and culturally created and yet constantly change the forms.

The aim of this seminar is to provide students with opportunities to practice close analysis of textual and visual materials. By the end of the course, the students should be able to express their opinions confidently and develop critical thinking, research, discussion, debate, and presentation skills. And they should be able to acquire basic knowledges of literature, visual art, and feminism theory.

This is a seminar course based on in-class discussions. Arriving in class with nothing to share with others is not acceptable. For each session, the students must prepare by doing the assigned reading and making a list of discussion topics to develop in class. They will be required to give at least two in-class presentations. The students will be expected to speak and participate in discussion in English.

成績評価方法：

Attendance and active participation- 20%

Homework assignment- 30%

Presentation- 20%

Term paper (1000-word)- 30%

テキスト(教科書)：Atwood, Margaret. (2018). *The Handmaid's Tale*. Vintage Classics

*Other reading materials will be provided in class.

英語セミナー(中級) 2単位(秋学期集中)

英語で読み考える日本の時事問題

(その他)

(前年度との繰り返し履修不可)

秋学期：水5/金5

志村 明彦

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

学生による最新時事問題(日本に関するニュースに限定)に関する口頭発表を通して、新聞英語を理解し、その内容について自分の意見を英語で発表する能力を養うことを目的とする。その目的を達成するために、以下の項目を学習する：(1) 新聞英語の特徴を理解する、(2) 最新の英文記事を多読し、その要旨をつかみ、記事内容に関して自分の意見をまとめる、(3) 自分の選択した最新の英文記事に関する口頭発表を英語で行い、クラスメートと簡単なディスカッションをする、(4) 発表内容に関するレポートを書き、英語によるレポートの書き方を学ぶ。期末試験はないが、口頭発表を2回行い(50%)、その発表に関するレポートを2回提出してもらう(15%)。高校までの教師主導型の授業と異なり、学習者中心の「セミナー形式」をとる。出席(20%)はもちろん、積極的な授業参加(15%)が期待されている。クラスメートとともに、多様な日本の時事問題について、英語で読み、考えてみよう！

成績評価方法：

口頭発表(2回)：50%

口頭発表に関するレポート(2回)：15%

出席：20%

積極的な授業参加：15%

テキスト(教科書)：

最初の授業で指定する。

参考書：

最初の授業で指定する。

英語セミナー(中級) 2単位(秋学期集中)

Renewable energy resources and technology

(社会・経済・歴史)

(前年度との繰り返し履修不可)

秋学期：木2/土2

スズキ, スティーブン・タロー

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

There are various goals for this course operating on three levels. The first level is related to language competency. On this level, the course is designed to improve speaking, listening, reading and writing skills. The second level is related to academic competency. The course is also designed to improve presentation skills and writing skills in an academic, and possibly a future professional context. The third level is related to higher-level intellectual skills. Through engaging in, and performing various tasks, students will improve their analytical, rhetorical, and critical thinking skills. These skills at the third level are abstract and difficult to measure, unlike the first two; however, they are important in terms of being able to collaborate and cooperate effectively with classmates now, and with colleagues in future professions.

The first two-thirds of the semester will be mainly focused on the general topic of renewable energy. Every week, we will look at different forms of renewable energy reading articles and listening to short presentations from field experts. Also during this part of the semester, students will learn important presentation skills and basic formal academic writing conventions. A presentation and paper will end the first two-thirds of the semester.

The final-third of the semester will be focused on photovoltaics (PV), and students will view this specific topic from both industry and consumer perspectives. In this part of the course, students will be more engaged in developing analytical, rhetorical, and critical thinking skills. A presentation and paper will end the final-third of the semester.

成績評価方法：

1. Participation and class work: 30%

2. Group project: 40% (20% for the presentation; 20% for the paper)

3. Individual project: 30% (15% for the presentation; 15% for the paper)

テキスト(教科書)：

There are no textbooks. All materials will come from the teacher or be created by the students.

参考書：

None.

英語セミナー(中級) 2単位(秋学期集中)

Global English and World Englishes

(言語・文化)

(過年度との繰り返し履修不可)

秋学期：(火4/金4)(火5/金5)

鈴木 亮子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

Even though Japanese is the primary and official language in Japan, it is an undeniable fact that we are in constant contact with English through a variety of resources, such as the Internet, pop music and English classes at school. This course focuses on the English language. We will consider the notion of a global language and examine whether English is the leading candidate for it, and, if so, why. Students will also learn about many varieties of English (a) spoken in different parts of the world, and (b) used in various domains of our daily life. Students will investigate the prominent linguistic features and socio-cultural backgrounds of some of these varieties of English.

Throughout the semester, students are expected to prepare responses for the assigned readings prior to class in order to enhance the class participation. Each student will make presentations and produce a term paper.

成績評価方法：

Attendance 10% (Active participation is required)

Reading Responses/Quiz 10%
 Chapter presentations 25% (Presentation 1=10%; Presentation 2=15%)
 Final Presentation 20%
 Term Paper 35% (Outline 5%; First Draft 10%; Term paper 20%)
 テキスト(教科書):
 Crystal, David. (2003). *English as a Global Language*(2nd ed.).
 Cambridge: Cambridge University Press. 詳細は教科書販売所と授業初
 回に指示します。

英語セミナー(中級) 2単位(春学期集中)

英語セミナー(中級) 2単位(秋学期集中)

Why Linguistics Matters
 (言語・文化)
 (前年度との繰り返し履修不可)
 春学期・秋学期: 月4/木4

田中 裕司

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course is intended for students with general interest in the study of language. The topic centers around the question of what research in grammar and meaning contributes to society. Basic-level discussions and presentations comparable to those practiced in Study Skills are required. At the end of the semester, an essay of about 1,000 words must be submitted that deals with a topic related to the issues discussed in class.

成績評価方法:

Class participation 30%
 Discussion 30%
 Term paper 40%

テキスト(教科書):

Pullum, Geoffrey K. 2018. *Linguistics: Why It Matters*. Cambridge: Polity Press. ISBN: 978-1-5095-3076-2

英語セミナー(中級) 2単位(秋学期集中)

What is Love?
 (その他)
 秋学期: (水4/土1)(水5/土2)

ドウモビッチ, ジョン

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

In this course, we will explore love in some of its forms from multiple perspectives. We will look at functions of love, the chemistry of love, love as an emotion or motivational system, taboo love, theories and models from social science, modern studies of love using advanced technology, and many anecdotes regarding love. From ancient wisdom to modern science, viewpoints of poets, artists, philosophers, psychologists, neuroscientists, and many others will provide us with a good general understanding of what love really is.

This is a communicative course in which learners will be expected to attend every class and participate actively in discussions. In this course students will experience a wide variety of presentation styles.

成績評価方法:

Grades are based on: Class participation and attendance (10%), class assignments (30%), class presentations (30%), notebook/journal (10%), final essay paper (20%). Assessment for this course will be conducted in class. There is no final exam for this course. Students will be expected to complete all assignments and present their work for assessment.

テキスト(教科書):

There is no text for this class. Students will be assigned reading handouts in class that can be completed as homework. Students are expected to come to class prepared with an English-Japanese dictionary, a B5 sized notebook, and/or a pen/pencil. Students are expected to work independently as well as engage in group activities that will require collaboration to accomplish some class assignments. Other classroom materials will be provided by the instructor.

参考書:

Dion, K.K., & Dion, K.L. (2005). Cultural perspectives on romantic love. *Personal relationships*. 3(3), 5-17.

Fisher, H. (2009). *Why him? Why her? How to find and keep lasting love*. New York, NY: Holt

Hatfield, E., Bensman, L., & Rapson, R.L. (2012). A brief history of social scientists' attempts to measure passionate love. *Journal of social and personal relationships*. 29(2). 143-146.

Lee, J.A. (1973). *Colours of love: an exploration of the ways of loving*. Toronto, ONT: New Press.

Sternberg, R. J., & Barnes, M.L. (1988). *The psychology of love*. New Haven, CT: Yale University Press.

Tennov, D. (1979). *Love and limerence: The experience of being in love*. New York, NY: Stein and Day.

英語セミナー(中級) 2単位(春学期集中)

英語セミナー(中級) 2単位(秋学期集中)

Introduction to Archaeology
 (文学・芸術・思想)
 (前年度との繰り返し履修不可)
 春学期: (月5/木5)
 秋学期: (月5/木5)(火5/金5)

トーマス, ダックス

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course is an introductory look at the tools and techniques used in archaeology (the study of ancient culture). The purpose of the course is to improve skills in writing, presenting and discussing, while studying interesting points relating to archaeology and ancient culture in general. In this class we'll look at the techniques used to gather and process data from archaeological excavations as well as at the specific archaeology of a variety of ancient cultures.

This class will be taught in English. Classes will include a mix of writing, discussion sessions and interactive activities, with a lot of visual material (slides) and both real and replica items from the instructor's teaching collection. A variety of classroom activities will let students explore the topic of archaeology in creative and interesting ways.

成績評価方法:

Class participation and attendance - 30%
 Seminar notebook - 10%
 Quizzes - 20%
 Presentations - 20%
 Typology Report (outline and paper) - 20%

テキスト(教科書):

Reading to be provided by instructor.

参考書:

Please bring an English-Japanese dictionary to every class.

英語セミナー(中級) 2単位(秋学期集中)

近代イギリスの社会と教育
 (社会・経済・歴史)
 (過年度との繰り返し履修不可)
 秋学期: (水4/金4)(水5/金5)

中込 さやか

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course aims to explore the historical origins of present British educational system by focusing on the interactions between education and society. Education is deeply connected to the wants of society because educational aims and practices reflect social conditions surrounding education. At the same time, changes can be made through education when new requirements are reflected in educational aims and practices. The course materials mainly refer to changes made after the 19th century because many aspects of present British educational system, be it in elementary, secondary, higher and vocational education, have historical roots emerging from the 19th century onward. They also refer to various aspects such as economic, political, social conditions, gender, class, race and ethnicity, religion, etc. Students will be required to read and

understand given materials, discuss the topic in class, make presentations and write essays.

成績評価方法:

Classroom Participation (including attendance, small group discussions, etc.).

Presentation.

Essay (based on Presentation).

テキスト(教科書):

Course materials and textbooks will be given during the lessons.

英語セミナー(中級) 2単位(秋学期集中)

American Studies: History, Society and Culture

(社会・経済・歴史)

(前年度との繰り返し履修不可)

秋学期: 水2/金2

中津川 みゆき

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The course aims to introduce students to the basic principles and values that underlie American society and culture while providing opportunities for hands-on practice with the academic skills acquired in previous semesters. The particular areas to be covered are: the political system of America, the diversity of the nation, the struggle for equality, and American values. By reading extensively in these topic areas, key concepts and principles will be introduced and evaluated within their historical contexts. As the course proceeds, students will be encouraged to identify recurring themes and concepts across topic areas: the fundamental values that govern America and its people. These values will, in turn, be applied to understanding contemporary issues in America and furthermore to the understanding of differences between American values and those of other cultures.

The emphasis of the course is to “experience” learning about a content area “in English.” To this end, the course aims to represent a scaled version of a real content course in North American contexts. All class activities will be conducted in English and students are encouraged to “stay in English” during the 90-minute class period.

成績評価方法:

Evaluation will be based on the following criteria:

Attendance & active participation in class discussions - 20%

Weekly reading & writing assignments - 30%

Group project & presentation - 25%

Final paper - 25%

テキスト(教科書):

Williams, Jessica.(2013). Academic Encounters: American Studies: Reading & Writing 2nd ed. Cambridge University Press. ISBN: 978-1-107-64791-6

参考書:

Additional materials will be drawn from online sources and periodicals, both by the instructor and the students.

英語セミナー(中級) 2単位(春学期集中)

UK Culture & Society

(言語・文化)

(前年度との繰り返し履修不可)

春学期: 月5/金5

バロウス, リチャード J.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Though Britain occupies a high profile in the minds of most Japanese, few know anything about the lives & culture of ordinary British people. In this course, through selected readings & audio-visual material, students will have the opportunity to learn about the culture, society & lifestyle of the British. During the course, students will be required to make a presentation about the UK on a topic of their choice and complete a printed report comparing/contrasting a topic in both Britain & Japan.

Students will have regular background reading assignments, in addition to a PowerPoint presentation & comparative/contrast report about an aspect of UK culture that interests them

From this course, students shall not only have a deeper knowledge of the culture & society of one of Europe's leading nations, but also be able to

look at their own culture & society and make more informed & educated judgments.

成績評価方法:

Grades will be decided according to the following criteria:

30% - Attendance & Punctuality

30% - Classroom Participation

20% - Term Report

20% - Presentation

参考書:

An electronic dictionary, or smartphone dictionary, is required at every lesson during this course

英語セミナー(中級) 2単位(秋学期集中)

Oceans in Peril

(その他)

(前年度との繰り返し履修不可)

秋学期: 月5/金5

バロウス, リチャード J.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

As an island nation, Japanese culture & history has been closely entwined with the seas that surround it. For much of Japan's history, the Japanese people have relied on the ocean for protection and still today, from fuel to food, depend heavily on what the oceans provide. However, with the ice caps threatening to melt from global warming, industrial pollution endangering habitats and over-exploitation of fish stocks prompting the collapse of whole species, the marine environment is under pressure like never before. This course will attempt to raise students' awareness of these issues, involve them in the search for solutions which will lead to a greater appreciation of how vital the sea is to human existence. In addition to audio-visual materials which will form the basis of listening comprehension & discussion in class, regular reading assignments will be set. Students will also be expected to make one presentation and submit one printed assignment during the course of the semester on marine-related themes of their choice.

As part of the next generation who will be faced with the reality of environmental change & the urgent need to protect in particular, our oceans & its resources, this course should equip students with the facts & knowledge needed to better decide how Japan should manage its marine resources in the 21st century.

成績評価方法:

Students' evaluation will be based on the following criteria:

30% - Attendance & Punctuality

30% - Classroom Participation

20% - Written Assignment

20% - Presentation

参考書:

An electronic or a smartphone dictionary is required at every lesson on the course

英語セミナー(中級) 2単位(秋学期集中)

Product Design, Marketing & Advertising

(社会・経済・歴史)

(前年度との繰り返し履修不可)

秋学期: 月4/金2

バロウス, リチャード J.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course will focus on product design & the global business of marketing & advertising. Students will have the opportunity to see how some of the world's most famous products were developed, see how commercials are made and plan a marketing campaign of their own. Design & advertising in Japan & various foreign markets will be analyzed, in particular the different strategies and taboos that influence how companies promote their products & services in the global market. Students will focus on the following 4 areas: The Product, The Customer, The Market, Advertising. Business profiles, corporate case studies & related reading will be the major components of the weekly reading homework assignments. In addition to a presentation about a business related topic of their choice, students will also need to produce a printed report on a business topic.

From this course, students will gain insight into how the consumer economy has developed, how it works today and their part in it, leading them to more informed choices as they emerge from the world of education into the world of work.

成績評価方法:

Students' evaluation will be based on the following criteria:

30% - Attendance & Punctuality

30% - Homework & Classroom Participation

20% - Presentation

20% - Printed Report

参考書:

An electronic or smartphone dictionary is required at each class during this course.

英語セミナー(中級) 2単位(春学期集中)

英語セミナー(中級) 2単位(秋学期集中)

Storytelling through Movies

(文学・芸術・思想)

(前年度との繰り返し履修不可)

春学期: (月4/木4)

秋学期: (月3/木3) (月4/木4)

パワー, トーマス

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course introduces students to the crafts of storytelling, scriptwriting, and film production. Students are encouraged to practice listening, speaking, reading and writing skills while analyzing the elements of a well-structured story, writing dialogues and scenes in script format, and building on basic knowledge of film production. Students will work in small groups to plan, write, perform, shoot, direct, and produce two short film projects, using smartphones and free editing software. At the end of this course, students should be more confident in expressing their ideas and feelings in English in small group discussion, written assignments, role-play exercises and skits, presentation, peer evaluation, and film production.

成績評価方法:

Final evaluation will be based on:

Participation and regular attendance 20%

Homework assignments 20%

Movie presentation and analysis 20%

Two film projects 40%

テキスト(教科書):

The textbook will be announced in the first class. The instructor will distribute handouts and supplementary materials as well as use online resources.

参考書:

Syd Field. The Screenwriter's Workbook.

英語セミナー(中級) 2単位(春学期集中)

Business and Ecology 1

(社会・経済・歴史)

(前年度との繰り返し履修不可)

春学期: (水3/金3) (水4/金4)

藤井 誠

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The purpose of this class is to provide students with the opportunity to discuss and analyze environmental issues including air and water pollution, recycling, garbage disposal, noise issue, and global warming. In class, we will be watching news clips, reading articles, discussing environmental issues, and sharing opinions.

Students will also be asked to write short essays and present information about any global environmental problem.

成績評価方法:

Evaluation will be based on attendance (10%), class participation (20%), quizzes(20%), presentation (20%) and final examination (30%).

テキスト(教科書):

Broadcast:ABC World News Tonight 2 山根繁 Kathleen Yamane 金星堂

2020年 ISBN 978-4-7647-4096-9

Top Tips for the TOEIC L&R Test S.J. Berman 小林裕子 早坂信成美堂

2020年 ISBN 978-4-7919-7214-2

英語セミナー(中級) 2単位(秋学期集中)

Business and Ecology 2

(社会・経済・歴史)

(前年度との繰り返し履修不可)

秋学期: (水2/金2) (水3/金3)

藤井 誠

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The purpose of this class is to provide students with the opportunity to discuss and analyze environmental issues including air and water pollution, recycling, garbage disposal, noise issue, and global warming. In class, we will be watching news clips, reading articles, discussing environmental issues, and sharing opinions.

Students will also be asked to write short essays and present information about any global environmental problem.

成績評価方法:

Evaluation will be based on attendance (10%), class participation (20%), quizzes(20%), presentation (20%) and final examination (30%).

テキスト(教科書):

English for the Global Age with CNN Vol. 21 Kansai University CNN Research Group

朝日出版社 2020年 ISBN 978-4-255-15645-3

All-Round Training for the TOEIC L&R Test 石井隆之他 成美堂

2020年 ISBN 978-4-7919-7213-5

英語セミナー(中級) 2単位(春学期集中)

英語セミナー(中級) 2単位(秋学期集中)

The World Around Us

(言語・文化)

(前年度との繰り返し履修不可)

春学期・秋学期: 月5/水5

ベデロ, サイモン

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This English seminar enables students to further improve their English communication competency. The course is taught in English and deals with a variety of themes related to language, culture and other issues of common interest.

The skill targets of the course are *reading, speaking, listening and vocabulary acquisition*. Students improve on these by analyzing English texts, working in pairs and holding group discussions. A typical flow of a class session consists of vocabulary exercises, a guided Q&A session and listening comprehension activities.

Students spend up to an hour per week for homework assignments. Their progress is closely checked through a system of quizzes either on vocabulary content or text analysis. At the end of the course, students will be able to understand an English text and express views on the matter with confidence.

成績評価方法:

Grading is based on: a) five reading comprehension quizzes (25%); b) four progress review tests (40%); c) three speech practices (15%); d) two TOIEC-style listening tests (10%); and e) one term-end speech (10%). Students need to have less than 4 absences to be considered for credit evaluation.

テキスト(教科書):

Birnbaum, Clara. (2009). **Getting Personal Using Video clips: Watch, Listen and Read**. Shohakusha. ISBN: 978-4-88198-618-9 C3082.

Additional materials are introduced to maximize both the learning experience and the opportunity to interact with fellow students.

参考書:

Though not an absolute requirement, students are encouraged to have a Longman's English-English Dictionary.

英語セミナー(中級) 2単位(秋学期集中)

Introduction to the Wonderful World of Language
(言語・文化)
(前年度との繰り返し履修不可)
秋学期: 月4/木2

星 浩司

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The main goal of this course is to introduce students into various issues surrounding human language and to provide opportunities to cultivate their awareness of the significance of language in their daily life. Topics to be covered include: Discovering grammar, Accents and dialects, Being bilingual, Sign language, Dying languages, Language change, Language variation, Political correctness and applied linguistics. Students are expected to come up with their own research topic and question based on what they have learned in class, write a term paper and make an individual class presentation on their research result.

Classroom Language: Classes will be conducted primarily in English, but Japanese will also be employed when necessary.

成績評価方法:

Class participation (20%), homework (20%), term paper [approximately 1000 words] (30%), individual class presentation (30%)
テキスト(教科書):

David Crystal (edited with notes by Nobuo Okada). (2010). The Wonderful World of Language. Seibido.

英語セミナー(中級) 2単位(春学期集中)

Economic Cycles and Financial Crises
(社会・経済・歴史)
春学期: 月4/水4

ボーム, スティーブン

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Using Critical Thinking as a basis, this course will examine major economic cycles and financial crises affecting Japan and the world.

成績評価方法:

Essay: 10%, Presentation: 30%, Class participation: 60% (based on reading assignments and other preparation).

テキスト(教科書):

Materials provided by the instructor.

英語セミナー(中級) 2単位(春学期集中)**英語セミナー(中級) 2単位(秋学期集中)**

Current Social and Environmental Issues in Historical-Economic Perspective
(社会・経済・歴史)
(前年度との繰り返し履修不可)

春学期・秋学期: (火4/金4)(火5/金5)

ボルトハウス, ジェイ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

In this seminar, students will learn to think through and speak about current social and environmental issues from a historically-economically informed perspective by reading and actively discussing key texts and recent articles. In addition, students will also continue to enhance their academic communication skills by twice leading in-class discussions in groups, giving two individual presentations and writing a midterm and final paper. Regular attendance and active participation are essential in this intermediate-level seminar. Let's learn to critically analyze and discuss the historical-economic roots of the socio-environmental issues of our times.

成績評価方法:

Attendance (15%)
Preparation for class discussions (15%)
Participation in class discussions (15%)
Discussion leader (20%)
Mid-term paper and presentation (15%)
Final paper and presentation (20%)

テキスト(教科書):

All readings for the course will be announced during the first class.

参考書:

To be announced in the first class.

英語セミナー(中級) 2単位(春学期集中)**英語セミナー(中級) 2単位(秋学期集中)**

Introduction to Corporate Social Responsibility
(社会・経済・歴史)
(前年度との繰り返し履修不可)

春学期・秋学期: (月2/水3)(月3/水4)

ボンジー, アラーナ R.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course focuses on Ethical decision-making Leadership and Stakeholder Decision. In this course, we will look at ethical dilemmas faced in international business and ways in which to analyze issues from the stakeholder perspectives. The style is case study analysis, discussion and presentation. We will be analyzing the following themes: stakeholder management, issue analysis corporate social responsibility, business and society. There is also an online self-directed learning component that accompanies this course. The contents of the component are linked to economics, business and society. The focus is on building vocabulary, and increasing reading, writing and listening skills.

成績評価方法:

Evaluation:

Participation 10%,

3-4 Summaries, responses and analysis Case studies (minimum 250 words each), Group Presentations based on case study (5 minutes) 60%,

Self Directed Study Component and Language Dossier and Attendance 30%

テキスト(教科書):**英語セミナー(中級) 2単位(春学期集中)****英語セミナー(中級) 2単位(秋学期集中)**

Comparative Japanese Global Studies

社会・経済・歴史

前年度との繰り返し履修不可

春学期: 月2/水2

秋学期: 水2/金1

三原 龍太郎

マーティン, ジェローム ポール

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Due to how globalization has developed in recent years and its ever-increasing impact on Japan, this course is designed to help students develop a deeper understanding of Japanese issues and how they may be interconnected on an international level. This course aims to help students communicate adequately in English about such issues through discussion, debate and presentations. This course is especially useful for students who are perhaps wanting to study/work abroad or even have the desire to work for an international company in Japan. Students will explore a multitude of topics covering various areas such as history, geography, politics, economics, society, education, technology, religion and culture. The course will divide a particular topic into two parts (for the duration of two lessons). The first part will primarily focus on the Japanese domestic perspective/context, after which we will subsequently explore the broader international perspective/context and its possible connection with the former. Students should be prepared to do reading, discussions, mini-debates and listening activities every week plus a final writing task. In summary, this course is both a skills and content-based one.

成績評価方法:

Course Work /Participation= 20%

In Class Mid-term Test = 20%

Final Essay (1000 words) = 30%

Final Presentation = 30%

テキスト(教科書):

N/A

参考書:

N/A

英語セミナー(中級) 2単位(秋学期集中)

Global Issues: Africa Seminar

～Taking a deep look at Africa from an economic point of view～

(社会・経済・歴史)

(前年度との繰り返し履修不可)

秋学期：火4/金4

マディーン, エリック

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

According to African Economic Outlook 2015: "Recent trends in African total trade flows (exports and imports) highlight a shift in trade dynamics and increasing competition from China for the African market. Although Europe remains Africa's largest trading partner, Africa's trade with Asia rose by 22% between 2012 and 2013 ..." Since Africa is a diverse continent made up of 51 countries that we do not know enough about, students will choose one African country to be a specialist of by doing a PowerPoint presentation and research paper on it. No two students can choose the same country. Your slide presentation and research paper should not only include an overview of the country (from population, economy including exports/imports to political system and public health and life expectancy, etc.) but also your own analyses on where you see the given country going in the future, using multiple sources, foremost the Internet while documenting your sources so as to avoid plagiarism. Each presenter is expected to embed in the presentation mini-quizzes and as a conclusion lead Q and A and discussion. Textbook is required.

成績評価方法:

Class participation, quizzes and on-time attendance: 30%

PowerPoint Presentation: 40%

1,000 word research paper: 30%

テキスト(教科書):

Textbook is required: Impact Issues Level 3 (New Edition)

Author: Richard R. Day

Publisher: Pearson Japan K.K. ISBN: 9789813134393

Price: ¥3070

参考書:

None

英語セミナー(中級) 2単位(秋学期集中)

News and Media in the 21st Century

(言語・文化)

(前年度との繰り返し履修不可)

秋学期：水2/金2

マーフィー, ケビン

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This seminar explores how the print media, particularly newspapers, present and influence modern societies through news reporting. The course examines how the language of print media create news articles that have a profound impact on social, economic, and political lives and culture. In addition, the seminar investigates how news stories are constructed and the importance of understanding how and why the media reports news and how it affects opinions. The class language is English. The seminar is aimed at intermediate students and will include material at the intermediate/upper-intermediate level. Students will practice deconstructing news stories, writing paragraphs and articles from notes, lectures, and discussions, and recognising techniques used in modern print media. Activities will include taking video notes, pair work, group work, reading assignments, and simple research tasks. Each class will include assigned preparation for the next session with research contributions presented and discussed in class. At the end of the course students will produce a final paper of approximately 1000 words.

成績評価方法:

Grades will be based on coursework 20%, in-class tests 20%, presentations 20%, class participation (attendance and behavior) 10%, and a final written paper of approximately 1000 words 30%.

テキスト(教科書):

There are no prescribed textbooks. Handouts will be distributed in class.

参考書:

Carter, R. et al. (1997). Working With Texts. London: Routledge. ISBN: 978-0415234658

Darling-Wolf, F (ed). (2018) Routledge Handbook of Japanese Media. New York: Routledge. ISBN: 9781315689036

Fowler, R. (1991). Language in the News. London: Routledge. ISBN: 0415014182

Reah, D. (1998). The Language of Newspapers. London: Routledge. ISBN: 0-415-14600-3

Simpson, P. (1993). Language, Ideology and Point of View. London, Routledge. ISBN: 0415071062

英語セミナー(中級) 2単位(秋学期集中)

Topics on the Japanese Economy and Society

(社会・経済・歴史)

秋学期：月4/水4

マーティン, ジェローム ポール

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This seminar will examine - in English - a wide variety of issues that are important for understanding contemporary Japanese society and the Japanese economy. It will closely explore and discuss various relevant English texts, and critically examine how they deal with and contextualise Japan. Covered topics may include: family structures, education, corporate management, labour relations, immigration, popular culture, and food. By successfully completing this seminar, students will be able to broaden their intellectual cognisance of the contemporary debates surrounding the Japanese economy and society in the English-speaking world (e.g., their development and the key perspectives).

成績評価方法:

Class Contribution (attendance, reading preparation, participation in discussions): 20%

Presentation: 30%

Essay (final paper): 50%

テキスト(教科書):

There will be no textbook for this seminar. Reading material will be provided by the instructor.

英語セミナー(中級) 2単位(春学期集中)**英語セミナー(中級) 2単位(秋学期集中)**

Exploring Space in English

(文学・芸術・思想)

春学期・秋学期：(月3/木3)(月4/木4)

メニッシュ, マーク

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Space is a vast region with countless topics for discussion and study.

This class will explore the 'final frontier' of space. Weekly reading assignments will form the basis for bi-weekly writing exercises. These reports will guide class discussions and inform student presentations.

Students who attend this class are expected to keep up with the required reading assignments. In return, students should experience an increase in vocabulary acquisition as well as an increase in knowledge of science, history and folklore.

成績評価方法:

Because this is a language class, students are required to attend regularly.

Discussion and participation: 25%

Presentations: 25%

Paper & Media Projects: 50%

テキスト(教科書):

"Space" by Tim VICARY Oxford Bookworms (2013) ISBN: 978 0 19 4236737

Students should buy the PRINT version of the book (no e-books.)

参考書:

A good electronic dictionary.

英語セミナー(中級) 2単位(秋学期集中)

Fact Fiction and Fantasy
(文学・芸術・思想)
秋学期：火4/土1

由井 ロバート

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Texts are written to be read by another person and who that person is has a great influence on the written material and how it is written. Thus, the theme of this course is the rich variety of ways in which language can be used. This course provides thirteen passages, each carefully chosen as an example of fact, fiction or fantasy, for text analysis. The course aims to discover and to classify what the text is, to show why it is written and for whom. Ideas are exemplified through texts and excerpts from a cookery book, an advertisement, newspaper articles, a short story by Saki, an essay by George Orwell, a novel by P. D. James, a play by Alan Ayckbourn, a poem by Andrew Motion, excerpts from P.D. James's detective story, humor from Dorothy Parker's short story, two of James Thurber's fables, science fiction from Kurt Vonnegut, and a fantasy from J. R. R. Tolkien. This course presents varied opportunities for text analysis and free writing.

成績評価方法:

Class Participation 15%
Mid-Term Presentation 15%
Final Presentation 30%
Final Paper 20%
Assignments 10%
Attendance 10% * If a student misses more than 5 classes, she/he will automatically fail the course.

テキスト(教科書):

All materials will be provided by the instructor.

英語セミナー(中級) 2単位(秋学期集中)

ALTERNATIVES: A Comparative Study of Environmental Problems
from 1960s to the present
(社会・経済・歴史)
秋学期：火5/土2

由井 ロバート

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Green politics, anti-nuclear protests, and efforts to control pollution all began in the 1960s. In the 1980s, these issues have acquired a new significance, and, along with a movement toward a healthier diet, political protest and a return to community life, form an alternative to the high-tech consumer society. Today, people have become more health conscious than before. With more comfortable lives, and jobs which no longer require hard, physical effort, people's attention has turned to getting fit and eating better. This course looks at the ways in which people are rejecting current overriding values for an alternative way of life. Many people argue that there must be an alternative way for society to go to better, more humane, more natural than the mass consumption, high-tech, big business view that they would say dominates. This course gives students the opportunity to discuss and evaluate some of the problems by comparing and contrasting the changing attitudes and the way people live.

成績評価方法:

Mid-term Presentation 20%
Final Presentation 30%
Mid-term and Final Presentation written report 25%
Attendance 10% (more than 5 absences results in an automatic failure)
Class participation and Class work 15%

テキスト(教科書):

All materials will be provided by the instructor.

参考書:

All materials will be provided by the instructor.

英語セミナー(中級) 2単位(秋学期集中)

21st Century Issues
(言語・文化)
(前年度との繰り返し履修不可)
秋学期：水2/金2

レイン, ポール

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Students will critically engage with a range of topics from the four major themes covered in this course: "Success", "Technology", "Health & Happiness" and "Business & Politics".

Students will analyze, evaluate and discuss a variety of different English language media sources (video, audio, text) relating to each theme. They will be required to use all four skills (speaking, listening, reading, and writing) in order to engage with information provided in the class.

Students will be required to show their understanding of issues covered in the class through both spoken and written assignments, as well as listening, reading, and vocabulary quizzes.

For the final assessment, students will be required to do further research into one of the themes, and deliver a whole-class presentation about it.

成績評価方法:

10% Comprehension quizzes
10% Vocabulary quizzes
20% Written summaries
20% Written reviews
40% Whole-class presentations

テキスト(教科書):

All materials will be provided by the lecturer.

英語セミナー(中級) 2単位(春学期集中)

Ethics in Society
(社会・経済・歴史)
(過年度との繰り返し履修不可)
春学期：水5/金3

レプル, クリストファー K.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

In this course, we will read about and discuss issues related to ethics in society. We will discuss why these issues exist. Case examples of ethical dilemmas will be considered. Some theories of Western philosophers (Mill, Kant, Hume, Schopenhauer, and others) will be introduced and discussed. Many of the issues will focus on the rights of individuals and groups. They will include: scientific developments, human conflict, politics, the environment and animal rights. Through a variety of speaking and listening activities, students will think about and discuss these issues in class. Necessary vocabulary for discussion in English and strengthening expression of opinions will be practiced. It is necessary that students be willing to actively participate in discussion in English to express their opinions. This class will be conducted in English.

成績評価方法:

Grades will be determined by: mid-term exam (25%), typed essay homework assignments (30%), attendance and active participation in discussions (20%) and a presentation (25%).

テキスト(教科書):

There is no textbook for the course. All necessary materials will be provided at each lesson.

英語セミナー(中級) 2単位(秋学期集中)

English for Global Business
(社会・経済・歴史)
(前年度との繰り返し履修不可)
秋学期：(月5/金4)(水5/金3)

レプル, クリストファー K.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course is designed to help students learn and practice using English necessary for the business environment. Students will become

familiarized with words and expressions used for speaking and writing in business at varying levels of formality. Speaking topics will include: interviewing, negotiating, current economic news, and market trends. Writing practice will include: various forms of business correspondence (formal letters and email) and other business documents in English. Readings will include: business related current news articles, graphs/charts and other economic data. Listening will be done through pair work and group work activities. There will be a small-group presentation. Active participation is required.

成績評価方法:

In-class Mid-term Exam: 20%

In-class End-term Exam: 20%

Typed Homework Assignments/Reports: 30%

Presentation 15%

Attendance/Participation: 15%

テキスト(教科書):

A textbook is not required. All necessary materials will be distributed at each lesson.

英語セミナー（上級）

英語セミナー（上級）は英語力に自信があり、特に会話力・聴解力を伸ばしたい学生向けの科目です。授業では主に英語を用い、プレゼンテーションやディベート、またはディスカッションを通して積極的に参加することが要求されます。中級のセミナーよりも高度なリーディングやライティングも大量にこなします。

各英語セミナーの授業は、扱われるトピック（テーマ）によって次の4つのカテゴリーに分類されています。

1) 文学・芸術・思想, 2) 言語・文化, 3) 社会・経済・歴史, 4) その他

それぞれの授業がどのカテゴリーに属しているかは、英語セミナー・英語リーディングのトピック（テーマ）別一覧表 (p16-17) を参照してください。

英語セミナー（上級）

英語セミナー(上級) 2単位(秋学期集中)

Anthropology of Tourism
(社会・経済・歴史+Discussion)
秋学期: 木1/土2

アートル, ジョン J.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course is an introduction to the anthropology of tourism. Travel and tourism is regarded one of the largest industries in the world. As such, it has both positive and negative impacts upon the society, environment, and economies in which tourism takes root. In this class, we read some of the formative texts in the anthropology of tourism to examine the multiple ways tourism has changed contemporary society. Topics will include an overview of the history of tourism, the interrelation between hosts and guests, a variety of types of tourism (e.g. environmental, leisure, educational, and heritage tourism), and several concepts surrounding tourism (e.g. invention of tradition, touristic communitas, authenticity). Students are expected to fully read articles before class, actively participate in discussion, write and hand in "reading responses" based upon the readings, and act as "discussion leader" several times during the semester.

成績評価方法:

Grades for this course are determined as follows:

Homework 30%

Classroom Discussion 20%

Term Paper 30%

Discussion Leader 20%

テキスト(教科書):

Gmelch, Sharon (ed.) 2004. *Tourists and tourism: a reader*. Long Grove: Waveland Press.

Other readings will be made available by instructor.

参考書:

Bruner, Ed. 2005. *Culture on Tour: Ethnographies of Travel*. Chicago: University of Chicago Press.

Dann, G., ed. 2002. *The Tourist as a Metaphor of the Social World*. Wallingford: CAB International.

MacCannell, D. 1999. *The Tourist: a New Theory of the Leisure Class*. Berkeley: University of California Press. G155.A1 M171

Smith, V., ed. 1989. *Hosts and Guests: the Anthropology of Tourism*. Philadelphia: U. of Pennsylvania Press (2nd edition).

Smith V. and M. Brent, eds 2001. *Hosts and Guests Revisited: Tourism Issues of the 21st Century*. NY: Cognizant Communications.

英語セミナー(上級) 2単位(秋学期集中)

Social and Political Issues in America

(社会・経済・歴史)

(前年度との繰り返し履修不可)

秋学期: (月1/水2)(月2/水1)

石井 明

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The purpose of this course is to provide participating students with opportunity to improve their language skills particularly in the area of aural communication. For this various social and political issues associated with the United States of America will be examined.

News broadcasts produced by American broadcasting firms will be utilized. The length and level of them may vary. Some last nearly twenty minutes; the others are considerably shorter. Students will be supplied with MP3 audio files with full transcriptions of them. After making a list of important words and phrases appeared in the news files, students will be asked to conduct research and to write a summary of their findings, which will be presented to the class as a form of aural presentation.

Participation in discussion is critical in this course. In addition to the tasks mentioned above, students will also be asked to write a term paper of 1,500 words in length.

成績評価方法:

Presentations (30%), Writing Assignments (25%), Listening Test (15%), Final Paper (20%), and Attendance (10%)

英語セミナー(上級) 2単位(春学期集中)

Hollywood Western Films: Themes, Ideas, Social Issues

(文学・芸術・思想)

(前年度との繰り返し履修不可)

春学期: 水4/金4

エインジ, マイケル W.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

In this seminar, we will study American Western movies, focusing on their themes, ideas and social significance. Students will consider how to define a "genre", and to think about why the Western genre has retained its popularity for so long. More specifically, we will study how films such as Stagecoach(1939), Shane (1953), McCabe & Mrs Miller (1971), Unforgiven (1992) and Open Range (2003) express and, in some cases, criticize many basic American beliefs, values and ideas: the "myth of the frontier", the "conflict" between Wilderness and Civilization, order and chaos; the "dilemma" of the solitary hero; the two different images of women, old racial stereotypes, and the "necessity" for violence. Interestingly, over time, changes in society marked by the Civil Rights Movement, Feminism, the Vietnam War, the end of the Cold War and the War on Terror caused many Americans to change their values, and Westerns reflect those changes. We will see that popular film can be

viewed as a kind of cultural barometer, fascinating in many respects. The professor welcomes students who like hot discussions about various topics!

成績評価方法:

Grading: class participation (presentations and discussions) (50%) and written work (summaries and essays) (50%).

テキスト(教科書):

Excerpts from various sources will be available for downloading. Films will also be available for students to view at no charge.

英語セミナー(上級) 2単位(秋学期集中)

Representations of Women in Hollywood Films since 1945

(文学・芸術・思想)

秋学期: 水4/金4

エインジ, マイケル W.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Hollywood films' depictions of women have changed dramatically since 1945. In this seminar, we will watch some representative American mainstream films, from the postwar classic *Best Years of Our Lives* (1946) to more recent films such as *Thelma & Louise* (1991) and *The Kids Are Alright* (2010). The selection of films will include dramas as well as comedies—most of them award-winners, all reflecting the ideal images of women at the time of their release. We will analyze, discuss, and criticize the various female “types” shown in the movies: glamorous, saintly, dangerous, dumb, “masculine”, etc. We will study how patriarchy in US society dominates the classical films of the postwar period. As women's place in society began to change, so did their depiction in films, so studying the social history of the U.S. will provide some clues as to why traditional depictions were later challenged, modified, and replaced. We will study how this change is seen over the postwar decades.

成績評価方法:

Grades: class participation (presentations and discussions) (50%) and written work (summaries and essays) (50%).

テキスト(教科書):

Excerpts from various sources will be available for downloading.

英語セミナー(上級) 2単位(秋学期集中)

International Migration and Immigration Policy

(社会・経済・歴史)

(過年度との繰り返し履修不可)

秋学期: 月4/金1

柏崎 千佳子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course offers an overview of the field of international migration and immigration policy. Major topics include causes and patterns of international migration, immigration control, migration and economic development, and social integration policy. After learning about cases in other parts of the world, we will mainly focus on Japanese society in the second half of the semester.

The goal of this seminar is to develop the English skills needed for discussing policy-oriented themes. Specifically, students will learn (1) to organize ideas and express them clearly both orally and in writing, (2) to make use of statistical data and other sources to support their claim, and (3) to respond to works done by other people with comments and questions.

Regular classroom activities consist of reading comprehension, oral presentations and discussion. In the second half of the semester, students will conduct a small-scale research project on a topic of their choice.

成績評価方法:

Evaluation will be based on participation in classroom discussions (25%), group/individual presentations (25%), a mid-term essay of 350+ words (15%), a research paper of 1,200+ words (25%), and other tasks including quizzes and in-class writing tasks (10%).

テキスト(教科書):

Reading materials consist of excerpts from a variety of sources and will be provided by the instructor mainly through the keio.jp class support (jugyo shien) system.

英語セミナー(上級) 2単位(秋学期集中)

Intercultural Communication and Discourse

(言語・文化)

(前年度との繰り返し履修不可)

秋学期: (月3/水4) (月4/水3)

佐々木 由美

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Interpersonal/intercultural communication and different discourse styles between cultures will be discussed. The discussions will focus on crucial topics in interpersonal/intercultural communication and discourse such as (1) culture, (2) linguistic relativity, (3) paralanguage, (4) conversation style, (5) narrative style, (6) cultural identity and stereotypes and (7) linguistic and cultural imperialism. Active participation in class and group discussions will be essential. Students will also be required to make a presentation on textbook topics (15%), make a 7-8 minute presentation for the mid-term exam (25%), and write a 1,500 word final paper (30%). A chapter reading assignment per week, writing assignment and quiz will also be required (15%).

成績評価方法:

(1) attendance & active participation 10% (2) assignment & quiz 20% (3) textbook presentation 15% (4) mid-term presentation 25% (5) final paper 30%

テキスト(教科書):

C. Kramsch. (1998). *Language and Culture*. Oxford University.

英語セミナー(上級) 2単位(春学期集中)

英語セミナー(上級) 2単位(秋学期集中)

Current Topics about Japan

(その他)

(前年度との繰り返し履修不可)

春学期・秋学期: 水3/金3

志村 明彦

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Students will learn current topics about Japan in this seminar. We will read 40 to 50 news articles from the latest Japan Times and have presentations and discussions about a wide variety of topics about Japan (e.g., business, economy, politics, sports, arts, and social issues). Each student will give one short speech and two long presentations about news stories of his/her choice (50%). Each presentation is followed by a discussion session with classmates. Students will also write two term papers about the last two presentations (20%). Not only attendance (15%) but also very active participation (15%) in all phases of the course is very important in this upper-intermediate-level seminar. Let us think and talk about Japan a lot in this course!

成績評価方法:

Three Student Presentations (50%), Two term papers about the last two presentations (20%), Attendance (15%), and Active Participation in all phases of the course (15%)

テキスト(教科書):

To be announced in the first class.

参考書:

To be announced in the first class.

英語セミナー(上級) 2単位(春学期集中)

Current Topics about Sports and the Olympic Games

(その他)

(前年度との繰り返し履修不可)

春学期: 水5/金5

志村 明彦

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Students will learn current topics about sports and the Olympic Games in this seminar. We will read about 40 news articles from various English-language news papers and enjoy student presentations and discussions about a wide variety of topics on sports and the Olympic Games (e.g., history, economy, politics, social issues and so on). Each student will give two academic presentations about news stories of his/her choices (50%). Each presentation is followed by a discussion session with classmates. Students will also write two term papers about their presentations (20%).

Not only attendance (15%) but also very active participation (15%) in all phases of the course is very important in this upper-intermediate-level seminar. Let us think and talk about sports and the Olympic Games a lot in this course, so that you can enjoy the 2020 Tokyo Olympic Games IN ENGLISH!

成績評価方法:

Three Student Presentations (50%), Two term papers about the last two presentations (20%), Attendance (15%), and Active Participation in all phases of the course (15%)

テキスト(教科書):

To be announced in the first class.

参考書:

To be announced in the first class.

英語セミナー(上級) 2単位(秋学期集中)

GNP vs GNH: Understanding two inspiring countries in Asia

(社会・経済・歴史)

(過年度との繰り返し履修不可)

秋学期: 火2/金2

鈴木 亮子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course aims to introduce students to two small nations in Asia which are very different from one another: Singapore, an island nation known as the gem of South East Asia, and Bhutan, often called the hidden Shangri-la of the Himalayas. Students will approach these rapidly changing countries from various perspectives, including political leadership and governing philosophy, economy, multi-ethnicity, education, languages and culture. Using guidebooks, newspaper articles, websites, chapters from books (for example, Lee Kuan Yew's "From Third World to First" for Singapore) and video materials, students will analyze why and how Singapore and Bhutan have become the way they are today; what roles they play in Asia and the world; and which directions they are moving toward. Throughout the semester, students are expected to make active contributions to class discussions, make presentations, and submit written assignments.

成績評価方法:

-Attendance 10%

-Presentations 45% (presentations in I and II 20%, Final presentation on individual project 20%, Questions 5%)

-Writing 45% (Short passage 7%, Plan and Outline 5%, 1st draft 8%, Final product 25%)

テキスト(教科書):

-Handouts and a list of the important websites will be provided through keio.jp.

参考書:

-Lee, Kuan Yew. 2000. From Third World to First. New York: HarperCollins.

-Tamura, Keiko (ed.). 2014. Singaporu o shirutame no 65 shoo. [65 Chapters to Learn about Singapore]. Tokyo: Akashi Shoten.

-Hirayama, Shuichi. 2005. Gendai Buutan o shirutame no 60 shoo [60 Chapters to Learn about Bhutan]. Tokyo: Akashi Shoten.

英語セミナー(上級) 2単位(春学期集中)

World Mythology

(文学・芸術・思想)

(前年度との繰り返し履修不可)

春学期: 火5/金5

トーマス, ダックス

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course is an introductory look at world mythology. In the first four units of the course, students will read and discuss ancient stories of gods, heroes, and monsters from a variety of cultures around the world (African, Asian, European, North American). We'll explore the themes prevalent in those myths, their underlying archetypes, and how they relate to their culture of origin and to humanity in general. In the final unit, this knowledge will be applied to a study of how myth is woven into today's modern media (movies, novels, manga, etc.).

This class will be conducted in English. Class work for the term is largely discussion-based and students will be expected to prepare for class

by completing relevant reading assignments and answering questions provided by the instructor. Students are expected to participate fully in class discussions, answering questions and sharing their thoughts and opinions freely in English.

成績評価方法:

Class participation and attendance - 30%

Unit evaluations - 15%

Seminar notebook - 15%

Final paper and outline - 20%

Final presentation - 10%

Final quiz - 10%

テキスト(教科書):

Textbook to be assigned.

英語セミナー(上級) 2単位(秋学期集中)

Critical Thinking Using Literary Works

(文学・芸術・思想)

(前年度との繰り返し履修不可)

秋学期: 月4/水3

永井 容子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This seminar allows students to develop their critical thinking abilities by reading and analyzing excerpts of literary texts based on logical reasoning, drawing inferences (i.e. searching for the underlying meanings and themes in the text), and evaluating concepts and information found in the literary texts. A particular emphasis will be placed on literary works in the Victorian period (1837-1901), relating them to key issues connected with the age. Topics of discussion include the following: the new sense of time, class system, utilitarianism, evolutionary theory, unbelief and doubt, search for identity, and women in the Victorian society. English will be the only language used in class.

No prior knowledge of English literature is required. However, students must be prepared to work independently outside class hours and come to class well prepared. No more than 5 absences are allowed.

成績評価方法:

Oral ability and communication skills (presentation, participation in discussions and debate) 30%, Reading (comprehension, summarizing) 20%, Writing (in-class writing assignment, vocabulary quiz, final report) 40%, Listening 10%

テキスト(教科書):

All reading materials will be provided by the instructor.

参考書:

To be announced in class

英語セミナー(上級) 2単位(秋学期集中)

Introduction to Globalization

(社会・経済・歴史)

(前年度との繰り返し履修不可)

秋学期: 月3/水4

永井 容子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The word "globalization" is much discussed but is poorly understood word. The aim of this seminar is to explore and critically analyze various dimensions of globalization: the economic dimension, the political dimension, the cultural dimension, ecological dimension, and ideological dimension. English will be the only language used in class. Since emphasis will be placed on in-class oral work, it is vitally important for students to show initiative and to speak for or against the topic developed in class.

Students must work independently outside class hours and come to class well prepared. Attendance will be taken at the beginning of each lesson, and no more than 5 absences are allowed.

成績評価方法:

Oral ability and communication skills (presentation, participation in discussions and debates) 40%, Reading (comprehension, chapter summary) 20%, Writing (vocabulary quizzes, final report) 30%, Listening 10%

テキスト(教科書):

Steger, Manfred B. (2017). *Globalization: A Very Short Introduction*. 4th Edition. Oxford University Press. ISBN: 978-0-19-877955-1
All other reading materials will be provided by the instructor.

参考書:

To be announced in class

英語セミナー(上級) 2単位(春学期集中)

Life in Society
(社会・経済・歴史)
(前年度との繰り返し履修不可)
春学期: 水2/金2

中津川 みゆき

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The course aims to introduce students to some of the basic principles of sociology while providing opportunities for hands-on practice with essential academic skills in English. The particular topic areas to be covered are: membership in society, gender in society, media and society, and crime and society. By reading extensively in these topic areas, key concepts and principles will be introduced and evaluated in relation to real-life contexts. As the course proceeds, students will be encouraged to identify recurring themes and concepts across topic areas: how various social agents shape human values and identities, and conversely how humans shape their social environments. The understandings of the fundamental principles of sociology will further be applied to analyzing contemporary issues in our society today.

The emphasis of the course is not to teach/practice how to read and comprehend difficult English texts, but rather to empower the students with necessary language skills and strategies for engaging with academic contents. To this extent, the reading materials in the course book are adjusted to the levels of the students and additional focus will be given to the development of reading, writing, academic vocabulary, and presentation skills. During the course, students will also carry out an independent study on a self-chosen topic related to sociology.

成績評価方法:

Evaluation will be based on the following:

Attendance & participation - 20%

Submission of weekly assignments - 30%

Final presentation - 25%

Final paper - 25%

テキスト(教科書):

Williams, J., Brown, S., & Hood, S. (2012). *Academic Encounters: Life in Society: Reading & Writing* 2nd ed. Cambridge University Press. ISBN: 978-1-107-65832-5

参考書:

Additional materials will be drawn from online sources and periodicals, both by the instructor and the students.

英語セミナー(上級) 2単位(秋学期集中)

Economic Trends in the 21st Century
(社会・経済・歴史)
秋学期: 水2/金2

ノブオカ, メアリー

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course offers students the opportunity to discuss economic trends that affect Japan and the world in the 21st century. Students will have access to on-line listening and reading materials to prepare for in-class group discussions. Students will also write one essay and base an oral presentation on that writing. Vocabulary building is an important part of this course. Students who are motivated to improve and practice their speaking skills, as well as reading, writing and listening skills, will benefit from this course.

成績評価方法:

Class participation is in English an important part of this class (50%); two oral presentations include individual presentations (20%) and debates (20%), and frequent quizzes (10%). Note: homework to prepare for class discussions will consist of reading and listening, totaling about 1 to 1-1/2 hours/week. Proper research and writing are required for both presentations.

テキスト(教科書):

There is no textbook for this class. The teacher will provide all study materials.

英語セミナー(上級) 2単位(春学期集中)

Ethnic Strife & Tribal Extinction in the 21st Century
(社会・経済・歴史)
(前年度との繰り返し履修不可)
春学期: 月4/金2

バロウス, リチャード J.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Human beings have never been very good at sharing the planet - not even with each other - but with populations surging, natural resources dwindling and technological progress extending the reach of the world's most powerful nations, rival communities are put under pressure, minorities feel threatened and once isolated cultures have nowhere to hide. In this course, using a variety of both printed & audio-visual materials, we will examine the plight of various ethnic groups scattered across the globe who find themselves either in conflict or under threat from the forces that are shaping the 21st century.

Students will at first, focus on Europe & The Americas before studying about various tribes in Asia and finally Africa. In addition to a presentation on a people of their choice, students will be required to submit a printed report looking at the threats/problems for groups of people in the current century.

成績評価方法:

Students' evaluation will be based on the following criteria:

30% - Attendance & Punctuality

30% - Class work & homework

20% - Presentation

20% - Printed Report

参考書:

An electronic dictionary, or a smartphone dictionary is required at every lesson of this course

英語セミナー(上級) 2単位(春学期集中)

英語セミナー(上級) 2単位(秋学期集中)

A Critical Reading of British History from 1700 to 1900
(社会・経済・歴史)
(過年度との繰り返し履修不可)
春学期: 月5/水4
秋学期: 火3/水2

不破 有理

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This seminar offers an overview of social and economic changes from the beginning of the Industrial Revolution to the Victorian age, and aims at developing students' critical thinking through reading and discussing issues of historical importance. Topics to cover include the rise and fall of British agriculture, problems and regulations related to the factory system, the rise of the iron and coal industry, the development of transportation, and the outbreak of the cholera epidemic. Students are encouraged to analyse various types of documents and statistical data, to "read" map and visual sources such as contemporary paintings and caricatures, and to arrive at, by working individually or in group, a balanced solution/explanation to given problems. Activities include presentations, discussion, role-playing debates and speech making. Enjoy these class activities!

成績評価方法:

1. In-class activities (discussion /role-playing + writing) 40%

2. Presentations 30%

3. Term paper (1500 words) 30%

テキスト(教科書):

Ben Walsh. (1997). *British Social & Economic History*. John Murray.

The textbook is now out of print, and students can borrow it from the instructor.

英語セミナー(上級) 2単位(秋学期集中)

Reading Poetry and Paintings: Tennyson's "The Lady of Shalott" and The Pre-Raphaelite paintings.
(文学・芸術・思想)
(前年度との繰り返し履修不可)
秋学期: 火5/水4

不破 有理

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This seminar aims at building a variety of skills such as visual literacy, critical thinking and the language necessary to express it, while increasing an interest in and capacity to write through discussing poetry and the visual arts, especially, those of the Pre-Raphaelites. The Pre-Raphaelite movement was started in 1848 by three young artists who were disenchanted with the established Royal Academy, and aspired to a new form of painting; their paintings and designs proved influential and evocative, and remain popular to this day in Japan. Painters such as William Holman Hunt and John William Waterhouse were inspired by Alfred Tennyson's poems notably "The Lady of Shalott", and its literary impact on their paintings will be discussed in detail.

Students are encouraged to respond spontaneously first to questions such as "What is going on in this picture?" and then to find out more about the symbolic meanings and literary background of the artists' works. The instructor will apply the Visual Thinking Strategy, an approved teaching method implemented in US schools as effective in developing critical thinking and communication skills.

成績評価方法:

In-class activities(writing and discussion) 40% Presentation 40% Term Paper 20%

テキスト(教科書):

Reading materials will be provided by the instructor.

参考書:

Barnet, Sylvan. (2014). *A Short Guide to Writing about Art*. 11th edition. Pearson.
Yenawine, Philip. (2014). *Visual Thinking Strategies: Using Art to Deepen Learning Across School Disciplines*. Harvard Education Press. Paperback ISBN: 978-1-61250-609-8

英語セミナー(上級) 2単位(秋学期集中)

Introduction to Language Study
(言語・文化)
(過年度との繰り返し履修不可)
秋学期: 月3/木1

星 浩司

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course is designed to provide an overview of fundamental concepts and tools to investigate into a variety of dimensions of natural language. Beginning with the nature of language, we will cover topics such as the scope of linguistics, principles and levels of analysis, the patterns of sound, the construction of words, the combination of words, meaning in language, meaning in context and so forth. Students are expected to come up with their own research topic and question based on what they have learned in class, write a term paper and make an individual class presentation on their research result.

成績評価方法:

Class participation (20%), homework (20%), term paper [approximately 1,500 words] (30%), individual class presentation (30%)

テキスト(教科書):

H.G. Widdowson. (1996). *Linguistics*. Oxford University Press.

英語セミナー(上級) 2単位(秋学期集中)

Industry Analysis and Company Strategies
(社会・経済・歴史)
(前年度との繰り返し履修不可)
秋学期: 火2/金1

松岡 和美

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Students will learn to consider company strategies and different styles of company management, as well as basic business concepts and the language of the business world. Each student will choose a company, operating in Japan, in the sector of their choice and conduct research covering designated topics. The results of the survey will be used for developing a clear argument (thesis and support) and will be presented in two speeches (individual and group) and in the final paper. Opportunities for speaking practice will be given frequently in class. A substantial amount of reading/writing homework will be assigned almost every week. Students are expected to have very good academic English skills (taught in Study Skills), as well as good time management skills. A strict attendance policy will be enforced; virtually no consideration is given to absences caused by extracurricular activities. This course will be conducted entirely in English. Recommended for students who are considering studying abroad and/or pursuing a career in an English-speaking environment.

成績評価方法:

Midterm presentation (15%), Midterm paper (15%), Final Oral presentations (individual and group, 40%), Final paper (20%), Classroom Participation (10%)

テキスト(教科書):

(1) Tullis, Graham and Tanya Trappe. (2004). *New Insights into Business* New ed. Pearson Education. ISBN: 978-0582848870 (2) *Study Skills for College English* (Study Skills textbook)(3) PDF files to be downloaded from keio.jp

英語セミナー(上級) 2単位(春学期集中)

Asia Through Economists' and Environmentalists' Eyes
(社会・経済・歴史)
(前年度との繰り返し履修不可)
春学期: 火4/金4

マディーン, エリック

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Factoid: Asia is the fastest growing economic region and the largest continental economy by GDP PPP in the world. The wealth of Asia, of course, differs widely between, and within, states. We will take a deep look at those differences and other unique features of several individual Asian countries. Specifically, each student will deliver ambitious, well-researched or multi-source PowerPoint presentations on an Asian country of his or her choice, with no two being the same.

Starting with basic information and current political climate, etc., students will then give crucial economic data, e.g., inflation and/or deflation rates, GNP, GDP, GNI and GDP Per Capita, GTP rates in yen and dollars, and as if from a fund manager's perspective, its potential for Foreign Direct Investment, or FDI, and Foreign Portfolio Investment, or FPI. Rigorous Q&A and discussion will follow each presentation.

We will also take a good sidelong glance into the environmental degradation of certain Asian countries as a result of rapid economic growth there.

Each presentation will be a segue into a research paper of 1,500 words.

成績評価方法:

Class participation, quizzes and regular on-time attendance: 30%
PowerPoint Presentation: 40%
1,500 word research paper: 30%

テキスト(教科書):

Textbook is required: Impact Issues Level 3 (New Edition)
Author: Richard R. Day
Publisher: Pearson Japan K.K. ISBN: 9789813134393

Price: ¥3070

参考書:

None.

英語セミナー(上級) 2単位(秋学期集中)

We are what we eat: the historical construction of food
(社会・経済・歴史)
(過年度との繰り返し履修不可)
秋学期: 月4/金5

光田 達矢

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Food surrounds us. Yet do we really know why we eat some food and not others? Why is it that we feel more romantic when we savour French cuisine but not when slurping on Chinese noodles? What are the differences between eating in as opposed to eating out, and do the places where we eat determine our perception of taste? In what ways are we influenced by marketing that appears as advertisement, conditioning our preference, for example, for Coke over Pepsi? How is family (mother's food) and sexuality (sweets and women; beer and men) reflected and represented in food? And why do we base so much of our judgment of other people on how they eat and what they eat?

This seminar takes a critical, historical, and comparative look at food in all its manifestations, both delicious and disgusting, safe and dangerous, natural and artificial, in order to arrive at some tentative answers to the questions posed above. Many of the historical case studies this seminar tackles derive from European and Japanese experiences, and the time period will coalesce around the nineteenth and twentieth centuries. Some of the topics this seminar introduce will include: how a modern taste emphasizing appreciation of natural ingredients has emerged; how the correct use of knives, forks, and chopsticks became important social markers; how the expansion of empires contributed to the diffusion of foodstuffs and generated discussions of what constituted national cuisine; how industrialization changed the way in which consumers interacted with their food; how beverages such as coffee and tea or staples such as meat and vegetables came to connote different gender identities; and the extent to which a nutritional perspective has 'scientized' our perception of food.

成績評価方法:

REQUIREMENTS Presentations: x4 as groups; x2 on individual research topic Response papers: x4 based on assigned readings Mid-term essay: 500 words Final essay: 1,500+ words (with references and bibliography)

EVALUATION Presentations: 20% Response papers: 20% Mid-term essay: 20% Final essay:30% Participation: 10%

英語セミナー(上級) 2単位(春学期集中)

英語セミナー(上級) 2単位(秋学期集中)

Anime: A Comprehensive Overview
(社会・経済・歴史)

春学期・秋学期: 火5/金5

三原 龍太郎

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Anime (Japanese animation) has become one of the most popular non-Hollywood forms of entertainment, penetrating the film, literature, creative and youth culture arenas worldwide. How can we understand anime's global popularity? What does that popularity mean for Japan, Asia and the world at large? Using primarily English sources, this seminar will explore the development of the study of anime from its rise in the late 1990s to the present day, examining how its analytical approach has been enriched, starting from the traditional text-interpretation of anime visuals to the contemporary ethnography of cutting-edge anime production studios in Tokyo. It will pay particular attention to the way in which such approaches engage with a range of intellectual topics, including aesthetics, media and communication, fandom and youth culture, globalisation, cultural and industrial policy, soft power, and Orientalism.

成績評価方法:

Class Contribution (attendance, reading preparation, participation in discussions): 20%

Presentation: 30%

Essay (final paper): 50%

テキスト(教科書):

There will be no textbook for this seminar. Reading material will be provided by the instructor.

参考書:

Napier, Susan. 2005. Anime: From Akira to Howl's Moving Castle. New York, NY: Palgrave

Condry, Ian. 2013. The Soul of Anime: Collaborative Creativity and Japan's Media Success Story. Durham, NC: Duke University Press

英語セミナー(上級) 2単位(秋学期集中)

Creative Industries
(社会・経済・歴史)

秋学期: 水1/金3

三原 龍太郎

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

With the market competitiveness of goods and services increasingly depending less on price and more on the added value of creativity, creative industries have been boosting their role in the global economy. How can we understand this rise and the greater role played by creative industries in our contemporary society? This seminar will examine the key features of creative industries, and explore how and why they matter to us. It will critically examine the notion of 'creativity,' which is widely seen as the sector's distinct feature, and will look at the organisations, markets, labour practices and policies of creative industries. We will also probe their key sectors, such as film, anime, manga, tourism and food. By successfully completing this seminar, students will be able to broaden their intellectual cognisance of the debates surrounding creative industries.

成績評価方法:

Class Contribution (attendance, reading preparation, participation in discussions): 20%

Presentation: 30%

Essay (final paper): 50%

テキスト(教科書):

There will be no textbook for this seminar. Reading material will be provided by the instructor.

参考書:

Becker, Howard. 1982. Art Worlds. Berkeley, CA: University of California Press

Caves, Richard. 2000. Creative Industries: Contracts between Art and Commerce. Cambridge, MA: Harvard University Press

英語セミナー(上級) 2単位(秋学期集中)

International Relations Since 1945
(社会・経済・歴史)
(前年度との繰り返し履修不可)
秋学期: (月1/金2)(月2/金1)

柳生 智子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This class is designed to obtain a basic understanding of the world we live in by focusing on some of the major developments in international relations since 1945. We will explore and discuss from multiple perspectives the key events and themes such as the Cold War, colonialism, struggle for independence and nation-building in third world countries, conflicts in the middle east, the rise of Asia and Europe, different economic cultures (free market, welfare capitalism), and the role of international institutions. Students are required to read a wide range of both primary and secondary sources related to the issues, and learn how to articulate a clear argument based on evidence in writing assignments, presentations, and discussions. The class will be conducted in English. Evaluation will be based on class participation, class activities, attendance, preparation, presentations (group and individual), and writing assignments (short reaction papers and a final paper).

成績評価方法:

Attendance, class preparation and participation: 25%

Presentation: 35%

Writing Assignments: 40%

テキスト(教科書):

Reading assignments will be posted on keio.jp

参考書:

Brower, D.R. (2004). *The world since 1945: A brief history* (2nd ed.). Upper Saddle River, NJ: Pearson.

Keylor, W. R. (2008). *A world of nations: International order since 1945* (2nd ed.). New York, NY: Oxford University Press.

Other sources will be introduced in class.

英語セミナー(上級) 2単位(春学期集中)

Introduction to Poetry

(文学・芸術・思想)

(前年度との繰り返し履修不可)

春学期: 月5/金4

レブル, クリストファー K.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course will introduce students to a variety of poetry. Through in-class readings, analyses and discussions of the poems, students will aim to develop an appreciation and understanding of poetry. Students will study how English is used effectively in poems. Vocabulary and techniques for the analysis and discussion of the poems will be explained.

It is essential that students in this class be willing to express their ideas and opinions by active oral participation in English. English will be used for all instruction. Weekly readings of biographical information and analyses will be required. The individual presentation will be an explanation/analysis of a poem selected by the student according to the criteria taught in class (linguistic, phonological, grammatical and discourse). The final paper will reflect an in-depth analysis of a poem using techniques studied and practiced throughout the course.

成績評価方法:

Written interpretations/analyses (25%)

Active participation (15%)

Mid-term exam (20%)

Final paper of 1,500 words minimum (20%)

Individual presentation (20%)

テキスト(教科書):

No textbook is required for this course. All necessary materials will be provided by instructor.

英語セミナー（特別上級）

英語セミナー（特別上級）は高度な会話力・聴解力をもった学生向けの科目です。授業では英語のみが使われ、プレゼンテーション、ディベートまたはディスカッションが毎週行われます。上級のセミナーより高度なリーディングやライティングを大量にこなします。

“Bridging Course”は、「英語セミナー（特別上級）」の履修に必要な能力をほぼ備えているものの、ライティングやオーラル・スキルなど、特定の技能がやや弱い海外滞在経験をもつ1年生を主な対象とします。Bridging Course履修希望者も、必ず選抜試験を受けてください。

各英語セミナーの授業は、扱われるトピック（テーマ）によって次の4つのカテゴリーに分類されています。

1) 文学・芸術・思想, 2) 言語・文化, 3) 社会・経済・歴史, 4) その他

それぞれの授業がどのカテゴリーに属しているかは、英語セミナー・英語リーディングのトピック（テーマ）別一覧表 (p16-17) を参照してください。

英語セミナー（特別上級）

英語セミナー（特別上級） 2単位（春学期集中）

Advertising and Music
(社会・経済・歴史)
(前年度との繰り返し履修不可)
春学期：月1/水1

石井 明

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Prof. Ishii, the Head Chair of the Double Degree Committee as well as the instructor of this course, requests all non-PEARL Keio-Sciences Po DD Students to take this class.

The aim of this course is to examine how the advertising industry through most of the twentieth and the twenty-first centuries has employed music to sell goods. Music has always played an important role in advertising, which itself has been and continues to be an essential element of capitalism. Studying how commercials have been fashioned not only to sell goods and services but also to inculcate listeners and viewers into their roles as consumers will be a focus of this course.

Participation in discussion is critical in this course. Students will be asked to write a term paper of 2,000 words in length as well as several shorter writing assignments.

成績評価方法:

Presentations (40%), Writing Assignments (30%), Final Paper (20%), and Attendance (10%)

テキスト(教科書):

Taylor, Timothy D. (2012). *The Sounds of Capitalism: Advertising, Music, and the Conquest of Culture*. Chicago and London: University of Chicago Press.

英語セミナー（特別上級） 2単位（春学期集中）

Understanding Movies 1: U.S. Films & Society, 1930-1965
(文学・芸術・思想)
(前年度との繰り返し履修不可)
春学期：火5/金5

エインジ, マイケル W.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

It is obvious that film is a very powerful art form. Although most American movies are made to be “understood” after one casual viewing, closer and repeated viewing reveals deeper levels of significance which

most moviegoers miss. In this seminar, students will become more critical film viewers, through four methods of film analysis: genre (what is a Western, or musical, detective film, or war film?), thematic (what themes and ideas do films express?), technical (how are movies' ideas expressed?), socio-historical (how do films reflect the society and age which produced them?). In parallel, students will study American social history from the 1930s through the 1960s. Thus will we gain an understanding of movies as art form, cultural barometer, and communicator of values.

NOTE: Films will be viewed outside of class; class time will be devoted to lectures, presentations and discussions. This course is for students interested in American movies and social history, and who enjoy lively discussions of those topics.

成績評価方法:

Final grades will be based on short essays, in-class presentations, class participation, and the final paper.

テキスト(教科書):

Louis Giannetti, . *Understanding Movies* , (10th ed). Prentice-Hall(2004) + handouts.

英語セミナー（特別上級） 2単位（秋学期集中）

Understanding Movies 2: U.S. Films & Society since 1967
(文学・芸術・思想)
(前年度との繰り返し履修不可)
秋学期：火5/金5

エインジ, マイケル W.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course can be taken as a continuation of UNDERSTANDING MOVIES 1 (Spring Semester), but it can be taken independently also. Please read the description for that course. This class will introduce basics of film technique, thematic and socio-historical analysis and genre, then proceed to apply these analytic tools in order to gain a deeper understanding of many key American films since 1967. We'll be looking at films from a number of genres: musicals, youth films, Westerns, detective films, social problem films, romantic comedies, documentaries, and others. Many films since the 1960s often challenge audiences' ideas about what a film can be about and what it should (or should not) express, and try to force audiences to view the world with fresh eyes. To a certain extent, these changes and adaptations are generational--starting in the late 1960s, a younger generation of directors and artists came to prominence--but there are other factors influencing their production, too. We will examine how new directors' ideas about complex narrative structure,

revising of genres, depth of character, and inventive use of camera/editing techniques became more common. In addition, the class will study the social movements and history of the 1960s~2010s, including the Vietnam War, Watergate, the sexual revolution, Civil Rights, Feminism, Multiculturalism, et al., and the conservative reaction against those changes. Students will see how these movements influenced not only society but also changed popular films' depiction of race, gender, ethnicity, sexuality, the USA itself, and its history. By gaining a more refined appreciation of film, both as Art and as a barometer of cultural change, students will sharpen their critical viewing and thinking skills, as well as get a chance to watch and discuss many great films.

*NOTE: Please direct questions to the professor directly: mwainge/at@gmail.com

成績評価方法:

Presentations and participation (50%); written work (50%)

テキスト(教科書):

Louis Giannetti. *Understanding Movies* (10th edition). Prentice-Hall(2004). + handouts. I will bring copies of Giannetti on the first day of class, which you may purchase for approximately Y1000~Y2000. There will also be supplementary readings available online in US History, film criticism, and other relevant topics. Films will be available for viewing, free of charge.

英語セミナー(特別上級) 2単位(春学期集中)

Perspectives on Society (Bridging Course)

(社会・経済・歴史)

(前年度との繰り返し履修不可)

春学期: 火4/金1

柏崎 千佳子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Society is made up of individuals, and lives of individuals are shaped by society. The main purpose of this seminar is to learn about a variety of ways in which individuals are related to society. Major areas of inquiry include socialization, groups and organizations, deviance and control, social inequality, families, and education. Introducing different perspectives on these subjects, the course will help students critically examine how society works.

As a "Bridging Course" this seminar emphasizes the development of academic skills in English, in particular the ability to organize one's ideas and present them clearly both orally and in writing. For instance, students will practice presentation and discussion skills as well as paraphrasing and summarizing. Students are expected to read assigned materials beforehand and to actively participate in class activities. Major writing tasks include a mid-term essay and a term paper (1,800+ words).

成績評価方法:

Evaluation will be based on your performance in leading and participating in classroom discussion (25%), mid-term and final presentations (10% + 15%), two papers (15% + 25%), and other tasks including quizzes and in-class writings (10%).

テキスト(教科書):

Reading materials consist of excerpts from a variety of sources and will be provided mainly through the keio.jp class support (jugyo shien) system.

英語セミナー(特別上級) 2単位(春学期集中)

Culture and Emotions

(言語・文化)

(前年度との繰り返し履修不可)

春学期: 火2/木2

佐々木 由美

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Cultural neuroscientists and cultural psychologists have provided evidence revealing that emotions are different between cultures. The aim of the course is to learn and discuss how emotions could be different between cultures. More specifically, we will discuss (1) how openly certain emotions tend to be expressed, (2) how often certain emotions tend to be controlled, and (3) how differently certain emotions tend to be perceived in particular cultures. We will also discuss how different

emotions between cultures could be related to different perceptions of "self" and cognitive styles such as thought patterns. Active participation in class and group discussions will be essential. Students will also be required to make a presentation on textbook topics (15%), make a 15 minute presentation for the mid-term exam (25%), and write a 2,000 word final paper (30%). A chapter reading assignment per week (approximately 20-30 pages/week), writing assignment and quiz will also be required (20%).

成績評価方法:

(1) attendance & active participation 10% (2) assignment & quiz 20% (3) textbook presentation 15% (4) mid-term presentation 25% (5) final paper 30%

テキスト(教科書):

Shiota, N. M., & Kalat, W. J. (2018). *Emotion*. Oxford: Oxford University Press. However, we will cover only first three chapters from this book and the instructor will distribute other reading materials in class.

英語セミナー(特別上級) 2単位(秋学期集中)

Modern Sports

(社会・経済・歴史)

(前年度との繰り返し履修不可)

秋学期: 月5/水5

ノッター, デビッド M.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

In this course we will examine modern sports from a sociological and historical perspective. Among the themes to be covered are: the emergence of modern sports in nineteenth-century England; the diffusion of sports across the globe; modern sports and capitalism; sports and social class; sports and violence; sports and gender; performance enhancing drugs, the olympics, and the new 'extreme' sports of the 'postmodern' age. Students will be expected to participate actively in class discussions on the chapters of our textbooks. These books should give students a basic understanding of the sociological significance of sports in modern societies. In addition, students will also be asked to give a summary presentation on individually-assigned reading. Essays will also be assigned.

成績評価方法:

Final grades will be determined based on attendance (10%), the summary presentations (20%), participation in class discussions (30%), and the two essays (40%).

テキスト(教科書):

Guttman, A. *From Ritual to Record: The Nature of Modern Sports*

Kotler, S. *The Rise of Superman*

Mangan, J. A. *Athleticism in the Victorian and Edwardian Public School*

Wacquant. L. *Body and Soul*

英語セミナー(特別上級) 2単位(春学期集中)

Art & Fashion: Philosophy and Style (D)

(文学・芸術・思想)

春学期: 月1/水2

バティエー, ロジャー M.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This class is an examination of the evolution of western Art & Fashion. The course runs for four semesters, and taking multiple semesters is both advantageous and recommended. We examine the history of both subjects and discuss ways of approaching the issues and the main genres of art and fashion. We look at various movements and periods, individual painters and individual items of clothing. We also consider the relationship between art and fashion. Although the course is rather intensive, keen students should be able to adapt to the pace of the coursework without too much difficulty. Having said that, the individual research load can sometimes become rather heavy; furthermore, there is considerable emphasis placed on communication and expression. Those who lack ideas or the motivation to discuss their feelings will probably struggle. The course would therefore suit hard-working individuals who are keen to discuss these subjects both in class and in smaller groups. Shy students, or those who find it difficult to express themselves, are thus not encouraged to apply.

成績評価方法:

Reports 65%; Attendance 20%; Test 15%

テキスト(教科書):

I will provide materials for student use; I have many books which students may consult. They will only be loaned however, after a signature and deposit, and must be returned by the deadline. Failure to do so means failure of the course.

参考書:

Sylvan Barnet, A Short Guide to Writing about Art 11e (2014)

Marnie Fogg (Ed.), Fashion: the Whole Story (Prestel, 2013)

英語セミナー(特別上級) 2単位(春学期集中)

Environment and Development: Regional Studies (A)

(社会・経済・歴史)

春学期: 月3/水4

バティアー, ロジャー M.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course is an Introduction to the field of Environment & Development. The focus this semester will be on a single region, with a unique set of countries and challenges.

Through the semester I hope to provide students with a basic understanding of the main environmental and development challenges facing humanity in the 21st century. The emphasis is on the developing world. Students study one country and region each semester, developing specialist knowledge of local problems and examining them from local, national and regional perspectives. At the same time, students are also expected to develop specialist knowledge of two or three issues in the international arena. As source material, current statistical material from a variety of sources (UNDP, WRI, FAO, World Bank) is supplemented by reports from newspapers and other media from around the globe. The subject is difficult, but rewarding for those who have a high level of motivation.

Language: 100% English. The subject is often complex, and complex expressions are often demanded.

成績評価方法:

Reports (discussed, revised and expanded) 75%; Attendance 10%; Test 15%

テキスト(教科書):

No set textbooks.

参考書:

UNDP, Human Development Report 1991-2012.

WRI, World Resources 1992 - 2012.

英語セミナー(特別上級) 2単位(秋学期集中)

Art & Fashion: Movements & Creators (A)

(文学・芸術・思想)

秋学期: 月1/水2

バティアー, ロジャー M.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This class is an examination of the evolution of western Art & Fashion. The course runs for four semesters, and taking multiple semesters is both advantageous and recommended. We examine the history of both subjects and discuss ways of approaching the issues and the main genres of art and fashion. We look at various movements and periods, individual painters and individual items of clothing. We also consider the relationship between art and fashion. Although the course is rather intensive, keen students should be able to adapt to the pace of the coursework without too much difficulty. Having said that, the individual research load can sometimes become rather heavy; furthermore, there is considerable emphasis placed on communication and expression. Those who lack ideas or the motivation to discuss their feelings will probably struggle. The course would therefore suit hard-working individuals who are keen to discuss these subjects both in class and in smaller groups. Shy students, or those who find it difficult to express themselves, are thus not encouraged to apply.

成績評価方法:

Reports 65%; Attendance 20%; Test 15%

テキスト(教科書):

I will provide materials for student use; I have many books which students may consult. They will only be loaned however, after a signature and deposit, and must be returned by the deadline. Failure to do so means failure of the course.

参考書:

Sylvan Barnet, A Short Guide to Writing about Art 11e (2014)

Marnie Fogg (Ed.), Fashion: the Whole Story (Prestel, 2013)

英語セミナー(特別上級) 2単位(秋学期集中)

Environment and Development: Regional Studies - (B)

(社会・経済・歴史)

秋学期: 月3/水4

バティアー, ロジャー M.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course is an Introduction to the field of Environment & Development. The focus this semester is on another broad region, with its unique set of countries and challenges.

Through the semester I hope to provide students with a basic understanding of the main environmental and development challenges facing humanity in the 21st century. The emphasis is on the developing world. Students study one country and region each semester, developing specialist knowledge of local problems and examining them from local, national and regional perspectives. At the same time, students are also expected to develop specialist knowledge of two or three issues in the international arena. As source material, current statistical material from a variety of sources (UNDP, WRI, FAO, World Bank) is supplemented by reports from newspapers and other media from around the globe. The subject is difficult, but rewarding for those who have a high level of motivation.

Language: 100% English. The subject is often complex, and complex expressions are often demanded.

成績評価方法:

Reports (discussed, revised and expanded) 75%; Attendance 10%; Test 15%

テキスト(教科書):

No set textbooks.

参考書:

UNDP, Human Development Report 1991-2012.

WRI, World Resources 1992 - 2012.

英語セミナー(特別上級) 2単位(秋学期集中)

Rethinking Dominant American Brands

(社会・経済・歴史)

(前年度の繰り返し履修不可)

秋学期: 火1/金2

松岡 和美

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Skills emphasized in this class are critical thinking, advanced academic writing and vocabulary development. This course will give an opportunity for students to be exposed to scholastic/journalistic critical analysis of dominant American brands, including Disney and McDonald's. Topics include: Food Safety, Worker Exploitation, Cultural Representation and Simulation, Environmental issues, and Globalization. There will be academic vocabulary quizzes, reading questions, and written assignments throughout the semester. Each student will choose a topic related to the content of the readings and conduct research. The results of the survey will be presented in an oral presentation and the final paper. Students are expected to ask questions and contribute their thoughts in classroom discussions. A strict attendance policy will be enforced; virtually no consideration is given to absences caused by extracurricular activities.

成績評価方法:

Classroom participation (10%), Vocabulary Quizzes (10%), Reading and writing assignments (10%), Midterm essay (10%), Midterm presentation (10%), Final Presentation (25%), Final Paper (25%)

テキスト(教科書):

(1) Materials extracted from various sources, including: Budd and Kirscher. (2005). *Rethinking Disney: Private Control, Public Dimensions* (Wesleyan), Schlosser. (2005). *Fast Food Nation: The Dark Side of the*

All-American Meal (Harper Perennial), among others. (2) McCarthy and O'Dell. *Academic Vocabulary in Use*.

英語セミナー(特別上級) 2単位(春学期集中)

英語セミナー(特別上級) 2単位(秋学期集中)

An Age of Innocence? Children and Childhoods in Modern Society

(社会・経済・歴史)

春学期・秋学期：月5/金4

光田 達矢

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

We live in curious times that, as the proportion of children in the developed world dwindles, our affection for them has grown more intense. We shower children with toys, sweets, and gifts. We take them to places and events that would make them happy. We fork out a fortune to make sure they receive the best possible education. Some are even prepared to sacrifice careers for their children's futures. Children are, in short, priceless treasures.

As research into childhood studies reveal, however, it has not always been thus. Not only were childhoods more precarious (due to the risks of diseases) they were shorter as most children had to grow up quickly to work, fight or marry. It is only recently that children's health has improved, the times that they can continue to be children have lengthened, and emotional and financial dependency on parents has increased.

Focusing on the past 100 years - a century that has been labelled "the century of the child" - this seminar investigates how and why children became separate from adults, how and why children have become the emotional centre of nuclear families in which they have been made to act out cute roles, and how and why businesses, schools, and the state came to view them as consumers, pupils, and little citizens whose 'proper' development has become crucial to future society.

成績評価方法：

REQUIREMENTS Presentations: x2 as groups; x1 on individual research topic Response papers: x4 based on assigned readings Mid-term essay: 1,000 words Final essay: 3000+ words (with references and bibliography)

EVALUATION Presentations: 20% Response papers: 20% Final essay: 30% Participation: 30%

英語リーディング

〈目標〉

Study Skillsで学んだリーディング練習を基礎とし、さらにリーディングのスキルを伸ばすことに重点をおきながら英語の理解を深めるクラスです。レベルは分かれていません。通年の授業となりますので、一年間じっくり時間をかけ、1) 量が多く読みこなす練習、2) 速読練習、3) 要旨をまとめる練習などを中心とします。ただし、各担当教員により重点を置く練習内容、スキルは異なりますので、詳しくは、各担当教員の講義要綱、経済学部英語クラスWebページ (p.11) を参照してください。

各英語リーディングの授業は、扱われるトピック (テーマ) によって次の4つのカテゴリーに分類されています。

1) 文学・芸術・思想、2) 言語・文化、3) 社会・経済・歴史、4) その他

それぞれの授業がどのカテゴリーに属しているかは、英語セミナー・英語リーディングのトピック (テーマ) 別一覧表 (p16-17) を参照してください。

英語リーディング

英語リーディングa 1単位 (春学期)

英語リーディングb 1単位 (秋学期)

Topics in Cultural Anthropology
(社会・経済・歴史 + Discussion)

(前年度との繰り返し履修不可)

春学期・秋学期：木2

セット履修

アートル, ジョン J.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course is an introduction to key themes and ideas in the study of cultural anthropology. As a discipline, cultural anthropology has set out to understand the different ways people live their lives, interact with others, and understand the world around them. In this class, we will examine a broad range of topics including: ways of classification, purity and taboo, ritual, gifts and exchange, cosmology, art, kinship, transnationalism, heritage, and tourism. This is an intermediate-level English course that emphasizes intensive reading and classroom discussion. Students are further expected to write weekly "response papers" as well as contribute as "discussion leader" at least once during the semester.

成績評価方法:

Grades for this course are determined as follows:

Homework 30%

Classroom Discussion 20%

Term Paper 30%

Discussion Leader 20%

テキスト(教科書):

HENDRY, Joy. 2016. *An Introduction to Social Anthropology: Sharing Our Worlds* 3rd Edition

英語リーディングa 1単位 (春学期)

英語リーディングb 1単位 (秋学期)

Corporate Governance, Market Governance: Issues and Irregularities
(社会・経済・歴史 + Discussion)

(過年度との繰り返し履修不可)

春学期・秋学期：土1

セット履修

キャノン, タラ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

In recent years, there has been a loss of trust in the markets. Investors (and others) have been worried about issues such as: Are companies using "creative accounting" to hide fraud? Are external audits reliable?

Do credit ratings agencies analyze companies and countries truthfully? Are all companies, big or small, treated the same under the law? If a company is "too big to fail," should different rules apply? Can investors be sure that the "rule of law" will be followed during major bankruptcies or during market-wide "crisis" situations? This course examines these issues. First it examines general concepts and then it considers specific examples.

The class includes substantial listening each week, as an introduction/overview of that day's topic.

成績評価方法:

Attendance, participation, and homework (50% of final score), two tests (one at the end of each semester; 50% of final score) and occasional unannounced quizzes (regarding content of homework, key vocabulary, etc.). Students are required to attend two-thirds or more of all class time. Students are also required to take, and pass, the final exam.

テキスト(教科書):

Distributed in class. Most readings come from magazines such as The Economist and similar sources. Readings include a mixture of historical articles and recent articles.

英語リーディングa 1単位 (春学期)

英語リーディングb 1単位 (秋学期)

Prospects for an East Asian Community

(社会・経済・歴史 + Discussion)

(過年度との繰り返し履修不可)

春学期・秋学期：土2

セット履修

キャノン, タラ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

There has been much talk of creating an "East Asian community." However, for Asia to become a unified region, it must overcome obstacles even greater than those faced by Europe during the creation of the EU. This course will examine the idea of a "regional community" and consider the benefits and challenges involved in such a transition.

Students will consider issues faced by the EU at present (including issues in handling the sovereign debt crisis), then examine the current situation in Asia (recent steps toward economic integration, geopolitical challenges, etc.).

The class includes substantial listening each week, as an introduction/overview of that day's topic.

成績評価方法:

Attendance, participation, and homework (50% of final score), two tests (one at the end of each semester; 50% of final score) and occasional unannounced quizzes (regarding content of homework, key vocabulary,

etc.). Students are required to attend two-thirds or more of all class time. Students are also required to take, and pass, the final exam.

テキスト(教科書):

Distributed in class. Most readings come from the New York Times, the BBC website and similar sources. Readings include a mixture of historical articles (starting from roughly 2001) and recent articles.

英語リーディングa 1単位(春学期)

英語リーディングb 1単位(秋学期)

多様な社会における世界に羽撃く企業の挑戦
(社会・経済・歴史+ Presentation・Writing)
(前年度との繰り返し履修不可)
春学期・秋学期: (木3)(木4)

セット履修

斎藤 早苗

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

■Course Description■

[Key Words] global leaders, diversity management, marketing strategies

□ Goals

The goal of this course is to help participants develop their reading skills through not only English-language news articles given in a textbook but also some economics/business-related articles. A particular focus is to be placed upon reading comprehension, vocabulary building that can promote active use of technical terms, economic/business related expressions, and writing summaries of what they have read as well as presentation skills that may be necessary for their future carriers for confirmation of comprehension of the article. Eventually, this one-year course aims to help Economics majors learn to put their learning to practical use professionally and socially in an increasingly global workplace through content-and-language-integrated learning (CLIL).

□ Contents

1. Overview

Topics to deal with throughout the course include: business leaders, global leadership, management styles, innovation, cultural awareness, business and the environment. Participants are to read not only articles/passages in a textbook but also economic/business-related articles from "The Japan Times", "The New York Times", "Financial Times", "The Guardian", and "The Economist" to learn to read articles analytically and critically. Each session offers participants the opportunity to consider the trends/issues of an external and an internal economy so that they may increase their knowledge and awareness toward the way global economy will go. Moreover, they will be encouraged to learn to express their views on economic/business trends in the world through presentations and summarizing what they have read to confirm their reading comprehension.

2. Media Journal

Participants will be encouraged to keep "a media journal" to enhance their reading skills and get familiar with economic the economics of the world. They keep a journal with the use of economics and business related news articles from newspapers, magazine articles throughout the course.

4. Methods and Classroom Organizations

4-1. Methods

Content-and-language integrated learning is used to seek to make meaningful communication and language use a focus of all classroom activities.

[Examples]

*'Discussion and Writing' suggest several topics relating to issues in the article for oral and written discussion. "Discussion and Writing" also encourage thinking beyond the article to the implications and long-term significance of its message.

*Presentations

Participants will be asked to make two presentations; one in the spring semester and the other is in the fall semester. They are to choose a economics/business-related matters of their choice from such areas as

"management and cultural diversity", "marketing", "leadership", "international trades" or "economics and ecology".

4-2. Classroom Organizations

In this course, various classroom organizations are to be used such as the whole-class grouping and individualized learning as follows:

(1) The whole-class learning

The whole-class grouping may reinforces a sense of belonging among the class members.

(2) Individualized learning

'Individual work' may help participants concentrate on reading comprehension questions and vocabulary expanding in the textbook in terms of pace of learning and learning styles. In addition, individual work can develop their autonomy and promote skills of self-reliance.

(3) 'Pair/group Work' offers participants as many opportunities as possible to express their views on business trends in a pair or a group so that they could expand their horizons. Group work, in particular, can encourages broader skills of cooperation and negotiation.

□ Time Allocation

Listening: 20%, Speaking: 30%, Reading & Writing: 50%

成績評価方法:

Grades will be determined by the following five elements:

1. Active participation and contribution to class: 15 points
2. Assignments and vocabulary quizzes: 15 points
3. Media journal: 20 points
4. Two presentations: 20 points
5. Term examinations: 30 points

(100 points in total.)

テキスト(教科書):

To be announced in class.

参考書:

*『これで読めるエコノミスト』早野 勝巳編著. KINSEIDO. ISBN: 4-7647-0884-1 C0082

英語リーディングa 1単位(春学期)

英語リーディングb 1単位(秋学期)

Summary and Note-taking

(社会・経済・歴史+ Writing)

(前年度との繰り返し履修不可)

春学期・秋学期: 木3

セット履修

田中 裕司

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course provides summary and note-taking practice as preparation for the demands of academic writing. We will learn how to paraphrase and summarize texts while reading Ernst Schumacher's criticisms of conventional economics.

成績評価方法:

Class participation 20%

Discussion 20%

Homework 30%

Final exam 30%

テキスト(教科書):

Joseph Pearce. 2006. Small is Still Beautiful. 《スモール・イズ・ステイ
ル・ビューティフル》—シューマツハー—経済哲学再訪—edited with
notes by Kenji Notani. Tokyo: Eihosha.

英語リーディングa 1 単位 (春学期)**英語リーディングb 1 単位 (秋学期)**

Reading and Critical Thinking: Understanding Current Topics

(社会・経済・歴史 + presentation/discussion)

春学期・秋学期：水 1

セット履修

永井 容子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

This course is aimed to develop students' ability to think critically in an academic context and to improve their reading fluency and comprehension. Current topics are taken from the following academic subjects: globalization, business vs engineering in university courses, medical ethics, environmental planning, energy development, social and economic impact of ageing, the effect of the Internet on human memory, the future of robotics, genetic research, intellectual property, the future of space exploration, brand power and brand image, imperialism and the Internet.

The class involves identifying the main idea of the reading passages, understanding details (including key vocabulary), making inferences, summarizing, relating the reading content to the students' existing knowledge and opinions, and expressing their ideas on the topic through speaking. English will be the main language used in class.

Students must work independently outside class hours and come to class well prepared. Attendance will be taken at the beginning of each lesson, and no more than 5 absences are allowed.

成績評価方法：

Participation and in-class activities (reading comprehension, summarizing, discussions, short presentations) 30%, Quizzes 20%, Exam (at the end of each semester) 40%, Attendance 10%

テキスト(教科書)：

(Spring Semester)

Sowton, Chris and Kennedy, Alan S. (2019). *Unlock 4* 2nd ed. Cambridge UP. ISBN: 978-1-108-66742-5

(Fall Semester)

Graber, Barbara and et. al. (2015). *Reading for the Real World 3* 3rd ed. Compass Publishing. ISBN: 978-1-61352-836-5**参考書：**

To be announced in class

英語リーディングa 1 単位 (春学期)**英語リーディングb 1 単位 (秋学期)**

Discourses of Japanese Popular Culture

(社会・経済・歴史 + Writing & Discussion)

春学期・秋学期：水 2

セット履修

西村 恵子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：**Course Description**

This course approaches the objects, stories, and ideas that comprise the effervescent landscape of Japanese popular culture, notably manga, anime, television and the entertainment industry. While students may be familiar with these objects, stories and ideas in their everyday life, the course encourages them to think critically about these phenomena. Special attention is paid to the historical, social, economic, and cultural dynamics of popular culture in Japan, as well as the spread of Japanese popular culture globally. This course aims to equip students with skills to discuss Japanese popular culture in English, with historical, social, and cultural awareness to the contexts they emerge.

Course Objective

- Develop critical comprehension skills, college-level vocabulary and reading efficiency.
- Become familiar with conventions of academic writing and critical thinking.
- Identify and explain the discourses of Japanese popular culture and its global and domestic social, economic, cultural, and political significance.

成績評価方法：
Reading & Writing: 80% (Comprehension Quiz 20%, Vocabulary List 20%, Summary Writing 20%, Synthesis Writing 10%, Exam 10%)

Listening & Speaking: 20% (Discussion Participation 20%)

テキスト(教科書)：Birkenstein, C., & Graff, G. (2018). *They Say / I Say: The Moves That Matter in Academic Writing* (Fourth ed.). New York, NY: W. W. Norton & Company.

英語リーディングa 1 単位 (春学期)**英語リーディングb 1 単位 (秋学期)**

Extensive Reading in English on Academic Topics

(その他 + Presentation)

春学期・秋学期：火 3

セット履修

ノッター, デビッド M.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

The focus of this course will be what is called 'extensive reading'. Students will be asked to read for at least 30 minutes at least 5 days every week and keep a 'reading log' (in other words, a journal in which they record basic information on what they are reading). Students will be free to choose their own reading material (as long as it is on an academic topic), and they may change the book they are reading at any time. Unlike 'intensive reading' whereby students are encouraged to analyze short readings in great depth and detail (generally achieved through translating the material into Japanese), in the 'extensive reading' that students will be engaged in in this class, students will be encouraged to read a large amount of material in English without translating it into Japanese and without looking up every word they don't understand (although students will be encouraged to write down a limited number of key words in their journals and look these up at a later time). The purpose of this is to allow students to get used to reading 'English as English', an approach which is absolutely necessary in situations which require students to read and understand a large amount of material in English. In addition to the reading log, students will be giving weekly 'vocabulary' presentations on key words they have encountered in their reading, and students will have the opportunity to discuss what they are reading in small groups. The course will be conducted in both English and Japanese.

成績評価方法：

Grades will be based on Attendance (10%), Vocabulary Presentations (30%), Vocab Quizzes (30%), and the Reading Log (30%)

テキスト(教科書)：

Textbooks will not be used in this class; students will be expected to find their reading material on their own.

英語リーディングa 1 単位 (春学期)**英語リーディングb 1 単位 (秋学期)**

Current Issues of the World and Japan

(言語・文化 + Writing/Discussion)

(前年度との繰り返し履修不可)

春学期・秋学期：金 5

セット履修

日高 正司

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

This course will cover the current issues of the World and Japan. Students will read articles in major English-language newspapers, magazines, and academic publications. They will focus on widely discussed topics in the media like energy issues, life ethics, racism, Net crime, food safety, poverty/welfare, free speech. Students will prepare for questions and answers on these issues in articles and will use them as a basis for discussion in class. Class discussion will help students exchange information, questions and ideas while recognizing the perspectives of others. They will be required to attend regularly, participate in discussion and take a written quiz on weekly reading assignment and a final exam.

成績評価方法：

Grading: Grades are based on the entire semester's work: mid-term/final exam: 50%, Weekly written quiz: 30%, participation and in-class activities 20%

テキスト(教科書)：

No textbook will be used.

参考書：

No reference books will be used.

英語リーディングa 1単位(春学期)

英語リーディングb 1単位(秋学期)

Thinking about Grammar Again!
(言語・文化+ Presentation/Writing)
(前年度との繰り返し履修不可)

春学期・秋学期：月2

セット履修

星 浩司

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Especially for those who have a negative image of grammar, this course offers a good opportunity to closely look at grammar and think about it from a fresh perspective. Beginning with the definition of grammar, we will deal with topics including basic units of language structures, grammar in the world's languages, grammar and vocabulary, grammar in spoken and written text, grammar and language change, grammar in society, grammar in the head and so on. Students are expected to summarize and account for their assigned portions of the text in class. Furthermore, they are required to write a report on a topic addressed in class both in the spring semester and in the fall semester.

Classroom Language: Classes will be conducted both in English and in Japanese.

成績評価方法:

Attendance and Class Participation (20%), Presentation (20%), Report (30%),

In-class Essay (30%)

テキスト(教科書):

Michael Swan. (2005). Grammar. Oxford University Press.

英語リーディングa 1単位(春学期)

英語リーディングb 1単位(秋学期)

Current Economic Issues (社会・経済・歴史+ presentations & discussions)

春学期・秋学期：(月5)(金5)

セット履修

ボーム, スティーブ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Using Critical Thinking as a basis, this course will examine major economic issues facing Japan and the world. Relevant skills include discussions and presentations.

成績評価方法:

Presentation: 40%, Class participation: 60% (based on reading assignments and other preparation).

テキスト(教科書):

Materials provided by the instructor.

[外国語教育研究センター特設科目]

英語最上級 アドバンスト英語

第2学年以上で、外国語I必修科目「英語Study Skills」または「英語セミナー（特別上級）」を取得済みの学生は、選択必修科目として履修することができます。（それ以外の学生が履修する場合、自主選択科目の単位になります。）

「英語最上級 アドバンスト英語」を選択必修として履修する学生は、所属地区の学生部経済学部窓口まで申し出てください。締切日は冊子冒頭の「外国語科目履修申告までのスケジュール」で確認してください。（自主選択科目として履修する場合は、履修登録のみ行ってください。）

英語最上級 アドバンスト英語

英語最上級 アドバンスト英語(a) 1単位(春学期)

英語最上級 アドバンスト英語(b) 1単位(秋学期)

Gold, Land, and Blood: An Introduction to the Economic and Political History of Late Medieval Japan

春学期・秋学期：木3

セット履修

クラシゲ ジェフリー ヨシオ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The use of English in the STEM fields by Japanese scholars seems to advance day-by-day, yet sadly the same trend is not evident in the humanities. As one small step to arrest this process, this course aims to nurture students in fields like history, business, economics, and political science, providing them the reading, speaking, and writing skills to study abroad and interact with the foreign academic community.

As a focus, this seminar will explore the economic and political systems of Japan's medieval period, so that students can understand the origins of many elements central to Japanese traditional culture. The class will begin in the Kamakura period and examine the *shoen* estates along with the related *kenmon* system of factional control. The expansion of the monetary economy and the development of village life in the early Muromachi period will then be analyzed. Finally, the collapse of the central government during the Sengoku period and the creation of local and regional economies will be studied.

Each week will be fully discussion based, with no lecture element. The course head will help the students understand the readings through Socratic style Q&A. For exchange students, the class will provide a thorough introduction to Japan's medieval period, while for Japanese students the weekly discussions and presentations will help prepare them for future study abroad.

成績評価方法:

Discussion attendance/participation: 30%

Bi-weekly SHORT 1 page response papers (225-275 words): 20%

Presentation of readings: 20%

Final research paper (7-9 pages, DOUBLE SPACED, 12-point font): 20%

Final presentation: 10%

テキスト(教科書):

All journal articles and book chapters will be provided in PDF form by the course head.

参考書:

Due to the sheer number of texts, all reference works will be described by the course head during class.

英語最上級 アドバンスト英語(a) 1単位(春学期)

英語最上級 アドバンスト英語(b) 1単位(秋学期)

Japan & Globalization: Intercultural Communication in Societies and Organizations

春学期・秋学期：月4

セット履修

コミサロフ, アダム

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The goals of this course are to: 1. explore how acculturation dynamics impact intercultural communication and relationships, especially between coworkers, 2. consider the meaning of creating a more global society in Japan, particularly in terms of individual mindsets and competencies, and 3. encourage students to create strategies for promoting positive acculturation experiences and intercultural communication between Japanese and non-Japanese coworkers.

This course begins by giving students a foundation in basic intercultural communication and acculturation theory—i.e., what are common cultural differences found in the workplace, what is acculturation, and how acculturation influences intercultural communication and relationships. Concurrently, students are mentored in how to develop and deliver effective presentations in English. As a demonstration of mastery of both the rudiments of presentations and the fundamentals of acculturation theory, students are required as a final project to write and present a paper that details a specific acculturation context and the intercultural communication dynamics between the people interacting. They will also be expected to propose concretely how better intercultural communication can be achieved at the individual, organizational, and societal levels.

成績評価方法:

Students' grades will be based on (1) participation in class work and attendance, (2) homework completion rates (homework is given weekly), and (3) performances on tests, papers, and oral presentations.

テキスト(教科書):

Komisarof, Adam. (2012). *At Home Abroad: The Contemporary Western Experience in Japan*. Reitaku University Press. ISBN: 978-4892056161.

The teacher will also provide numerous extra reading materials at no cost to the students. These materials will be drawn from a wide range of sources.

参考書:

Editors: Adam Komisarof and Zhu Hua. (2016). *Crossing Boundaries and Weaving Intercultural Work, Life, and Scholarship in Globalizing Universities*. Publisher: Routledge. ISBN 9781138825352

Editors: John Berry and David Sam. *The Cambridge Handbook of Acculturation Psychology*, 2nd edition. Cambridge University Press. Chapter by Adam Komisarof and Chan-Hoong Leong, "Acculturation in East and Southeast Asia."

ISBN 9781107103993
The Upside of Stress by Kelly McGonigal. ISBN 978-1101982938

英語最上級 アドバンスト英語(a) 1単位(春学期)
英語最上級 アドバンスト英語(b) 1単位(秋学期)

Japanese Popular Culture in a Global Age
春学期・秋学期：木4

セット履修 デイル, ジョナサン

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

What impact is globalization having on Japan's popular culture? Is it being assimilated into larger, global trends, or is there still something distinctly "Japanese" about it that connects it to traditions of the past? Do we even need to worry about such questions in our global, playful, postmodern times?

This class will examine examples of Japan's popular culture in literature, film, anime, art, music, and fashion, particularly since the 1980s. Students will be introduced to a number of theoretical texts on globalization and culture and will be asked to consider how these theories might illuminate the texts introduced in class. In this way, it is hoped that students will gain a deeper appreciation of the historical moment in which they live and the larger cultural conditions in which they participate.

Given that this is an English class, we will look at these texts in English, and so issues of translation and cultural transmission will naturally arise as a sub-theme of the course. How is Japanese popular culture being reshaped and repackaged for audiences abroad, and is this an act of cultural bridge building or something else?

成績評価方法:

Your grade each semester will be determined as follows:
Short writing assignments based on class readings (20%)
Presentation (20%)
Essay (40%)
Class Participation (20%)

テキスト(教科書):

All texts will be provided in class and/or made available on the class website.

参考書:

If you don't already own one, a general guide to academic writing and referencing would be useful to own. You can look online or in the library for what kinds of texts are available. One recommended text is

Hacker, Diana, and Nancy Sommers. *A Writer's Reference*. Seventh Edition. Boston and New York: Bedford/ St. Martin's. 2011. ISBN-13: 978-0-312-60143-0.

英語最上級 アドバンスト英語(a) 1単位(春学期)
英語最上級 アドバンスト英語(b) 1単位(秋学期)

The Jazz Age & Beyond: An American Revolution
春学期・秋学期：火1

セット履修 バティアー, ロジャー M.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The 1920's was the decade in which America came of age. Broadly speaking, in political, military and legal terms the America we know today might have been already developing during the long nineteenth century. However, during the 1920's the economy and society that most people today think of as distinctly American finally took shape.

This course examines the decade from a variety of perspectives, but concentrates on the evolution of American literature over the period. We analyze some key literary texts, which will shed light on a variety of groups and individuals. Based on a reading of these novels, we examine broad social themes, from the economy to social change. And we discuss America's changing place in the international system.

成績評価方法:

Attendance, Presentations, and Reports.

英語最上級 アドバンスト英語(a) 1単位(春学期)
英語最上級 アドバンスト英語(b) 1単位(秋学期)

Ghost Stories Across Cultures
春学期・秋学期：火2

セット履修 バナード, ピーター

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

What makes a story "scary"? Students will explore this question by reading and discussing a range of ghost stories, drawn from horror storytelling traditions from the British Isles, North America, and Japan. We will consider the social, political, and historical contexts in which these stories have been told and retold, but we will also take care to appreciate them as horror fiction--as a type of storytelling that has a specific kind of effect on us, the reader.

Students will improve their English reading ability through close reading exercises, and will hone oral communication skills through discussions and group work in class. Likewise, students will be asked to complete a series of written exercises throughout the course, focusing on academic as well as more expressive forms of writing in English.

成績評価方法:

Grades will be calculated as follows:

30% Regular attendance and active participation in class discussion

30% Writing assignments

40% In-class quizzes and exams

テキスト(教科書):

Reading assignments will be distributed by the instructor in class.

参考書:

Students are required to have access to a good English dictionary.

英語最上級 アドバンスト英語(a) 1単位(春学期)
英語最上級 アドバンスト英語(b) 1単位(秋学期)

The Collapse of Complex Societies
春学期・秋学期：水3

セット履修 ヘンク, ニコラス

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The purpose of this course is to furnish students with an understanding of the factors which can cause both ancient societies and modern states to collapse. We will look at how to recognize symptoms of collapse as well as identifying past policies which have accelerated or averted collapse. In addition to looking at various theories behind the causes of collapse, we will be looking at specific case studies both of ancient societies that declined and fell and also modern states that have said to have failed.

In terms of skills, the course will provide students with an opportunity to both demonstrate their existing listening, presentation, research and academic writing skills, as well as enhance these through additional experience and practice.

成績評価方法:

In each semester students will be evaluated on a 1000-1500 word essay/report; a 10-15 minute oral presentation, plus a mid-term exam.

The essay/report and oral presentation will count for more than the mid-term exam.

Poor attendance will result in the automatic lowering of a student's grade.

テキスト(教科書):

Diamond, Jared. 2011. *Collapse: How Societies Choose to Fail or Succeed*. Revised edition. Penguin: New York. ISBN-13: 978-0241958681.

参考書:

Tainter, Joseph. 1990. *The Collapse of Complex Societies*. Cambridge University Press; New Ed edition. ISBN-13: 978-0521386739.

外国語Ⅱ（選択必修）ドイツ語

ドイツ語Ⅳa 1単位(春学期)

ドイツ語Ⅳb 1単位(秋学期)

Aktiv Deutsch lernen

春学期・秋学期：水2

セット履修

クリーク, プリギッテ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

In diesem Kurs koennen Sie Ihre Deutsch-Kenntnisse anwenden und weiter vertiefen. Sie haben viele Moeglichkeiten, Deutsch zu sprechen und zu ueben. Hoeruebungen (mit CD/DVD) und Paar- bzw. Gruppeneubungen gibt es in jedem Unterricht.

Sie brauchen jedesmal Ihr Woerterbuch. Aktive Mitarbeit ist notwendig.

Unterrichtssprache ist ueberwiegend einfaches Deutsch.

Wir benutzen ein deutsches Lehrbuch "studio d, A1, Teilband 2".

成績評価方法:

Pruefungen und muedliche Mitarbeit

テキスト(教科書):

(2007), Studio d, A1, Teilband 2, Cornelsen, ISBN 978-3-464-20766-6
Funk, Kuhn, Demme

参考書:

中島、平尾、朝倉(1985) 必携ドイツ文法総まとめ、白水社、ISBN 4-560-00433-1

ドイツ語Ⅳa 1単位(春学期)

ドイツ語Ⅳb 1単位(秋学期)

2018/19年のドイツを読む

春学期・秋学期：火4

セット履修

七字 眞明

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

世界の政治・経済の枠組みにおいて、その重要性を増すEUの中でも中心的な位置を占めるドイツ。この国では現在、何が問題となり、どのようなことが話題となっているのでしょうか。

この授業では、政治、経済、社会、文化等、幅広い分野から選んだテキストを読みながら、現代ドイツの諸相に触れてみたいと思います。

授業ではある程度のスピードをもってテキストを読み進めていきますが、ドイツ語の基本的な文法事項に関して、必要に応じて復習も行います。

一年間の受講後に、「ドイツ語技能検定試験（「独検」）2級」に合格できる（＝ドイツの新聞・雑誌記事等の内容を、辞書を用いずにほぼ理解できる）程度のドイツ語の読解力が身に付くことを目標とします。

成績評価方法:

春学期末試験30%、秋学期末試験30%、学年末ドイツ語一斉試験20%、平常点（出席点）20%、の総合評価とします。ただし、**欠席・遅刻が年間の全授業回数の5分の1（6回）を超えると、上記の評価基準にかかわらず不合格となります。**

テキスト(教科書):

『時事ドイツ語 2020年度版』Andrea Raab/石井寿子著 朝日出版社 2020年、¥1900+税、ISBN: 978-4-255-25434-0

参考書:

特に使用しません。

ドイツ語Ⅳa 1単位(春学期)

ドイツ語Ⅳb 1単位(秋学期)

中級レベルの実践的ドイツ語を目指して

春学期・秋学期：金4

セット履修

デーゲン, ラルフ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

このクラスの目標は基礎的なドイツ語能力を身につけること。文法を早く進ませることより、文法と日常的によく使えるパターンや語彙を身につけて、実践的に使えるようになる練習を重要視する。言語練習ゲームなどを多用し、楽しい雰囲気作りを心掛ける。

基礎的なドイツ語コミュニケーション能力を総合的に養成するとともに、受講者の自律学習能力を養成し、自分に一番快適で効果的

な勉強方法を開発できるようになることを目指す。そのために幅広くいろんな練習方法や教科書以外の教材を取り入れる。授業時間の大半は学生諸君がグループやパートナー練習で楽しく能動的に練習する。

受講者のレベルに合わせて、初級の文法や語彙を復習してから、日本で出版されたヨーロッパ共通参照枠のA2レベルの教科書を使用する。

成績評価方法:

期末試験（筆記試験と簡単な口答試験）

出席、授業の準備や復習（宿題）の程度、授業中の積極性

テキスト(教科書):

藤原三枝子 他 (2019). 『Start frei! 2 - コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』三修社 (ISBN:978-4-384-13096-6)

ドイツ語Ⅳa 1単位(春学期)

ドイツ語Ⅳb 1単位(秋学期)

ドイツの漫画とアニメについてのテキストを読みながらドイツ語を学ぶ

春学期・秋学期：月4

セット履修

ブリール, リタ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Deutsch verstehen und sprechen lernen. Deutsche Mangakultur kennen und verstehen lernen.

成績評価方法:

大テストを2度、小さな単語テストを何度か行う。60点をとることが合格の基準となる。

きちんと出席し、授業に積極的に参加してほしい。

テキスト(教科書):

Wir kommen aus Deutschland. Rita Briel, Soichiro Itoda. Ikubundo.

ISBN: 978-4-261-01264-4

参考書:

特になし。

ドイツ語Ⅳa 1単位(春学期)

ドイツ語Ⅳb 1単位(秋学期)

ドイツ語圏で暮らす人々の生活を垣間見ながら、4技能をバランス良く向上させよう!

春学期・秋学期：水2

セット履修

三ツ石 祐子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業の目標は、1年生で習ったドイツ語の知識を基にして、「聞く・話す・読む・書く」といった、所謂「4技能」をペアワークやグループワークなどを通してバランス良く練習することで、ドイツ語力を向上させ、実際にコミュニケーションの場面で相手に伝わるように活用する能力を身につけることです。

教科書はHueber社の "Menschen A2.1"を使用します(A2は欧州評議会により設けられた、ヨーロッパ言語学習における言語能力評価基準で、学習を継続中の初級者を指します。具体的には、ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、近所、仕事など直接的関係がある領域に関するよく使われる表現が理解でき、また情報交換に応じることができ、簡単な言葉で説明できるようになることを目指します。A2.1はA2で要求される内容の半分になります。)。この教科書ではドイツ語圏の人々の生活から様々なテーマが取り上げられています。各課4頁の構成になっているので、1回の授業で、平均2ページのペースで進めていきたいと考えています。

履修者には、ドイツ語の音声をしっかり聞き、繰り返し発音（音読）練習すること、また表現の幅を広げる為に教科書や配布するプリントで使われている単語やフレーズをしっかりと覚えること、宿題をやることが要求されます。

クラスの状況（履修者数など）によっては、ドイツ語でのプレゼンテーションをしてもらいます。

成績評価方法:

各課の終わりに行う小テスト20%+プレゼンテーション20%+学年末試験30%+授業への参加(担当者の主観的判断含む)・出席20%+学年末一斉試験10%を総合評価します(予定)。

因みに「授業への参加」とは、遅刻しない、教科書・辞書・筆記道具を忘れない、宿題をやってくる、授業でやったことは復習して覚える、声をしっかり出して発音する・話す・練習する(ダラダラや

らない!)、意思表示をしっかりとる、グループワークやペアワークを積極的に行う etc. と言う意味です。

テキスト(教科書):

Menschen Deutsch als Fremdsprache Kursbuch A2.1, Hueber Verlag, ISBN 978-3-19-301902-8

ドイツ語Ⅳa 1単位(春学期)

ドイツ語Ⅳb 1単位(秋学期)

「ドイツ語で読もう1」「ドイツ語で読もう2」

春学期・秋学期: 金2

セット履修

矢野 久美子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

平易なドイツ語で書かれた『グッバイ・レーニン』のテキストを和訳しながら読み、映画で内容を確認します。

初級文法を復習しながら輪読しますので、予習は必須です。

テキストの理解に必要なドイツの歴史や文化についても、プリントや映像などを使って学びます。

成績評価方法:

出席、予習・復習、授業への積極的な参加態度などの、総合的な平常点50%

中間・期末テスト50%

テキスト(教科書):

Good Bye, Lenin!: In Einfacher Sprache, Spaß am Lesen Verlag, Münster, 2015

ISBN 978-3-944668-22-2

ドイツ語Ⅳa 1単位(春学期)

ドイツ語Ⅳb 1単位(秋学期)

コミュニケーションのためのドイツ語

春学期・秋学期: 火3

セット履修

米山 かおる

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、自身のドイツ語力を使ってドイツ語で発信する力、コミュニケーションをとる力を身につけていきます。A2(初級後半)レベル教科書を使い、4技能の向上と基礎となる文法の学習を行うとともに、新しい語彙や言い回しもグループワークなどで使いながら習得します。学んだドイツ語を様々な場面におけるコミュニケーションで駆使しながら自分のものにしていきましょう。

成績評価方法:

平常点(出席・授業への参加度)、授業内試験

テキスト(教科書):

プリマ・プラス2 prima plus A2 藁谷郁美/Marco Raindl/太田達也著 朝日出版社 2018年 ISBN: 978-4-255-25410-4

ドイツ語ⅩIa 1単位(春学期)

ドイツ語ⅩIb 1単位(秋学期)

ドイツ語を使おう

春学期・秋学期: 火2

セット履修

山口 祐子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この講座では、授業中にドイツ語だけで学習することを通じて、4技能(読む・書く・聞く・話す)の総合的な実力アップを目指します。とりわけ、以下の点を重視します。

1) 基礎的な語彙力の定着。聞き取り(書き取り)や会話練習を通して、基礎的な単語や熟語表現をマスターすることを目指します。2) 正確な読解能力の習得。ある程度まとまった文章を読みながら、確実な内容理解のためのコツを学びます。3) 確実な発信能力の習得。とくに初級文法後半の学習事項について、ドリル形式の問題を繰り返し練習します。受講生の習熟度に応じて、メールなどの文章を書く課題もあります。

授業はすべてドイツ語で行われます。教材は、ドイツで出版されているヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)のA2レベル相当(初級後半)のものを使用する予定です。会話の経験が全くない受講生には、最初は難しく感じられるかもしれませんが、ただし、授業のために毎回1時間半程度の自宅学習時間が確保できれば、対応可能なレベルです。まずは、授業中ドイツ語の質問に答えてみることから始めましょう。意欲的な学生の参加を期待しています。

成績評価方法:

平常点(40%程度)と、各学期末試験(60%程度)をもとに総合的に判断します。最も重要な評価基準は、この授業を通して受講生のドイツ語能力がどれほど向上したか、です。なお、以下の場合には成績評価対象外とします。1) 正当な事由のない欠席が全体の3割を超えた場合、2) 授業中の私語やプレゼンテーションの無断欠席などにより、授業の進行が著しく妨げられた場合、3) そのほか、他の受講生に著しく不利益を生じさせる行為があった場合。

テキスト(教科書):

初回の授業で指示します。

参考書:

授業中に適宜指示します。

ドイツ語ⅩIa 1単位(春学期)

ドイツ語ⅩIb 1単位(秋学期)

ドイツの名作を簡単なドイツ語で読む

春学期・秋学期: 水3

セット履修

山本 賀代

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、これまでに学んだドイツ語文法・語彙・表現を確認しながら、中級レベルのドイツ語テキストを精読する読解力の養成・向上を目指します。教材は、A2~B1レベルで書き下ろされたドイツ文学作品から数編、受講生と相談しながら選ぶ予定です。毎回の授業では、講読と並行して文法の復習や総合的なドイツ語力の訓練の時間も設けます。

成績評価方法:

平常点(出席・授業への参加度・発表内容)、各学期末テスト、一斉試験により総合的に評価します。

テキスト(教科書):

プリント配布

参考書:

授業内で適宜、紹介します。

ドイツ語ⅩIa 1単位(春学期)

ドイツ語ⅩIb 1単位(秋学期)

ドイツの今を知るためのドイツ語

春学期・秋学期: 水5

セット履修

米山 かおる

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

現代ドイツを理解するための様々なテーマに関するドイツ語のテキストや文献、新聞記事等を読み、ドイツに関する知識をつけながら、必要なドイツ語の復習や補足をし、ステップアップを目指す。また、日本との比較を通して、自分の考えをドイツ語で発言することのできるドイツ語力をつける。

成績評価方法:

平常点(出席・授業への参加度)、授業内試験

テキスト(教科書):

『知りたいドイツ語～読みながらステップアップ～』 斎藤太郎/Siegfried Kohlhammer著 2018年 ISBN: 978-4-255-25403-6

その他、授業でプリントを配布

外国語Ⅱ（選択必修）フランス語

フランス語Ⅳa 1単位(春学期)

フランス語Ⅳb 1単位(秋学期)

フランス語で読む美術史
春学期・秋学期：月4

セット履修

石井 珠江

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では語彙や表現を増やすことによって、1年生で学んだフランス語の知識を実用的な力に変えることを目指します。扱うテキストはフランスの児童向けの美術史の本です。平易なフランス語の文章を読みながら、美術史のおおまかな流れを学びます。とりわけヨーロッパからの視点による美術史となっていますので、美術史の学習を通してヨーロッパ人の一般的な歴史観を学ぶことにもなるでしょう。なお総合的なフランス語力を養うため、中級の文法演習も併せて行います。

成績評価方法:

平常点(授業参加度)および期末テスト等の授業内テストの得点を総合して評価する。

テキスト(教科書):

『L'histoire de l'art racontée aux enfants』 La Librairie des Écoles ISBN: 978-2-916788-63-0

その他、プリント配布

フランス語Ⅳa 1単位(春学期)

フランス語Ⅳb 1単位(秋学期)

日本文化をフランス語で学ぶ・伝える
春学期・秋学期：水4

セット履修

岡田 尚文

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

フランス語圏に旅したとき、あるいはフランス語を母語とする人々と会話を交わすとき、「日本の文化」について質問されて答えに窮することがよくある。私たちは日本に生活しているが、自分たちを取り囲んでいる文化についてあまりよく知らないのではないだろうか。それをフランス語で説明しろといわれたらなおさら難しい。よってこの授業では(外国語を通じて外国文化を学ぶ一般的な語学のスタイルとは少し趣向を変えて)日本の最新事情・伝統文化、そして日仏間の文化交流について書かれた平易なフランス語のテキスト(『CHOSSES QUI FONT BATTRE LE CŒUR』)を——時には批判的に——読んでみよう。それを通じて、基礎的なフランス語文法・表現を習得するのはもちろんのこと、日本文化を「外」に向かって発信するための知識・教養をも身につけたい。

成績評価方法:

平常点(出席状況および授業態度による評価)と授業内試験(あるいはレポート)の結果による評価

テキスト(教科書):

芳野まい他著『CHOSSES QUI FONT BATTRE LE CŒUR (心ときめきするもの)』初版 弘学社 2013年 ISBN:978-4-902964-83-7

フランス語Ⅳa 1単位(春学期)

フランス語Ⅳb 1単位(秋学期)

フランス語でコミュニケーション
春学期・秋学期：月1

セット履修

クレメール 小椋, アレクサンドラ J.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業の目的はコミュニケーション能力を伸ばすことです。特に、話す・聞くに焦点をあわせて向上させます。教科書のアクティビティで聞き取りと口頭練習ができます。また、新しい文型と語彙もたくさん学ぶことができます。小グループでフランス語を練習することとは、言語能力にさらに自信を持つことに役立ちます。もちろん、文法も学びます。また、教科書の中に書く・読むのアクティビティも、たくさんあります。

成績評価方法:

授業中の参加、会話テスト、期末試験

テキスト(教科書):

SUDRE, Florence Yoko. SENGES, Sylvie Keiko. KATO, Toyoko. NAKAGAWA, Takayuki. YANAGISHIMA, Shu. (2020). Café Français 2. ed. Asahi. ISBN : 978-4-255-35310-4

フランス語Ⅳa 1単位(春学期)

フランス語Ⅳb 1単位(秋学期)

読解ことはじめ —フランスとフランス語圏文化—
春学期・秋学期：木2

セット履修

正田 靖子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

日本でも、カリブ、アフリカ、マグレブ出身の小説家の作品が翻訳されることにより、フランス以外のフランス語圏の国々への関心も徐々に芽生えつつあります。ヨーロッパの十字路と呼ばれ、4つの国語をもつスイスのフランス語圏(スイス・ロマンドという)、そしてフランスの旧植民地であると同時にアメリカ大陸に位置するという特殊な事情をもつカナダのフランス語圏(おもにケベック州)のミュージカル・映画のシナリオ・絵本・小説などを翻訳しながら、想像力をフルに働かせた読解力を身につけるとともに、フランス並びにフランス語圏の国々への理解を深めるのがこの授業の目的です。

毎回、授業を2つのパートに分けて行います。授業前半は、基本的な文法事項を確認しながら、ピエール・グリパリの短編を読むことにより、読解のコツをつかんでいきます。朗読の練習も行う予定です。授業後半は、ミュージカルの歌詞翻訳からはじめて、最後は冒険小説やミステリーまでと、さまざまなジャンルのフランス語に取り組み、読解力強化を目指します。

成績評価方法:

授業への参加の度合い、予習状況、学期末試験を総合して、評価します。

テキスト(教科書):

『魔女さん、おしりに気をつけて』ピエール・グリパリ著 第三書房 2010年 ISBN:978-4-8086-2612-9 C1085

参考書:

「スイス・ロマンド文学入門」『ふらんす』正田靖子著 白水社 2013年10月号～2014年3月号

「日本・スイス国交樹立150周年」『ふらんす』森田安一・加太宏邦・正田靖子著 白水社 2014年6月号特集

『憂い顔の『星の王子さま』—続出誤訳のケーススタディと翻訳者のメチュー—加藤晴久著 書肆心水 2007年 ISBN : 978-4-902854-30-5 C0085

中級以上の仏和辞典

フランス語Ⅳa 1単位(春学期)

フランス語Ⅳb 1単位(秋学期)

フランス社会を概観する
春学期・秋学期：木5

セット履修

芹川 青甫

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

1年生で学習した内容を踏まえて、フランスの社会や文化を概説したフランス語のテキストを読んでいきます。テキストを通して多様な面からフランスという国を知り、言語とともに社会や文化への理解を深めていってもらえればと思います。

テキストを読みながら必要と思われる箇所では適宜1年次の内容を振りかえり、別途課題に取り組んでもらったり、小テストなどもおこなっていく予定です。

授業に際しては事前の予習を心がけ、必ず辞書を持参してください。

成績評価方法:

年2回の定期試験。出席状況、授業への参加度、授業内での小テスト等もあわせて重視する。

テキスト(教科書):

ジャン＝リュック・アズラ他著 『ラ・ソシエテ・フランセーズ』アルマ出版 2008年 ISBN:978-4-904147-00-9

参考書:

1年生で使用した教科書および辞書。

フランス語Ⅳa 1単位(春学期)

フランス語Ⅳb 1単位(秋学期)

フランス語で書く
春学期・秋学期：金4

セット履修

中川 真知子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、フランス語を1年間勉強してきた学生を対象に、文章を書く練習をします。春学期の目標は、身近な事柄について書けるようになること、秋学期の目標は、予約を確認したり、人を招待するメールが書けるようになることで、一年を通じて、最終的には、CECR/CEFR A1 レベルの作文力を身につけるのが目標です。

そのために授業では、テーマにそって文章をつくります。まず教科書の項目を利用し、それぞれのテーマについて必要な語彙と表現とを発見し、増やします。必要に応じて文法事項を確認し、正確に書けるように練習を行ないます。そのうえでモデルとなる文章を分析し、それをお手本にしなが、自分で文章を作っていきます。またペアでの練習や、グループワークも行なう予定です。

成績評価方法:

期末試験および平常点(出席・小テスト・課題)による評価
授業内で小テストあるいは自由作文が課されます。

テキスト(教科書):

『エントル・レ・リニューリーヴル1』シルヴァン・アダミほか著
アシェット・ジャポン 2016年 ISBN 978-4-907970-06-2

参考書:

授業中に紹介します。

フランス語Ⅳa 1単位(春学期)

フランス語Ⅳb 1単位(秋学期)

フランス語ライティング
春学期・秋学期：木5

セット履修

西脇 沙織

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

フランス語を1年程度学んだ人を対象にした、文章表現力を養うための授業です。初級文法を復習し、語彙を増やしなが、身近な話題についてフランス語で書く練習をします。

成績評価方法:

各学期の期末試験と平常点によります。

テキスト(教科書):

『ブリュム・ア・ラ・マン! 新フランス語作文』第1版 足立和彦
ほか著 駿河台出版社 2011年 ISBN: 978-4-411-01168-8 C1085

参考書:

『現代フランス広文典』目黒士門著 白水社

『1からはじめるフランス語作文』山田博志ほか著 白水社

『言いたいことが言える 書きたいことが書ける フランス語の作文』

藤田裕二ほか著 三修社

『ディコ仏和辞典』白水社

『クラウン仏和辞典』三省堂

『プチ・ロワイヤル仏和辞典』旺文社

『プログレッシブ仏和辞典』小学館

『ロワイヤル仏和中辞典』旺文社

『プチ・ロワイヤル和仏辞典』旺文社

フランス語Ⅳa 1単位(春学期)

フランス語Ⅳb 1単位(秋学期)

フランス語会話
春学期・秋学期：金5

セット履修

バジェス, クリストフ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業は、フランス語の初級を終えた学生を対象とするクラスです。「読む、書く」だけでなく、「聞く、話す(発音)」を含めた基本的なフランス語のコミュニケーション能力をバランスよく習得します。フランスの日常生活において想定される様々なテーマを用いなが、基本的な会話文を応用することによって、自分の考えを発信することができる表現力を身につけることを目標としています。

成績評価方法:

授業への出席及び参加態度、授業中の小テストによる評価。

テキスト(教科書):

Conversation et Grammaire (出版社: ALMA France-Japan Editeur)

ISBN: 978-4-9901072-9-1

参考書:

特になし

フランス語Ⅳa 1単位(春学期)

フランス語Ⅳb 1単位(秋学期)

20世紀フランスの小説を読む
春学期・秋学期：水3

セット履修

林田 愛

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

このクラスでは20世紀仏文学史上代表的な小説家であるアンドレ・ジイドとマルセル・ブルーストの作品をテキストとして、初級フランス語で学んだ文法の復習をはじめ、読解力の向上ならびに熟語やフランス語独特の表現を身につけることを目指します。ジイドは『狭き門』と『田園交響楽』、ブルーストは『失われた時を求めて』の第一編『スワン家のほうへ』と第二編『花咲く乙女たちのかげに』を特に選びました。教室では原書からの抜粋文に対応する翻訳を併せて配布し、教員が板書にて仏語長文の構造について詳しい説明を行います。丹念な文法的解釈が中心となるだけではなく、テキストから学んだ表現や熟語を応用した作文にも挑戦してもらうため、受講者には授業参加のための予習が必須となります。フランス語を学ぶだけではなく、名作を原文で読む豊かさを味わってください。

成績評価方法:

出席・平常点・試験

テキスト(教科書):

配布資料のみ

フランス語Ⅳa 1単位(春学期)

フランス語Ⅳb 1単位(秋学期)

フランスの現代史を扱った文章を読む
春学期・秋学期：月4

セット履修

原田 操

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

第二次世界大戦時に対独レジスタンス活動に参加したリュシー・オブラック(Lucie AUBRAC)の回想録を読みます。テキストとする文章は孫たちの質問にオブラックが答えるインタビュー形式で書かれており、大戦時のフランスの様子が具体的に描かれています。口語的な要素の混じった読みやすい文章です。

春学期は重要な文法事項の補足・見直しを行います。これと並行して、比較的短い文章を数編読んでウォーミングアップしてから、上記のテキストに取り組みます。秋学期はオブラックのテキスト読解を中心に進めます。

授業は主に日本語で行い、読解が中心となりますが、書き取りや、口語表現などの要素も補足的に取り入れたいと思います。

随時文法事項の補足説明を交えながら丁寧に読むことを優先し、ペースは受講クラスのレベルに応じて調整します。

成績評価方法:

授業内試験と平常点により総合的に評価します。

テキスト(教科書):

LUCIE AUBRAC, *LA RESISTANCE EXPLIQUEE A MES PETITS-ENFANTS*, SEUIL.

参考書:

既に使用した文法教科書、仏和辞書。

フランス語Ⅳa 1単位(春学期)

フランス語Ⅳb 1単位(秋学期)

口頭表現演習
春学期・秋学期：火2

セット履修

ベルテ, デイディエ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

フランス語を楽しみなが話しましょう。各回日常会話を通して学びます。スピーチ・アクトや様々な単語を操りなが、効果的な方法でコミュニケーション・スキルを上げます。コミュニケーションを通して、文化的なことも学びます。フランス文化に関するエンターテイメントの性格を持ったアクティビティ(映画、音楽、流行など)を扱うこともあります。

このクラスのために用意した教材を使用します。コースの内容はDELFA2や仏検3級を目指す学習レベルに相当します。

この授業の主要目的は、自分自身に関わることについて話しながら、フランス語の力を伸ばしていくことです。

成績評価方法:

学年末試験および小テストの結果、グループワークにおける貢献度を総合的に判断して評価します。7割以上の出席を必須とします。

テキスト(教科書):

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

フランス語IVa 1単位(春学期)

フランス語IVb 1単位(秋学期)

Cours de conversation (フランス語会話)

春学期・秋学期: 火3

セット履修

前島 アンヌ・マリ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Ce cours de conversation est basé sur la grammaire acquise en première année. L'accent sera mis sur la conversation à partir des exercices de grammaire proposés par le manuel.

La présence et la participation active au cours sont impératives.

Tout le cours se déroulera en français.

1年生で勉強した文法の知識に基づいて会話をします。フランス語で話すには構文を理解してフランス語のしくみを知ることが何よりも重要です。授業では会話と構文の理解の両方に力点を置きます。

授業は全てフランス語で行います。

成績評価方法:

Le contrôle des connaissances comme la présence et la participation aux cours compteront dans la note finale.

テキスト(教科書):

Ohki, Mitsuru, Azra, Jean-Luc, Vannieuwenhuyse, Bruno, Conversation et grammaire, Alma Editeur, ISBN4-9901072-9-2

フランス語IVa 1単位(春学期)

フランス語IVb 1単位(秋学期)

フランス語でニュースを読む

春学期・秋学期: (月4)(水4)

セット履修

前島 和也

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

平易なフランス語で書かれたフランス、日本をはじめとする世界のニュースを読んで行きます。

内容は文脈を追えば分かる程度のもので、単にフランス語を日本語に移すだけではなく、意味をよく考えて読むことを心掛けましょう。

予習は必ずして、辞書を準備して下さい。

また各テキストを終了後、本文を参考に簡単なフランス語作文の練習をします。

成績評価方法:

平常点と期末試験。

テキスト(教科書):

井上美徳他著『アンフォVol.4 駿河台出版社』(予定。変更する場合があります)。

参考書:

1年生で使用した教科書で構いませんが、辞書は毎回持って来て下さい。

フランス語IVa 1単位(春学期)

フランス語IVb 1単位(秋学期)

フランス語会話の基礎

春学期・秋学期: 月2

セット履修

ルボワ, ジェローム

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

フランス語会話に必要な基礎知識と日常生活の様々な場面に対応できる自然なフランス語を習得します。担当教員や他の学生と会話をするを通して、フランス語によるオーラルコミュニケーションの基礎の習得を目指します。

毎週おこなうコミュニケーション練習を通じ、自然なフランス語表現を聞き取り、実際に発話する力を培います。会話において基礎文法・基本表現等を応用できる思考力を養うとともに、言語の背景

となっているフランス文化に関する幅広く豊かな知識を身につけます。

成績評価方法:

授業への積極的な参加の有無、小テスト、及び春学期・秋学期各一回ずつの期末試験を総合して、評価を行います。

テキスト(教科書):

授業中に配布するプリント。

フランス語XIa 1単位(春学期)

フランス語XIb 1単位(秋学期)

仏語作文表現法

春学期・秋学期: 月4

セット履修

ガボリオ, マリ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、自分の意見、経験等を、直接フランス語の文章で表現できるようになることを目標とします。特に文法面の補強と基本的な文章の書き方を習得しながら書く能力の養成に力を入れます。書くことで文章を組み立てる練習をしておけば、話すことも楽になるはずですよ。

春学期は、まず単語の選び方、修飾語の使い方等を通じて短文の構成を、続いて長文の書き方、文と文の関係を示す語彙を学びます。また色々なテーマについて制限時間内に出来るだけたくさん書く力を身につけます。

秋学期はエッセー集をフランス語で作成する予定です。また日本人にとってフランス語で表現しにくい内容を中心とした文章を仏訳する練習や、手紙・メールなど応用・実践的な文書の書き方の練習を通して、フランス語を「書く」能力の向上を目指します。また毎週、日記(日常生活の描写等)をフランス語で書いてもらう予定です。個人的に細かい指導を行いたいと思います。

成績評価方法:

定期的に小テストを行い、平常点と出席状況、授業への取り組み方等を含めて総合的に評価を行います。

テキスト(教科書):

プリントを配布します。

参考書:

必要に応じて指示します。

フランス語XIa 1単位(春学期)

フランス語XIb 1単位(秋学期)

ジャンル横断フランス語読解 ―フランスとフランス語圏文化―
春学期・秋学期: 木3

セット履修

正田 靖子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

日本でも、カリブ、アフリカ、マダガスカル出身の小説家の作品が翻訳されることにより、フランス以外のフランス語圏の国々への関心も徐々に芽生えつつあります。ヨーロッパの十字路と呼ばれ、4つの国語をもつスイスのフランス語圏(スイス・ロマンドという)、そしてフランスの旧植民地であると同時にアメリカ大陸に位置するという特殊な事情をもつカナダのフランス語圏(おもにケベック州)のミュージカルやバンド・デシネ、映画のシナリオやユーモア小説などを翻訳しながら、想像力をフルに働かせた読解力を身につけるとともに、フランス並びにフランス語圏の国々への理解を深めるのがこの授業の目的です。

毎回、授業を2つのパートに分けて行います。授業前半は、ピエール・グリパリの短編を読みながら、時制や冠詞などフランス語のしくみをつかみます。授業後半は、ミュージカルの歌詞翻訳からはじめて、最後は文学の深い理解までと、さまざまなジャンルのフランス語に取り組み、読解力を強化していきます。

成績評価方法:

授業への参加の度合い、予習状況、学期末試験を総合して、評価します。

テキスト(教科書):

『魔女さん、おしりに気をつけて』ピエール・グリパリ著 第三書房 2010年 ISBN:978-4-8086-2612-9 C1085

参考書:

「スイス・ロマンド文学入門」『ふらんす』正田靖子著 白水社 2013年10月号～2014年3月号
 「日本・スイス国交樹立150周年」『ふらんす』森田安一・加太宏邦・正田靖子著 白水社 2014年6月号特集
 『憂い顔の『星の王子さま』—続出訳のケーススタディと翻訳者のメチエ—加藤晴久著 書肆心水 2007年 ISBN: 978-4-902854-30-5 C0085
 中級以上の仏和辞典
 仏和辞典

フランス語Ⅹ I a 1 単位(春学期)**フランス語Ⅹ I b 1 単位(秋学期)**

口語表現法

春学期・秋学期: 水3

セット履修

ノエル・中尾, パトリシア

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業は、フランス語能力の向上を真剣に目指す学生を対象にしています。目的はフランス語の総合的な運用能力の向上です。数多くのリスニング、リーディング、ライティングの学習を通じ、新しい言葉や自然な表現、フランスという国とその文化とをよりよく理解する機会を提供します。ステップバイステップで教科書のレッスンを進めていきます。グループレッスンでこのコースを最大限に活用していきましょう！今年も共にフランス語を学び、フランスとその文化、そしてさらに多くのことを発見していきましょう！今年使う教科書は『Café Français 2』です。

成績評価方法:

授業への積極的な参加の有無、共通テスト等、及び春学期・秋学期各一回ずつの試験を総合して、評価を行います。

テキスト(教科書):

「Café Français 2」(Editions Asahi) 2020年 ISBN: 978-4-255-35310-4 C 1085

フランス語Ⅹ I a 1 単位(春学期)**フランス語Ⅹ I b 1 単位(秋学期)**

さまざまな文章を書いてみる、考えや意見を表明する

春学期・秋学期: 月5

セット履修

原田 操

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

フランス語を学んだからには、文字によるコミュニケーションにも慣れたいものです。この授業では、「書く」能力を養うため、①文章表現という観点から既知の文法項目を整理・補足する、②日本語で発想しフランス語に移す「和文仏訳」でなく、直接フランス語で考え文を書く訓練をする、という目的を設定します。

モデルとなるフランス語文の分析から始め、これをベースにしてオリジナルな文章の作成に至るといった段階を踏みます。

春学期は様々な日常の文章を実際に書いてみることで、フランス語のロジックに慣れることを目指します。使用する教科書は、モデルとなるフランス語文の分析・模倣から始め、段階を踏んで無理なくオリジナルな文章の作成に至るように考えられています。秋学期は文章を書く練習が中心になります。特に自分の考えや意見を論理的・説得的に伝えることを学び、春学期より長い文章を組み立てることに挑戦します。

授業は主に日本語で行います。テキストや授業のペース等は実際の受講クラスのレベル等に応じて変更・調整する可能性があります。

成績評価方法:

授業内試験と提出物を含む平常点により総合的に評価します。

テキスト(教科書):

(春学期) 塩谷真由美、Louise GONTHIER 著『アラリーニュ』(駿河台出版社)

秋学期の教材は授業内で連絡します。

参考書:

既に使用した文法教科書、仏和辞書。

外国語Ⅱ（選択必修）中国語

中国語Ⅳa 1単位(春学期)

中国語Ⅳb 1単位(秋学期)

講読

春学期・秋学期：金4

セット履修

池田 麻希子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

大学1年時に学んだ中国語初級文法の知識を基礎として、受講者が更に高度な中国語を身につけることが、この授業の目標です。

身近な話題に基づいた日記風の文章を読み、テキストの練習問題を解くことを通じて、中国語の語彙や文法知識のレベルをバランスよく中級レベルまで伸ばし、中国語の読解・作文能力、また実践的なコミュニケーション能力を養っていきます。その過程で、必要に応じて初級文法の復習を行い、また、受講者の音声能力の向上のため、聴き取りや暗誦も行う予定です。

各課は課文・文法ポイント・練習問題から成ります。毎回、音読と訳を指名するので、CDを聴き、辞書を引いてしっかり予習してから授業に臨んで下さい。

成績評価方法:

学期末試験、および平常点（小テスト等）による総合評価。

出席回数が授業回数の3分の2に及ばなかった者は、成績評価の対象としません（遅刻2回で欠席1回とします）。

小テスト（書き取りや暗誦を予定）と期末試験の出題形式の詳細は講義中に説明します。

テキスト(教科書):

『2冊目の中国語《講読クラス》』 劉穎他著 白水社 2012年 ISBN978-4-560-06927-1

参考書:

授業時に適宜紹介します。

中国語Ⅳa 1単位(春学期)

中国語Ⅳb 1単位(秋学期)

文章表現(作文)

春学期・秋学期：火3

セット履修

江田 いづみ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では中国語の基礎を確実に身につけることを目指します。

第一のポイントは標準的発音をマスターすること。音読を繰り返して発音の定着を図ります。

第二に重視するのは基本文型の把握です。初級で学んだ文型を復習・整理しましょう。

使用するテキストは、現代中国の日常風景が伺えるような文章が中心となっています。毎回の授業は、基本的にはテキストの音読と翻訳、文法説明、練習問題などが中心となりますが、折に触れて中国人の考え方や日本との生活習慣の相違等にも言及したいと思います。リスニングと文法の復習を中心とする練習問題は、毎回、配布したプリントに回答を記入して提出して頂きます。発音も評価の対象となりますので、テキスト付録のCDは繰り返し聞いて耳を慣らしておくことをお勧めします。

成績評価方法:

成績は、半期に2回ずつの筆記試験と、リーディングによる発音チェック、統一単語テストの合計点に、出席状況等の平常点を加味して評価します。

テキスト(教科書):

『大学生のための現代中国12話・4』 黄漢青、杉野元子著（白帝社）

中国語Ⅳa 1単位(春学期)

中国語Ⅳb 1単位(秋学期)

中国語会話

春学期・秋学期：水5

セット履修

王 俊文

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

1年生の時初級文法を習得した学生を対象とした中級クラスです。受講生のレベルを実際に考慮しながら授業を進めたいと思います。基本的コンセプトは以下の通りです。

会話の学習に重点を置き、日常的会話の能力を身につけることを目指します。まず、発音の練習を重視します。文法の説明はなるべく簡潔にして、例文もリスニングの形で提示します。一年目に習得した単語や文法を確認しながら、基本文・テキストの暗誦・リスニングの練習・中国語を使う簡単な応答・会話の作成及び披露などで授業を進めたいと思います。また、中国語で発表する場を設け、クラス全体に渡る交流も期待します。中国映画の鑑賞及びその内容についての討論も取り入れようと考えています。そして、中国事情・中国文化の紹介も適宜行います。

一年間の授業を通じて、伝わる中国語の発音を身に付け、中国語で自分の言いたいことをある程度伝えられる達成感や楽しさを味わって貰えたいと思います。

成績評価方法:

定期試験、及び平常点により評価します。

テキスト(教科書):

『実用中国語会話』張明傑著 金星堂 2005年 ISBN4-7647-0657-1 C3087

中国語Ⅳa 1単位(春学期)

中国語Ⅳb 1単位(秋学期)

読解力養成

春学期・秋学期：金3

セット履修

貝塚 典子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

既に学んだ中国語の基本的な文法事項をふまえて、文章を読解する力を身につけることを目的とする。既習の文法事項の振り返りや簡単な作文練習を通して、詳しい文法の知識を増やし、正確な読解ができるよう説明をしていくつもりである。昨今の中国は著しいスピードで変貌をとり、その人々の生活や社会を理解することは、語学の習得を目指す際に必要不可欠である。大学生の生活、飲食文化、住宅事情、中国の伝統音楽、婚礼習俗、中秋節や春節などの伝統行事。様々な中国の現在の局面を記した文章を取り上げて読解していくことにより、中国に対する理解を深めることができるであろう。また、ヒアリング練習も兼ねて、映像資料も使用する予定である。

授業では、テキストの予習、及び『例文で覚える中国語基本単語3000』を使った小テストのための準備を課す。小テストは、秋学期初頭の中国語履修者統一テストの準備も兼ねて、春学期には少しずつ暗記してくることを課題とする。使用言語は日本語が基本であるが、随時中国語での表現力を鍛錬していく。

成績評価方法:

春学期と秋学期末に筆記試験を行う。欠席が全授業回数の3分の1を超えると単位取得は不可能となるが、遅刻3回は欠席1回に同じとみなす。出席回数、小テスト、中国語履修者統一テスト、毎回の授業への準備状況など、毎回の授業への取り組みを重視して、総合的に成績評価を行う。

テキスト(教科書):

『リアルタッチ中国』 遠藤光暁監修 朝日出版社 2011年1月 ISBN:978-4-255-45200-5 C1087

参考書:

授業内で適宜指示する。

中国語Ⅳa 1単位(春学期)

中国語Ⅳb 1単位(秋学期)

中国語作文

春学期・秋学期：金2

セット履修

許 家晟

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

主に文書作成を中心とする中級中国語の授業です。

教科書(『作文ルール66』)にもとづき、中国語文書のルールと翻訳技法などの学習・練習を行ない、一年間でネイティブに近い短い文書が作れるようになることを目指します。

成績評価方法：

試験： 60% 期末試験

レポート： なし

平常点評価： 40% 出席・授業態度・小テスト・学習意欲などに基づいて、総合的に評価する。

その他： なし

テキスト(教科書)：

『作文ルール66 日中翻訳技法』初版 相原茂著 朝日出版 2018年 ISBN: 978-4-255-45138-1

中国語Ⅳa 1単位(春学期)

中国語Ⅳb 1単位(秋学期)

中級レベルのヒヤリングと会話

春学期・秋学期：金4

セット履修

柴 森

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

家族、勉強、趣味、仕事、交友、恋愛、インターネット、テレビや映画など日常触れる様々な場面、または、現代中国人の生活習慣と社会問題などを話題にする文章や視聴覚教材を用いて、「聞く」「話す」の反復練習を通し、その話題に関する常用表現を覚えていきます。また、習ったことを活かして、自分自身の経験や感想について発表してもらいます。発音と流暢さ及び内容の充実度を重視し、言いたい内容(一定の量、例えば100~150字前後)をはっきり伝えることを目標とします。なお、授業計画に挙げるテーマはあくまでも例示です。

成績評価方法：

平常点(授業に取り組む姿勢、毎回の課題の出来具合)および試験の成績により総合的に評価します。試験の点数が良くても、平常点が悪ければ不合格となる場合がありますので注意してください。

中国語Ⅳa 1単位(春学期)

中国語Ⅳb 1単位(秋学期)

中国語読解

春学期・秋学期：月4

セット履修

材木谷 敦

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

1年次に学んだ事柄を踏まえて、中国語の読解力を高めることを主な目的とする授業です。基本的には、中国語の文章を音読し、日本語訳を確認し、教科書に掲載されている練習問題をできるかぎり処理するといった形で進めます。口頭表現力の向上にも役立つように、音読を重視します。

成績評価方法：

主として各期末の授業内試験の結果に基づき、授業での取り組みの質などを勘案して評価します。

テキスト(教科書)：

吉田泰謙・相原里美・葛婧著『知っておきたい中国事情』(改訂版)白水社刊

ISBN:9784560069370

中国語Ⅳa 1単位(春学期)

中国語Ⅳb 1単位(秋学期)

系統的に学ぶ作文

春学期・秋学期：水4

セット履修

周 媛

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

初級で習った文法事項を系統的に整理しながら、並べ替えや翻訳などの練習を重ねることによって、中国語の組み立て方を学びます。正確な表現能力をつけ、使える中国語に仕上げていくことを目指します。

成績評価方法：

中間テスト、期末テスト及び小テスト、平常点などにより総合的に評価します。

テキスト(教科書)：

『書く中国語』遠藤光暁・董燕 朝日出版社 2007年 ISBN:978-4-255-45143-5

中国語Ⅳa 1単位(春学期)

中国語Ⅳb 1単位(秋学期)

[春]中国語でもっと自由に日常会話をしましょう。

[秋]中国の社会や経済について中国語で話してみよう

春学期・秋学期：水5

セット履修

趙 暉

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：**【授業科目の内容・方法など】**

教科書を用い、初級で学んだ文法などを復習しながら、各課のテーマに沿った語彙・表現を習得した上で、日常会話力を向上させるだけでなく、自分の考えや日本のことなどについて自由に紹介したり説明したりすることを目指す。

【授業科目の目的】

一、中国語で不自由なく買い物や旅行や日常のコミュニケーションを取ることができることを目指す。
二、現在を生きる中国人の日常生活を通して中国の社会や文化について理解を深めることができることを目指す。

成績評価方法：

出席は必要最低条件です。授業態度、平常の課題及び期末試験により総合的に判定します。

テキスト(教科書)：

『知っている?今の中国語~衣食住遊~』著者：山下輝彦・路元(朝日出版社)2200+消費税

ISBN: 978-4-255-45304-0

参考書：

<推奨辞書>(書名五十音順)

○相原茂編集『講談社中日辞典 第二版』(講談社)

○北京・商務印書館、小学館共同編集『中日辞典 第2版』(小学館)

○相原茂、荒川清秀、大川完三郎主編『東方中国語辞典』(東方書店)

○伊地智善継編『白水社中国語辞典』(白水社)

○電子辞書

中国語Ⅳa 1単位(春学期)

中国語Ⅳb 1単位(秋学期)

習ったことばでしゃべってみよう

春学期・秋学期：水2

セット履修

張 コクロ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

これまで習得した中国語能力を運用し、より自然な会話ができる能力を身につけることを目標にする。さらに文字に頼らずにスムーズに行えるようになることも目指す。

この授業ではひとつの話題をめぐっていくつかの場面と文体上のバリエーションを設定して会話練習を行う。会話を進めながらヒアリングを強化し、すばやく反応できるように練習する。

授業における使用言語: 中国語と日本語

成績評価方法:

テスト50%+ 平常点50%

テキスト(教科書):

『しゃべくり中国語 ～場面による中国語会話～』 内田慶市・張鉄欧 KINSEIDO 2018年 ISBN978-4-7647-0689-7 C1087

中国語Ⅳa 1単位(春学期)

中国語Ⅳb 1単位(秋学期)

<読解>最新の中国の世相を読む

春学期・秋学期: 水4

セット履修

土屋 肇枝

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

元新華社の記者による最新の中国世相を反映した文章を読んでいきます。

社会変化の速さ激しさに伴い、次々と新しい表現や新語が生まれ文章も玉石混交ですが、優れた中国語というものをこの文章から味わってください。

読解と並行し、長文の分析力をつけるために文法を体系的に確認していきます。

関連資料や映像等も随時紹介する予定です。

長文を丹念に読むことで文章語によく使われる表現パターンや文型を掴み、長文でも正確に分析し訳すことのできる読解力・語彙力をつけるのが目標です。

受講生は授業のまえに、課文音読の練習と訳文の準備を欠かさなようにしましょう。

成績評価方法:

春学期と秋学期にそれぞれ筆記試験と音読チェックを実施します。

成績は試験と平常点(授業態度・授業内小テストなど)で評価します。

テキスト(教科書):

『知っている今の中国～ダイジェスト版～』 山下輝彦・路元著 朝日出版社 ISBN978-4-255-45319-4

参考書:

『やさしくくわしい中国語文法の基礎』 守屋宏則 東方書店

『whyにこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂ほか 同学生

中国語Ⅳa 1単位(春学期)

中国語Ⅳb 1単位(秋学期)

<文法・作文>中国語表現の骨格をつかもう

春学期・秋学期: 水5

セット履修

土屋 肇枝

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では中国語の基礎文法の正確な理解と定着、さらにそれを使って表現する力を培うことが目標です。

中国語の体系をつかむために、まず一年次に学習した文法を、項目別にまとめて復習・練習・発展・確認していきます。それにより表現の核となる文型の構造を把握し、中国語の表現の特徴を理解し、書く力の定着とレベルアップを図ります。

授業ではプリントを用い文法問題練習・作文を中心に進めていきますが、随時、関連資料や映像等も積極的に紹介する予定です。

成績評価方法:

春学期と秋学期それぞれ筆記試験を実施します。

成績は学期末の試験と平常点(授業態度・小テスト・提出物など)で評価します。

テキスト(教科書):

プリント(初回授業時に配布)

参考書:

中日辞典: デイリーコンサイズ中日・日中辞典 三省堂

中日辞典 小学館

中日辞典 講談社

クラウン中日辞典 三省堂

中国語電子辞書: 各種

中国語Ⅳa 1単位(春学期)

中国語Ⅳb 1単位(秋学期)

中国語中級(作文)

春学期・秋学期: 木4

セット履修

波多野 眞矢

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、初級中国語を一通り学習した学生を対象に、基本的かつ重要な文法表現を習得して特徴をつかみ、繰り返し練習することによって、作文力を養成していきます。

中国語での表現を確かなものとするには、語順と語義を把握することが重要です。各課ごとに選ばれた「学園祭」や「就活」など、テーマに関連する表現を学び、「比較文」「連動文」「補語」「把構文」などの構造のルールを習得し、更に語句の取り合わせや使い分けなどの詳細を学ぶことにより、様々な表現に広げてゆく力をつけます。

成績評価方法:

授業態度・出席・練習問題・課題作文などの平常点(60%)と試験(40%)を総合的に評価し、成績を決定します。

テキスト(教科書):

『中国語作文のコツ』 本間史・張明傑著 金星堂 2018年 ISBN: 978-4-7647-0705-4 C1087

参考書:

授業時に指示します。

中国語Ⅳa 1単位(春学期)

中国語Ⅳb 1単位(秋学期)

自分のことを中国語で伝えよう。

春学期・秋学期: 火4

セット履修

水野 善寛

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

入門が一通り終わった段階の学習者を対象とする読解を中心とした中国語の授業である。

「自分のことを中国語で言える」をテーマに「SNS」「旅行」「東京の案内」「日本の文化」など身近な内容をテーマにした中国語に触れる。また授業テーマに関連した映像を視聴することもある。

この授業を通じて読む・聞く・書く・話すの4技能を中心に習得し、最終的に中国語検定試験3級が合格できるレベルを目指す。

成績評価方法:

定期試験、及び平常点により評価する。

テキスト(教科書):

『2年めの伝える中国語 自分のこと日本のこと』 及川淳子著 白水社 2019年 ISBN: 978-4-560-06939-4 C3887

中国語Ⅳa 1単位(春学期)

中国語Ⅳb 1単位(秋学期)

作文中心

春学期・秋学期: 金2

セット履修

表野 和江

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

初級中国語で学んだ発音・文法を確認しながら、さらに語彙を増やして中級レベルの文法を学び、作文・読解力の向上を目指します。

成績評価方法:

出席状況、授業態度、授業内試験による総合評価。

テキスト(教科書):

『大学生のための現代中国 1 2話 3』 黄漢青・杉野元子著 白帝社 2012年 ISBN:978-4-86398-111-9 C3887

中国語Ⅳa 1単位(春学期)

中国語Ⅳb 1単位(秋学期)

中国語中級一読解を中心に

春学期・秋学期: 金2

セット履修

溝部 良恵

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

読解を中心としたテキストを読みながら、一年次に学習した文法事項の復習をしつつ、新たな文法事項、語彙を学び、最後にそれらを用いて練習を行い、内容の定着を目指します。読解の文章のほかに、読解の内容に基づいた会話文にも触れることで、発音の練習も重視します。教材では、中国の社会、学校生活や伝統文化などの話題が

取り上げられています。こうした内容を通じ、中国の社会や文化について広く学び、理解を深めることも目標とします。

成績評価方法:

各学期一回の試験、小テスト及び平常点などにより総合的に評価します。

テキスト(教科書):

『ビジュアル中国語一初級から中級へー』遠藤光暁監修・衛裕群・汪曉京著 朝日出版社 2014年 ISBN:978-4-255-45248-7 C1087

参考書:

教室で適宜紹介します。

中国語Ⅳa 1単位(春学期)

中国語Ⅳb 1単位(秋学期)

中国語版『星の王子さま』を読む

春学期・秋学期: 水1

セット履修

村越 貴代美

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

『星の王子さま』は、原書はフランス語で、日本語版もありますし、有名なお話なので知っている人も多いでしょう。中国語版は何種類か出ていますが、300万部以上のベストセラーとなり、音声もある、李継宏訳で読んでいきます。

子ども向けに書かれたお話(でも大人も大好き)ですが、外国語として読むと、知らない言葉もたくさんあり、語彙や言い回しを増やすのによい教材だと思います。ピンインをつけたプリントを配布しますので、ざっと内容を把握し、応用のきく言い回しは作文で練習したり、暗誦したり、してみたいと思います。

成績評価方法:

授業での発表と試験による。

テキスト(教科書):

プリントを配布する。

中国語Ⅳa 1単位(春学期)

中国語Ⅳb 1単位(秋学期)

一年間の中国語学習を通して身につけた初級表現を前提として、一歩進んだ中級レベルの中国語を学ぶ。会話力のアップが期待される。

春学期・秋学期: 月4

セット履修

楊 晶

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

大学で一年以上中国語を学習した経験を持つ学生を対象とする講義である。一歩進んだ中級レベルの文法や語彙を用いた会話文を用いて、自身の発信力を鍛え、様々なシチュエーションに対応できる中国語力を養成する。また、「会話のコツ」を通して、日本語と中国語の間に存在する、言語習慣の違いを理解し、中国語ネイティブとの円滑なコミュニケーションの取り方を身につける。

成績評価方法:

定期試験及び平常点により評価する。

テキスト(教科書):

『中国語会話のコツ』宮本大輔/温琳著 金星堂

ISBN978-4-7647-0715-3 c1087

中国語Ⅳa 1単位(春学期)

中国語Ⅳb 1単位(秋学期)

聴く・話す中国語

春学期・秋学期: 木3

セット履修

劉 雅新

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

初級で学んだ中国語の基本知識をさらに実践し、聴く力を身に付け、会話の応対力を高めることを目標とする授業です。

趣味や夢、友達付き合いや学業に励む等、学生生活の数々の場面を通して、中国語の表現力だけでなく、中国文化と社会を理解することもできます。授業の中の学習に止まらず、いつでもどこでもだれとも話せる楽しいコミュニケーションの手段に活かすことを目指します。

・発音は「中国語の命」。スピードを追わず、声調を大事にゆっくりと丁寧に発音しましょう。

・初級で学んだ基本語彙・文法を復習しつつ、さらに高いレベルへのチャレンジを心がけましょう。

・ペアワークで特定の話題について積極的に問いかけ、中国語で話す習慣を身に付けましょう。

成績評価方法:

学期末試験及び平常点(各回小テスト、課題提出、出席等)による総合評価

テキスト(教科書):

『大学生のための中級中国語20回』杉野元子・黄漢青 白帝社 ISBN978-4-86398-369-4

・その他の付属資料(検定問題、プリント等)(講師が用意する)

参考書:

授業内容に基づき、授業で適宜紹介します。

中国語Ⅳa 1単位(春学期)

中国語Ⅳb 1単位(秋学期)

基本文法をふまえて、言いたいことを自然な中国語で伝えられるようにする。

春学期・秋学期: 木4

セット履修

鷺巣 益美

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

・実用的な中国語の基礎を学びます。会話文や例文で基本文法や中国語独特の言い回しを覚え、日常会話程度の文を中国語に翻訳できるようにします。最終的には中国語検定3級程度の力をつけることが目標です。

・毎回単語テスト(20題程度)を実施します。

成績評価方法:

1. 前期と後期、それぞれ5回欠席した者は不合格とする。遅刻を三回したら欠席一回に換算する。出席をクリアした者を評価の対象とする。

2. 基本的に次の割合で成績評価をする。

定期試験70%、単語テスト20%、統一試験(10月に実施)10%

テキスト(教科書):

『会話時間』王京蒂・山田知佳恵著 白帝社

ISBN978-4-86398-107-2

参考書:

『中日辞典』小学館

『中日辞典』講談社

『中日大辞典』大修館

中国語ⅤI a 1単位(春学期)

中国語ⅤI b 1単位(秋学期)

講読

春学期・秋学期: 金5

セット履修

池田 麻希子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

中国語の初級～中級文法を一通り終えた方々を対象に、中上級読解力を身につけていくことが、この授業の目標です。

現代中国の社会・生活・文化等を紹介する文を読み、テキストの練習問題を解くことを通じて、中国語の語彙や文法知識のレベルを更に伸ばし、ある程度の長さの文章の読解力を養っていきます。その過程で、必要に応じて初級・中級文法の復習を行い、また、受講者の音声能力の向上のため、聴き取りや暗誦も行う予定です。

各課は課文・文法ポイント・練習問題から成ります。毎回、音読と訳を指名するので、CDを聴き、辞書を引いてしっかり予習してから授業に臨んで下さい。

成績評価方法:

学期末試験、および平常点(小テスト等)による総合評価。

出席回数が授業回数(3分の2)に及ばなかった者は、成績評価の対象としません(遅刻2回で欠席1回とします)。

小テスト(書き取りや暗誦を予定)と期末試験の出題形式の詳細は講義中に説明します。

テキスト(教科書):

『知ってる?今の中国～衣食住遊～』山下輝彦・路元著 朝日出版社 2018年 ISBN978-4-255-45304-0

参考書:

授業時に適宜紹介します。

中国語ⅩIa 1単位(春学期)

中国語ⅩIb 1単位(秋学期)

中国語会話

春学期・秋学期：水4

セット履修

王 俊文

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

1年生の時初級文法を習得した学生を対象とした中級クラスです。受講生のレベルを実際に考慮しながら授業を進めたいと思います。基本的コンセプトは以下の通りです。

会話の学習に重点に置き、日常的会話の能力を身に付けることを目指します。まず、発音の練習を重視します。文法の説明はなるべく簡潔にして、例文もリスニングの形で提示します。一年目に習得した単語や文法を確認しながら、基本文・テキストの暗誦・リスニングの練習・中国語を使う簡単な応答・会話の作成及び披露などで授業を進めたいと思います。中国映画の鑑賞及びその内容についての討論も取り入れようと考えています。そして、中国事情・中国文化の紹介も適宜行います。

一年間の授業を通じて、伝わる中国語の発音を身に付け、中国語で自分の言いたいことをある程度伝えられる達成感や楽しさを味わって貰えればと思います。

成績評価方法:

定期試験、及び平常点により評価します。

テキスト(教科書):

プリントを使用

中国語ⅩIa 1単位(春学期)

中国語ⅩIb 1単位(秋学期)

やさしいエッセイで読む「ことばのしくみ」

春学期・秋学期：木2

セット履修

金 スンオグ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

「文法」というのは、本来、推理小説の謎解きのようなもので、人をわくわくさせるものである。「文法」とは、ことばの成り立ちの法則であるが、その法則を自分なりに発見し、体系を構築していけばなんと楽しいことではないか。そして、「法則性」を見出すには、先ず、「なぜ」そのような「言語事実」が存在するのかが問われなければならない。

確かに「学ぶ」ことは「まねる」ことではあるが、それだけでは何の進歩も発展もない。通説を鵜呑みにしたり、権威に盲従してはオリジナリティなど生まれてこない。更なる高みを目指すには、先ずは「疑う」こと、そして「何故」を問うことから始めることである。(テキスト「はしがき」より)

この授業では、中国語という「ことば」自体を素材にした、エッセイのアンソロジーをテキストに、中級レベルの読解力から更なる向上を目指します。本文は決して難解なものではありません。時に寓話や譬え話など交えつつ、中国語に潜む様々な法則性を、分かり易く軽妙な筆致で描き出しています。辞書などを適切に参照・活用しながら、文意の流れを踏まえ、文構造を的確にとらえて、速く正確に読み解く力を磨き上げていきます。1年の履修を通して、これまで学んで来た中国語という言語について、またそれと深く結びついた中国の人々の思考と発想について、自分なりに見直し理解を深めるきっかけにしてください。

成績評価方法:

各期末テスト60%、平常点(授業での積極性・参加態度を含む)40%

授業における使用言語 日本語60%、中国語40%(テキストの音読など)

読解50%、その他(練習問題、発音練習など)50%

テキスト(教科書):

内田慶市・相原茂編『ことばのしくみ—中国語学読本(Ⅱ)—』朝日出版社 ISBN978-4-255-45277-7

中国語ⅩIa 1単位(春学期)

中国語ⅩIb 1単位(秋学期)

やや高度の中級作文練習

春学期・秋学期：金3

セット履修

柴 森

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

連動文、存現文、把構文、受身文、兼語文、各種の補語及び複文など、中国語の構文を中心にした文法事項を系統的に整理しながら、常用文句から、手紙や公式文書までのさまざまな練習問題を解いていく。自分の伝えたいことをできるだけ幅広く中国語で表現できることを目指す。

方法：作文の場合、基本文型とその使用環境の解説に基づいて、プリントなどの練習問題を解いていく。作文する過程に生じた誤用や類義語の問題などを更に具体的に説明していく。状況に応じて、プリントを前の週に配布することもある。また、その場で配った試験問題を解いて、みな回答を合わせてから正解と不正解について解説する。

成績評価方法:

平常点(授業に取り組む姿勢)および試験の成績により総合的に評価します。試験が良くても、平常点が悪ければ不合格となる場合がありますので注意してください。

テキスト(教科書):

プリント教材を配付します。

中国語ⅩIa 1単位(春学期)

中国語ⅩIb 1単位(秋学期)

『中国の窓-真実の隣国を知ろう』講読で中国語中・上級の読解能力を養う

春学期・秋学期：金4

セット履修

長堀 祐造

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業で使用するテキスト『新版・中国の窓-真実の隣国を知ろう(中国の窓-認識真実の隣国)』は中国の歴史や人物、成語、都市、そして現在の中国事情、さらには日中交流史に関するかなり程度の高い文章から構成されている。これらの文章を読むことで、中国語中級・上級の読解能力を養成するとともに、中国語履修者として最低限知っておくべき、中国史や現代中国事情、日中関係史について理解することを目標とします。テキストの分量はかなり多いので、3分の2程度の課を予め選択して読了することを目指します。基本的に精密な訳読と基本知識の確認が主となりますので、十分な予習をしてくることを求めます。

成績評価方法:

期末試験 70パーセント

平常点 20パーセント

単語試験 10パーセント

テキスト(教科書):

村松恵子・前田光子・董紅俊著『新版・中国の窓-真実の隣国を知ろう』

白帝社 2017年

ISBN 978-4-86398-268-0

参考書:

特に指定しないが、中上級に対応した中国語辞書を用意すること。

外国語Ⅱ（選択必修）スペイン語

スペイン語Ⅳa 1単位(秋学期集中)

スペイン語Ⅳb 1単位(秋学期集中)

¿Charlamos?

秋学期：(月4)(水4)

セット履修

アイト モレーノ, イサーク

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

En esta clase los alumnos podrán practicar el léxico y la gramática aprendidos durante su primer curso de español. A través de un enfoque comunicativo, se pondrá especial énfasis en la producción oral y escrita, sin olvidar la comprensión lectora y auditiva. Mediante la explotación de diversos temas de carácter general, el objetivo es que el estudiante alcance un nivel comunicativo intermedio.

成績評価方法:

-Participación activa en clase: 15%

-Exámenes: 85%

*No se permiten más de cuatro ausencias injustificadas. Un retraso de más de 30 minutos equivale a una ausencia. Dos retrasos de menos de 30 minutos equivalen a una ausencia. No se aceptan justificantes de retraso ferroviario.

テキスト(教科書):

¡Muy bien! 2 『いいね! スペイン語2』 出版社: 朝日出版社

ISBNコード: 978-4-255-55106-7

スペイン語Ⅳa 1単位(春学期)

スペイン語Ⅳb 1単位(秋学期)

スペイン語で伝えましょう

春学期・秋学期: 金2

セット履修

網野 眞木子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

要件をメール等で伝えることが多いこの頃、文章表現力を求められる機会はふえています。この授業では初年度の学習をふまえて、スペイン語で近況報告したり意見を述べるなど、作文力をつけることを目的としています。授業は「テーマごとにひとまとまりの文章を読む→動詞の活用慣れ、基本的な語彙・表現・文章スタイルを学ぶ→それらを活かしてメッセージを書く」というやり方で進めます。書くためにはまず読むこと。読みながら、覚えにくい動詞の活用を定着させて自然なスペイン語のリズムを身につけ、同時に新たな語彙・表現を自分のものにして「スペイン語で伝える力」につなげていきましょう。

成績評価方法:

授業参加度、課題(小作文)、試験(小テストを含む)を総合して評価します。

出席回数が2/3に満たない場合は評価の対象となりません。

テキスト(教科書):

『書ける! スペイン語2』 Paloma Trenado, Juan Carlos Moyano, 齋藤華子著 同学社 2015年 ISBN: 978-4-8102-0427-8

参考書:

開講時に指示します。

スペイン語Ⅳa 1単位(春学期)

スペイン語Ⅳb 1単位(秋学期)

スペイン語圏の今を読む

春学期・秋学期: 金4

セット履修

網野 眞木子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

辞書をひきながら独力で、新聞記事や比較的平易なエッセイ等のスペイン語の文章を読む力をつけることを目指します。春学期は、毎回ウォーミングアップとしてこれまでに学習した文法事項を復習してから、比較的平易なエッセイあるいは物語を講読し、まとまった文章を読むことに慣れます。動詞の活用や構文、慣用表現を確認しながら進みます。秋学期はインターネットで配信されるニュースからスペインやラテンアメリカの記事を中心に、読みます。ニュース記事をつづじて時事的な語彙に触れながら、より複雑な構文や語句のつながりを把握する力を養います。この授業をつづじて、語学的

な力を伸ばすことはもちろんですが、それだけでなくスペイン語圏、とくに多様な側面をもつラテンアメリカの姿を知り、この地域に対する自分なりの見方を構築してください。

成績評価方法:

授業参加、リアクションペーパー、随時行われる小テストと期末試験、および課題を総合して評価します。

出席回数が2/3に満たない場合は評価の対象となりません。

テキスト(教科書):

講読の教材: プリントにて配布。

文法復習用: 『スペイン語文法の要点』 二宮哲著、朝日出版社、2014年 ISBN: 978-4-255-55065-7 C1087

参考書:

推奨辞書(西和辞書は授業時に各自必携のこと)

『西和中辞典〔第2版〕』 高垣敏博監修 小学館 2007年 ISBN: 9784095155029

『スペイン語大辞典』 山田善郎他監修 白水社 2015年 ISBN: 9784560000496

『現代スペイン語辞典』 山田善郎監修 白水社 1999年 ISBN: 9784560000465

『プエルタ新スペイン語辞典』 上田博人・C.ルビオ編 2006年 ISBN: 9784767490564

など

スペイン語Ⅳa 1単位(春学期)

スペイン語Ⅳb 1単位(秋学期)

スペイン語圏の食文化

春学期・秋学期: 月4

セット履修

アロンソ, マリア・シルビア

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

このクラスでは2つの目的を目指します。春学期の目的は、今まで覚えた文法や語彙を使ってスペインの食文化における基本的なコミュニケーションを自然なスペイン語で話すことです。秋学期ではスペイン語圏の伝統的な料理を映像・レシピの記事などを使って紹介し、新しいスペイン語の表現を意識しながら、さまざまな国の食事習慣についての比較論を行い、相手に自分の考えを効果的に伝えることを目的とします。

成績評価方法:

「春学期・秋学期」の試験或いは発表(50%)、授業でのパフォーマンスと作文の宿題(50%)

テキスト(教科書):

プリントを配布します。

スペイン語Ⅳa 1単位(春学期)

スペイン語Ⅳb 1単位(秋学期)

スペイン語圏文化について理解して話し合う

春学期・秋学期: 火3

セット履修

ウエチ, ナンシー

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

一年で習得したことを総合的にブラッシュアップし、リスニングとスピーキングの能力の向上目標に、日常生活の中で使われる会話表現を中心に、生きたスペイン語に慣れ親しむための授業である。また、授業ではスペインとラテンアメリカに関するビデオクリップ教材をなるべく使用し、社会、文化などにも理解できるようにします。

成績評価方法:

出席状況、授業への参加態度、試験の結果などをあわせて総合的に判断します。

60%を授業への出席と積極的参加ならびに提出課題、残りの40%を2回の試験によって行う。

テキスト(教科書):

Manuela Gil-Torresano, Inés Soria. (2017) AGENCIA ELE 2 (A2) Nueva edición ISBN: 978-84-9778-955-4

スペイン語Ⅳa 1単位(春学期)**スペイン語Ⅳb 1単位(秋学期)**

ニュースを用いた聞き取りと表現演習
春学期・秋学期：金1

セット履修

岡本 年正

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業では、ニュースを用いた聞き取りを通じ、スペイン語の能力を伸ばすことを目的としています。ニュースでは、アナウンサーがニュースを伝えるだけでなく、ニュースに対するコメントや意見交換があり、またインタビューでの会話等があります。そこにはさまざまな形のスペイン語の表現（事実の読み上げにおける表現、意見をする表現、インタビューでの会話表現等）や、様々な種類の語彙が含まれており、これまで学習した文法をより実践（自由な会話）に生かすための前段階としてよい題材のひとつと考えられます。本授業はテキストに沿って進めていくため、文法の復習も含まれます。

成績評価方法:

各課終了後の小テスト（単語テスト、内容確認）と文法確認小テスト、課題等により総合的に判断する。

成績評価には2/3以上の出席を条件とし、欠席・遅刻は減点する。

テキスト(教科書):

中島聡子他2018『ニュースを聞こう！中級スペイン語』(Es noticia) 三修社 ISBN:978-4-384-42016-6

スペイン語Ⅳa 1単位(春学期)**スペイン語Ⅳb 1単位(秋学期)**

スペイン語圏に関する読解とテーマ発表
春学期・秋学期：水5

セット履修

岡本 年正

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業では、スペイン語圏におけるいくつかのテーマに関する文章の講読を通じ、これまで学習してきた文法の知識を確実なものとし、初級から中級へとスペイン語の能力を向上させていくことを目的とします。講読では文法の確認はさることながら、新出単語の習得、熟語などを学習していきます。様々なタイプの文章を講読することで、スペイン語の読解能力を向上させます。

またスペイン語能力だけでなく、講読するテーマそのものやテーマ周辺の知識も身につけていきます。これらを通じ、スペイン語圏の世界を理解していきます。また各自もしくはグループでテーマに沿ってスペイン語の文献やインターネット上の記事などを探して読み、発表してもらいます。

授業ではまずはテキストをしますが、その後、担当教員が専門とするペルーに関する記事や論文を読みます。

成績評価方法:

提出課題（翻訳等）、授業内翻訳（グループワーク含む）、テーマ別発表、授業参加度、教科書の単語・内容チェックの小テスト等を総合的に評価する。

成績評価には2/3以上の出席を条件とし、欠席・遅刻は減点する。

テキスト(教科書):

坂東省次他2017『トピックスで学ぶスペイン語世界』(改訂版)(El mundo hispano a través de quince temas -edición revisada) 白水社 ISBN:978-4-560-09951-3

スペイン語Ⅳa 1単位(春学期)**スペイン語Ⅳb 1単位(秋学期)**

スペイン語力を使いポルトガル語も学びましょう。
春学期・秋学期：金2

セット履修

荻野 恵

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

1年間学習したスペイン語力を基に、ポルトガル語も同時習得することを目指します。また映像を用いて両国の文化を学習します。毎回予習・復習をし、積極的な姿勢で授業に臨んでください。

成績評価方法:

授業内試験の結果及び平常点（出席状況・授業態度など）を総合して評価する

テキスト(教科書):

春学期 荻野他『イベリア文化への誘い』(大学書林)
秋学期 荻野他『イベリア文化の輝き』(大学書林)

通年 富野・伊藤『総合ブラジル・ポルトガル語文法』(朝日出版社)

スペイン語Ⅳa 1単位(春学期)**スペイン語Ⅳb 1単位(秋学期)**

文法全体の基礎を固め、読解力を中級レベルに高めていきます。
春学期・秋学期：水3

セット履修

荻野 恵

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

春学期は平易なスペイン語で日本文化を紹介する内容の「会話」を読みながら、一年次に学習した直説法現在から、接続法までの文法を復習します。

秋学期はその応用としてネイティブの綴ったスペインの文化や歴史に関するエッセイを読み読解力の向上を目指します。

西和辞典を大いに活用し、毎回予習をした上で積極的な姿勢で授業に出席してください。

成績評価方法:

授業内試験の結果及び平常点（出席状況・授業態度など）を総合して評価する

テキスト(教科書):

荻野・サンティアゴ『基礎固めのスペイン語』同公社

スペイン語Ⅳa 1単位(春学期)**スペイン語Ⅳb 1単位(秋学期)**

ラテンポップのスペイン語
春学期・秋学期：金4

セット履修

郷澤 圭介

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業では、スペインとラテンアメリカのポップ音楽を通して「pop latino（スペイン語ポップ）」の世界を理解することを目的とします。各国・地域の代表的なアーティストのヒット曲を聴き、初年度に習得した文法知識および今回新しく学ぶ応用文法の知識をもとに歌詞を分析します。同時に歌詞から読み取れるスペイン語圏の人々が抱える社会的背景や考え方、独特の表現方法などを理解します。

成績評価方法:

期末試験、リアクションペーパー、平常点（出席状況・授業態度）をあわせて総合的に判断します。詳細は初回授業時に担当教員が説明します。

テキスト(教科書):

適宜プリントを配布します。

参考書:

『スペイン語 文法と実践』(小林一宏著、朝日出版社、2009年)
ISBN: 9784255004679
『スペイン語文法ライブ講義』(加藤伸吾著、白水社、2017年)
ISBN: 9784560087633

スペイン語Ⅳa 1単位(春学期)**スペイン語Ⅳb 1単位(秋学期)**

バルセロナを通して学ぶスペイン語
春学期・秋学期：木2

セット履修

竹中 宏子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業は初習スペイン語が終了した学生を対象にしています。バルセロナの町、あるいはそこに関連する人や事項についての文章を読みながら、スペイン語の基礎文法の定着を図り、それを活用できる力を身につけることを目的としています。テキストとなるのは、短いミステリー小説などです。既に学習した文法を復習し、バルセロナを想像し、話を楽しみながらスペイン語を学んでいきます。そこからスペイン語の日常的な言い回しといった言語的なものだけでなく、文化的・社会的な背景も知りえるでしょう。テキストに出てくる場所や事項に関して、なるべく映像や動画で見たいとも考えています。

この授業では、バルセロナに関する知識を増やし、文章を読むことに慣れ、自分で使えるスペイン語力を養うことを最終的な目標としています。人によっては、実際にバルセロナに旅行に行く・留学することを目標にしてもいいかもしれません。

成績評価方法:

提出物の評価、授業での受け答え（スペイン語文法力のチェック）、授業への参加度（授業準備、授業での態度、出席回数）、小テストから総合的に評価します。場合によっては、学期末試験を実施することがあります。

テキスト(教科書):

Ernesto Rodríguez. “Un día en Barcelona”(バルセロナの一日). Difusión. ISBN: 9788416273492

スペイン語Ⅳa 1単位(春学期)

スペイン語Ⅳb 1単位(秋学期)

スペイン語圏の話題に触れながら語学力の定着を目指そう！

春学期・秋学期：火2

セット履修

利根川 リリ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

春学期と秋学期を通じて各課ごとにスペイン語圏に関する話題を取り上げているテキストを使い、これまでに習得してきた文法事項を基礎から再確認しつつ、スペイン及びスペイン語圏そのものの知識を広げることも目標とします。またスペイン語圏の情報など適宜プリントで配布したいと考えています。

成績評価方法:

春学期・秋学期共に学期末に筆記試験を行います。それまで学んできた内容をどの程度理解し定着できているかを判断します。

各学期それぞれ試験結果45%、授業態度評価5%、トータル100%として換算し成績を付けます。

特別な事情を除き、各学期につき4回以上の欠席は認めません。また、遅刻2回分を欠席1回とみなします。全出席が当たり前の感覚で授業に参加してください。

テキスト(教科書):

『基礎から学ぼう！スペイン語中級』西川喬著 朝日出版社 2015年 ISBN978-4-255-55074-9 C1087

スペイン語Ⅳa 1単位(春学期)

スペイン語Ⅳb 1単位(秋学期)

スペイン語の総合力をさらに高めよう！

春学期・秋学期：火1

セット履修

利根川 リリ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

今までに学習してきたスペイン語の知識をより一層定着させていくと共に、まとまった文章を読みこなす力や表現する力など総合的なレベルアップを春学期と秋学期を通じて目指していきます。

テキストに沿って授業を進めますが、スペイン語圏の話題などの資料も適宜配布する予定です。

成績評価方法:

春学期・秋学期共に学期末に筆記試験を行います。それまで学んできた内容をどの程度理解し定着できているかを判断します。

各学期それぞれ試験結果45%、授業態度評価5%、トータル100%として換算し成績を付けます。

特別な事情を除き、各学期につき4回以上の欠席は認めません。また、遅刻2回分を欠席1回とみなします。全出席が当たり前の感覚で授業に参加してください。

テキスト(教科書):

『プラサ・マヨールIIソフト版 ーステップアップスペイン語一』パロマ・トレナド他著 朝日出版社 2017年 ISBN:978-4-255-55026-8 C1087

スペイン語Ⅳa 1単位(春学期)

スペイン語Ⅳb 1単位(秋学期)

スペイン人の先生にスペイン語を学ぼう

春学期・秋学期：金1

セット履修

ドメネック・アロンソ、ホセ・イグナシオ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

言語を習得する目的はコミュニケーションにある。このクラスでは文法事項にこだわりすぎることなく、「コミュニケーションのできるスペイン語」を第一の目標として設定し、生徒参加型の実践中心の授業を行なう。

直説法現在形の基本を復習した後、以下の表現法、文法テーマを対象とする。現在完了形、未来形、Gustar動詞の用法、比較級、現在

分詞、再帰動詞、接続法。これらのテーマに関する理解を容易かつ確実にし、さらに語彙を増やしスペイン文化への認識を深めるため、視聴覚教材を多用する。

成績評価方法:

春学期：試験80% 授業中評価・宿題20%

秋学期：試験80% 授業中評価・宿題20%

テキスト(教科書):

『TeVeo 楽しく覚えるスペイン語』DTP出版

スペイン語Ⅳa 1単位(春学期集中)

スペイン語Ⅳb 1単位(春学期集中)

スペイン語中級

春学期：(月4)(水4)

セット履修

松川 孝祐

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業では、前年度までに学習した文法的知識をふまえて、スペイン語の長い文章が読めるようになることを目標とします。授業の前半は、今までに学習した文法的内容を復習しながら、しっかりとしたスペイン語の文法知識を身に付けて頂きます。スペイン語の講義では、スペイン語圏の文化に関する内容の文章を読みながら、スペイン語圏の文化についても学んで頂けたらと思います。また、スペインとラテンアメリカの国々との間のスペイン語の違いや文化の違いなどについても紹介できればと思っています。

成績評価方法:

20% クイズ (10回)

30% 中間試験

40% 期末試験

10% 授業内での翻訳

・5回以上授業を欠席すると、最終成績が「D (不合格)」となります。

・カンニング、授業妨害行為などが認められた場合は、それまでの成績に関わらず、最終成績を「D (不合格)」とすることがあります。

テキスト(教科書):

指定のテキスト(教科書)はありません。

授業内で必要な資料を配布します。

参考書:

必要に応じて、授業内で紹介します。

スペイン語Ⅳa 1単位(春学期)

スペイン語Ⅳb 1単位(秋学期)

文学を通してスペイン語を学ぶ

春学期・秋学期：水3

セット履修

マルティネス シレス、パウラ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

スペイン語圏は文学作品であふれています。この授業では、スペイン語の初級文法を終えた学生が、文学作品の中で様々なジャンル(短編、詩、劇場台本)を読み、理解するためのやり方を習得します。初級レベルで学んだ文法を生かし、新しい語彙を学びながら、テキストの中にあふれている「スペイン語圏の文化」を知ることが出来ます。

春学期と秋学期、それぞれに3つのマイクロ作品を取り上げます。各作品に4回の授業を通じて、次の流れで授業を行います:作品と作家の紹介・読解1(文法、語彙)・読解2(内容・文化)・まとめ(グループワーク、情報カード、小テスト)。このように、文法と語彙の練習だけではなく、スピーキング、ライティング、読解の能力向上にもつながります。

グスターボ・アドルフォ・ベッケル、フリオ・コルタサル等が執筆した作品に触れながら、スペイン語圏の文学世界に入ってみませんか?

成績評価方法:

Examen / 小テスト (15% x 4回): 60%

Presentación oral / 発表 (10% x 2回): 20%

Comentario de texto final / 読解コメントリー: 10%

Participación activa, deberes, etc. / 積極的な参加度、課題など: 10%

テキスト(教科書):

授業で配布します。

参考書:

辞書については電子辞書、紙媒体の辞書を初回の授業までに必ず購入してください。以下のものをお勧めします。

- 『ブエルト新スペイン語辞典』 研究社
- 『西和中辞典』 小学館
- 『クラウン西和辞典』 三省堂
- 『現代スペイン語辞典』 白水社
- カシオEX-word (電子辞書)

スペイン語Ⅳa 1単位(春学期)

スペイン語Ⅳb 1単位(秋学期)

スペイン語作文練習
春学期・秋学期：火2

セット履修

三浦 麻衣子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

短い日本語をスペイン語に訳す訓練を通して、初級で学んだ文法事項を確認し、確実に運用できる力を身につけることを目指します。その際、日本語から発想した場合におかしやすい間違いを自覚し、適切な語の選び方やスペイン語的な文の構成について学んでいきます。毎回、授業で取り扱う文を事前に自分で作文してきてもらいます。短文といえども、実際スペイン語に訳そうとすると意外に時間がかかることに気づくはず。作文練習を通して、自然なスペイン語の発想を身につけ、応用力をつけていきましょう。

成績評価方法:

出席、試験、授業態度、宿題の達成度から総合的に評価します。

テキスト(教科書):

木村琢也、中西智恵美著『スペイン語作文中級コース』(同学社)

参考書:

授業内で適宜指示します。

スペイン語Ⅳa 1単位(春学期)

スペイン語Ⅳb 1単位(秋学期)

スペイン語会話
春学期・秋学期：金4

セット履修

三浦 麻衣子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

日常生活で遭遇する様々な表現に重点を置いたテキスト及び付属のDVDを用い、主にスペイン語の口頭表現と会話に重点を置いて授業を行います。文法演習、作文、ペアやグループ演習を通して「話す・聞く・読む・書く」の力をバランスよくつけることが目標です。テキストには文法の練習問題も相当程度含まれていますが、授業内での復習は最小限にとどめますので、基礎的なスペイン語文法をきちんと習得していることを前提とします。各課のスキットを通して、スペインの習慣やライフスタイルについても学習していきます。学習意欲のある学生が毎回出席し、様々な課題に自発的に取り組むことを期待します。

成績評価方法:

出席、定期試験、授業態度、小テスト、宿題の達成度から総合的に評価します。

テキスト(教科書):

『Te Veo』 J. Ignacio Doménech Alonso他著 D T P 出版 2012年

参考書:

授業内に適宜指示します。

スペイン語Ⅳa 1単位(春学期)

スペイン語Ⅳb 1単位(秋学期)

文法を学びながら会話してコミュニケーション!
春学期・秋学期：火3

セット履修

モヤノ、フアン・カルロス

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業で使う教科書のそれぞれの課には、この課を学習し終えたらできるようになるべきことが分かり易く示されています。すべての課では学習者が一番最初から、積極的に言葉を使い、新しい内容について考えるようにすることが勧められています。機能的、文法的、語彙的な内容はらせん式に提示されていて、1つの内容は本全体を通じて何度も繰り返し扱われ、常に前に学んだ内容を復習しながら広げていくという学び方ができるようになっています。そして聞

く話す読む書くの4技能を系統的に習得できるようにするため、様々な種類のアクティビティが、その言葉が使われる場面を常に考えながら注意深く作られています。さらにスペイン語圏の国々の社会文化的内容がすべての課において扱われています。また学習ストラテジーの習得にも細心の注意が払われ、各課の最後では、目標を達成したかどうかを学生自身で確かめることができるようになっています。ビデオは言語と学習者が自分自身の能力を探求していくための新しい道を示します。

成績評価方法:

出席 (Asistencia): 20%

授業準備・宿題 (Preparación de la clase y deberes): 20%

授業態度・授業活動参加度 (Participación, actitud y motivación en clase): 20%

期末試験 1 (Examen Final 1): 20%

期末試験 2 (Examen Final 2): 20%

テキスト(教科書):

Muy bien, Curso de español 2 (いいね! スペイン語2), ファン・カルロス・モヤノ・ロペス他著, 朝日出版社, 978-4-255-55106-7 C1087

スペイン語Ⅳa 1単位(春学期)

スペイン語Ⅳb 1単位(秋学期)

ニュースを通してスペインの今を知る
春学期・秋学期：金5

セット履修

八嶋 由香利

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

今日のグローバル化社会では、さまざまな情報があふれかえっています。スペイン語圏においても同様です。この授業では、スペイン語の初級文法を一通り終えた学生が、新聞や雑誌、あるいはネットからの情報を正しく読み、理解するための方法を習得します。実際に日常生活で使われている「生の」情報に触れることで、スペイン人のリアルな暮らしや社会変化などを知ることができます。春学期は『ニュースを聞こう!』というテキストを利用し、ニュースを聴き・読むことに徐々に慣れていきます。秋学期からは実際にスペインの新聞やネットなどのニュースを読んでいきます。マドリドやバルセロナのカフェに座って、コーヒーとクロワッサンを食べながら新聞を読む、そんな自分を想像してみましょう。きっと未知の世界が待っていますよ。

成績評価方法:

出席、授業への参加態度、課題への取り組み、試験などを総合的に評価する。

テキスト(教科書):

春学期は中島聡子・佐藤佐知・David Taranco『ニュースを聞こう! 中級スペイン語』(三修社)を使用します。

秋学期は、El Pais, La Vanguardia, ABCなどの主要紙、あるいは雑誌などからピックアップした記事を配布します。

参考書:

1年生の時に使用した文法テキストを持ってきてください。

スペイン語Ⅳa 1単位(春学期)

スペイン語Ⅳb 1単位(秋学期)

スペイン語中級
春学期・秋学期：月4

セット履修

山本 昭代

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

1年間週2回以上スペイン語を学び、直説法から接続法現在まで、文法の基本を一通り終えている人を対象としたクラスです。

文法の復習をしながら、スペイン語圏のニュースの聞き取りを通して語彙を増やしていきます。

成績評価方法:

平常点30点、期末試験70点の割合で評価します。

平常点には、授業への参加度、授業準備、授業態度などが含まれます。

テキスト(教科書):

「ニュースで学ぶ中級スペイン語」中島聡子・佐藤佐知著、三修社

スペイン語Ⅹ I a 1 単位(春学期)

スペイン語Ⅹ I b 1 単位(秋学期)

いきいきと「使える」スペイン語へ

春学期・秋学期：金3

セット履修

網野 眞木子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

これまでに学んだスペイン語の知識を、おもに会話練習をつうじて定着・発展させ、実践的なスペイン語力へとつなげる、既習者向けのクラスです。身近な話題をめぐる日常会話でも、相手の発言をすみやかに理解し、適切に言葉を返していくことは思いのほか難しいものです。動詞の活用に慣れ、語彙を増やし、ニュアンスに富んだスペイン語の定型表現を身につけて、文を組み立てる力が必要です。授業では、会話形式を中心にした教科書に沿って、聴きとりと会話および通訳練習を積みかさねて、こうした実践力を鍛えていきます。食事・買い物・旅行などのほか、生活習慣や歴史にちなむ会話を扱います。また日常会話から一歩踏み出し、短い読みものをつうじた文章表現にも適宜触れますが、まずは自然な形でいきいきとスペイン語で対応し、自分を表現できるレベルをめざしてとりくみましょう。

成績評価方法:

授業参加度、小テスト、学期末試験、を総合して評価します。

出席回数が2/3に満たない場合は評価の対象となりません。

テキスト(教科書):

『会話と通訳練習で学ぶ中級スペイン語』本間芳江、安富雄平、Enrique Almaraz Romo 著 三修社 2020年 ISBN: 978-4-384-42018-0 C1087

参考書:

初回授業時に指示します。

スペイン語Ⅹ I a 1 単位(春学期)

スペイン語Ⅹ I b 1 単位(秋学期)

スペイン語でコミュニケーション

春学期・秋学期：金5

セット履修

工藤 多香子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では聞く・話す・読む・書くためのスペイン語力を総合的に高めることを主な目的とします。1年次に学んだ文法を復習しながら、実践力・応用力を身につけていきます。授業は実践的な練習を中心に進めますので、積極的に参加してください。また、スペイン語文の和訳や日本語文のスペイン語訳を定期的に課題としてだします。

初回の授業で履修者の語学力を判断するために簡単な試験をします。西和・和西辞書または西英・英西辞書を持ってきてください。

毎回の授業でも辞書と1年次に使用した文法のテキストは必ず持参してください。

成績評価方法:

平常点(出席・授業参加度・課題)と期末試験で評価します。

テキスト(教科書):

Juan Felipe Garcia Santos et al. *Español ELElab Universidad de Salamanca: nivel A1-A2*, Japanese Edition, 朝日出版 2020年 ISBN: 978-4-255-55116-6 C1087

外国語Ⅲ（選択必修）

ロシア語a(外国語Ⅲ) 1単位(春学期)

ロシア語b(外国語Ⅲ) 1単位(秋学期)

ロシア語初級

春学期・秋学期：木3

セット履修

佐野 洋子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業は、初めてロシア語を学ぶ人を対象としたクラスです。一年間で、標準ロシア語文を読む上で必要な文法を習得していきます。中級レベルの文を、辞書と文法表を用いて、正確に読む力をつけることを目的とします。最終的には、各自の興味や専門に従って、独学でもロシア語を続けていける基礎学力をつけたいと思います。

週二回の授業のうち、このクラスでは文法・講読を中心に進めていきます。

成績評価方法:

平常点: 授業での質疑応答、課題の発表などを総合して判断します。

テキスト(教科書):

教材は、初回の授業で配布します。

参考書:

露和辞典が必要となりますが、初回の授業で説明します。

ロシア語a(外国語Ⅲ) 1単位(春学期)

ロシア語b(外国語Ⅲ) 1単位(秋学期)

ロシア語初級

春学期・秋学期：金3

セット履修

佐野 洋子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

週二回の授業のうち、このクラスではブラクティカルな面を中心に進めていきます。短い平易な会話文を使いながら、まずは発音、アクセント、イントネーションを徹底させ、さらに、講読や文章表現力の基礎となる、最低限の基礎的語彙・文法事項・基本構文の習得を目指します。最終的には、平易な文を理解し、それを自分で表現できるようにすることが本授業の目標です。

成績評価方法:

平常点: 授業での質疑応答、小テストなどを総合して判断します。

テキスト(教科書):

教材は、初回の授業で配布します。

韓国朝鮮語a(外国語Ⅲ) 1単位(春学期)

韓国朝鮮語b(外国語Ⅲ) 1単位(秋学期)

韓国朝鮮の言語と文化

春学期・秋学期：(月4)(木5)

セット履修

韓 晶恵

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

韓国・朝鮮語未習者を対象に、週2回の授業により、1年間をかけて、今後の学習の根底となる文字と発音の習得を徹底した後、文法事項の解説・演習を積み重ねることによって読解や作文が出来るようになり、最終的には基本的な文型や語彙を身につけ、会話が可能となることを目標とします。

そのなかで、文化的な部分を言葉と関連付けながら紹介し、日本との比較を通して異文化体験もしてもらいたいと思います。そのため、出来る限り個々人の趣向や希望に合わせる形で映像や音声等をも取り入れて進めようと思います。

成績評価方法:

平常点(出席状況及び授業態度)及び中間・期末試験による評価

テキスト(教科書):

生越直樹・曹喜澈『ことばの架け橋 [改訂版]』白帝社、2017年。

ISBN:978-4-86398-051-8

イタリア語a(外国語Ⅲ) 1単位(春学期)

イタリア語b(外国語Ⅲ) 1単位(秋学期)

イタリア語の基礎文法

春学期・秋学期：(月3)(木1)

セット履修

芝田 高太郎

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

週2回、春・秋学期をかけてイタリア語の基礎文法をひと通り学びます。

成績評価方法:

主に中間・期末の二回の試験による。

テキスト(教科書):

Quaderno d'italiano 押場/ザニーニ/京藤 著 DTP出版 2011年 ISBN: 978-4-86211-059-6

参考書:

「ポケット・プログレッシブ伊和・和伊辞典」小学館

「デイリーコンサイス伊和・和伊辞典」三省堂

「ブリーモ伊和辞典」白水社

「イタリア語のABC」長神悟著 白水社

選択外国語（選択A）

フランス語 V a(選択A) 1 単位(春学期)

フランス語 V b(選択A) 1 単位(秋学期)

フランス語検定試験一仏検 3 級・準 2 級 対策クラス
春学期・秋学期：火 4

セット履修

ガボリオ, マリ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業は、仏検 3 級・準 2 級の受験準備のためのクラスです。合格に必要な不可欠なテクニックを実践的に学びます。履修者が受験を目指しているレベルに合わせて、特に聞き取り、読解、文法、文章作成、口頭表現力を確実に身につけることを目指します。仏検 3 級・準 2 級の問題に出てくる基本熟語表現・単語を覚え、使えるようになることを目指しています。また通常のフランス語の授業では十分に扱えない前置詞の問題、動詞の活用の問題など、書き取り問題を多く用意します。

検定試験を受けるということは、すなわち現在の自分の学力を測ることであり、さらに今まで学んだことを整理し、きちんと覚える機会を持つことでもあり、基礎の力を固めるためにとても効果的な方法であると思います。

成績評価方法:

定期的な小テストを行い、平常点と出席状況を含めて総合的に評価します。

テキスト(教科書):

最初の授業で指示します。プリントも配布します。

参考書:

最初の授業で指示します。

フランス語 V a(選択A) 1 単位(春学期)

フランス語 V b(選択A) 1 単位(秋学期)

Conversation

春学期・秋学期：月 5

セット履修

前島 アンヌ・マリ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Dans ce cours, les règles de grammaire apprises en première année serviront à construire dans un premier temps des phrases simples puis dans un second temps d'en faire de plus complexes. La fin du semestre sera sanctionnée par un petit exposé.

Les étudiants devront prendre en note les phrases qu'ils auront dites et qui seront écrites au tableau afin de fixer les expressions qui serviront de support aux différents thèmes de conversation.

成績評価方法:

La présence au cours, la participation pendant le cours et l'exposé compteront pour l'évaluation. La discussion et la prise de notes se feront en même temps.

L'accent est mis sur la discussion.

テキスト(教科書):

Pas de manuel.

スペイン語 V a(選択A) 1 単位(春学期)

スペイン語 V b(選択A) 1 単位(秋学期)

スペイン語で表現しよう

春学期・秋学期：金 1

セット履修

安藤 万奈

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

すでに1年間あるいはそれ以上スペイン語を学習した学生を対象に、一歩進んだスペイン語の学習を目指していく。今まで学んできた文法事項を振り返りつつ、スペイン語でのコミュニケーション能力を、総合的に高めていこうと思う。また、外国語の学習には、その言語が話されている国や人々の文化等、その背景にあることを理解することも大切なことだと考える。こういった背景に触れることによっても、言語に対する興味を深めていきたい。さらに、語彙力を伸ばしていくことも視野に入れていく。

成績評価方法:

授業内試験、課題、授業への参加度、出席状況から総合的に評価。

テキスト(教科書):

『スペイン 社会と文化を巡る』 マヌエラ・アルマラス、菅原昭江
著 白水社 2012年 ISBN:978-4-560-01681-7

プリント

参考書:

授業時に紹介する。

スペイン語 V a(選択A) 1 単位(春学期)

スペイン語 V b(選択A) 1 単位(秋学期)

スペイン語入門

春学期・秋学期：金 5

セット履修

丸田 千花子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

スペイン語の基礎を学びたい学生を対象とした初級クラスです。初級文法を学びながら、日常生活にかかわる事柄をスペイン語で表わすこと、そして「聞く・話す・読む・書く」の4技能をバランスよく高めることを目標とします。会話や聞き取り、作文など、実践的なスペイン語運用の練習を多く取り入れていきます。1年後にはスペイン語検定 4 級の合格レベル、またはヨーロッパ言語共通参照枠 (CEFR) の A2 レベルに到達できることをめざします。また映像を用いながら、豊かなスペイン語圏の文化についても学びます。

成績評価方法:

出席 50%

小テスト 50%

テキスト(教科書):

第1回の授業時に履修者と相談して決定します。

参考書:

授業には 必ず電子辞書、または 紙媒体の辞書を持参してください。

ロシア語 a(選択A) 1 単位(春学期)

ロシア語 b(選択A) 1 単位(秋学期)

ロシア語初級

春学期・秋学期：金 4

セット履修

佐野 洋子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業は、初めてロシア語を学ぶ人を対象としたクラスです。一年間で、標準ロシア語文を読む上で必要な文法を習得していきます。中級レベルの文を、辞書と文法表を用いて、正確に読む力をつけることを目的とします。最終的には、各自の興味や専門に従って、独学でもロシア語を続けていける基礎学力をつけたいと思います。

春学期は、発音・文法を中心に、秋学期は、訳読を中心に進めていきます。

成績評価方法:

平常点：授業での質疑応答、課題の発表などを総合して判断します。

テキスト(教科書):

教材は、初回の授業で配布します。

参考書:

露和辞典が必要となりますが、初回の授業で説明します。

B. 三田地区設置科目

〔各授業の曜日・時限については『経済学部講義要綱（三田キャンパス）』や経済学部3・4年授業時間割を参照のこと〕

※各科目の講義要綱について、この『経済学部 外国語科目履修案内』では、各クラスの「サブタイトル」「授業科目の内容」「成績評価方法」「教科書・参考書（指定がある場合）」のみ掲載しています。「授業の計画」「担当者から履修者へのコメント」「質問・相談」はWeb上の「講義要綱・シラバス」で確認してください。（なお、担当者により記載がない場合もあります）

- ・「keio.jp」 <http://keio.jp/> または
- ・塾生サイト「履修案内・講義要綱・時間割」のページ
<https://www.students.keio.ac.jp/mt/class/registration/>

英語リーディング

〈目標〉

Study Skillsで学んだリーディング練習を基礎とし、さらにリーディングのスキルを伸ばすことに重点をおきながら英語の理解を深めるクラスです。レベルは分かれています。通年の授業となりますので、一年間じっくり時間をかけ、1) 量を多く読みこなす練習、2) 速読練習、3) 要旨をまとめる練習、4) リーディングからプレゼンテーション・ライティング・ディスカッションへの発展練習などを中心とします。ただし、各担当教員により重点を置く練習内容、スキルは異なりますので、詳しくは、各担当教員の講義要綱や経済学部英語クラスWebページ (p.11) を参照してください。

各英語リーディングの授業は、扱われるトピック(テーマ)によって次の4つのカテゴリーに分類されています。

- 1) 文学・芸術・思想、2) 言語・文化、3) 社会・経済・歴史、4) その他

今年度に三田で開講される授業は、すべて 3) のカテゴリーです。

なお、三田地区設置の外国語Ⅰは「英語リーディング」のみで、「英語セミナー」科目は日吉にのみ設置されています。

英語リーディング

英語リーディングa 1単位(春学期)

英語リーディングb 1単位(秋学期)

[春] Ideas on Politics, Economy and Society Worth Sharing
(社会・経済・歴史+ Presentation/Writing)
(前年度との繰り返し履修不可)

[秋] Ideas on Political Economy Worth Sharing
(社会・経済・歴史+Presentation/Writing)
(前年度との繰り返し履修不可)

セット履修

佐藤 空

(春学期)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This is a student-oriented course for an introduction to social science, in which students try to find contemporary or historical ideas on politics, economy and society which are, they believe, worth sharing with other people. In the course, they also learn about how they should present these ideas to them.

The course mainly consists of three parts. At the beginning of the course, students will be divided into some groups. The first task for each student is to make a mini (about one minute) presentation about a theme in social science (either contemporary or historical) chosen from one of the "Ted Talks" online or "A Very Short Introduction" series published by Oxford University Press. The presentation itself is an individual basis. Students also write and submit a short essay on the topic talked in their presentations. After all students make their presentations, the course moves on to the next step, which is an exercise of paraphrasing a fellow student's essay. They also do group work to prepare for a group presentation about a theme chosen by group members. The final task of this process is to make a longer presentation by each group.

The course repeats these steps four times during the semester. The course tutor at times attempts to provide the method of the basic skills for an academic presentation and essay writing, so that students can learn about the must-have skills and knowledge for engaging themselves in the course.

成績評価方法:

16% - Attendance (1×13 +3)

24% - Essay (200 word essays 6×4=24)

60% - Presentations (mini minute:5×4=20;group 8×4=32;Q&A session:2×4=8)

参考書:

Nancy Duarte, Slide:ology: The Art and Science of Creating Great Presentations (O'Reilly Media, Inc., 2008)

Garr Reynolds, Presentation Zen: Simple Ideas on Presentation Design and Delivery (New Riders Press, 2011)

(秋学期)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This is a course for an introduction to political economy, in which students try to find contemporary or historical ideas on political economy that they believe are interesting and worth sharing with other people and also learn about how they should present these ideas to them.

Like the Spring semester, the course mainly consists of three parts. At the beginning of the course, students are divided into some groups. The first task for them to do is to make a mini presentation about a theme on political economy (either contemporary or historical) chosen from one of videos available online (e.g. "Ted Talks") or from books in English (e.g. "A Very short Introduction" series). After all students complete their first presentations, the course moves on to the next task for students, which is group work. Finally, as the third task, each group makes a group presentation. After the group presentations, students write and submit an brief essay on the topic talked in their presentations. The course repeats this process four times during the semester.

During the course, the tutor provides the method of the basic skills for an academic presentation and also some talks about the themes on political economy derived from his expertise and interests so that students can learn about the must-have skills and knowledge for engaging themselves in the course.

成績評価方法:

16% - Attendance (1×13 +3)

24% - Essay (200 word essays 6×4=24)

60% - Presentations (Mini Presentations 5×4=20;Group Presentations 8×4=32;Q&A Session 2×4=8)

参考書:

Nancy Duarte, Slide:ology: The Art and Science of Creating Great Presentations (O'Reilly Media, Inc., 2008)

Garr Reynolds, Presentation Zen: Simple Ideas on Presentation Design and Delivery (New Riders Press, 2011)

外国語Ⅱ ドイツ語

ドイツ語Ⅳa 1単位(春学期)

ドイツ語Ⅳb 1単位(秋学期)

[春] 現代ドイツとEU

[秋] 現代ドイツとEU

セット履修

七字 眞明

(春学期)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

世界の政治・経済の枠組みにおいて、その重要性を増すEUの中でも中心的な位置を占めるドイツ。この国では現在、何が問題となり、どのようなことが話題となっているのでしょうか。この授業では、政治、経済、社会、文化等、幅広い分野から選んだテキストを題材として、現代ドイツが直面する諸問題について考えてみたいと思います。

授業では、毎週ひとつのテキスト(プリント1~2ページ分)を扱います。テキストを講読し、その内容に関して議論を行います。

成績評価方法:

試験は行いません。授業への積極的な参加状況により成績評価を行います。そのため、欠席が年間で全授業回数の5分の1(6回)を超えると不合格となります。

テキスト(教科書):

プリントを配布します。

参考書:

特に使用しません。

(秋学期)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

世界の政治・経済の枠組みにおいて、その重要性を増すEUの中でも中心的な位置を占めるドイツ。この国では現在、何が問題となり、どのようなことが話題となっているのでしょうか。この授業では、政治、経済、社会、文化等、幅広い分野から選んだテキストを題材

として、現代ドイツが直面する諸問題について考えてみたいと思います。

授業では、毎週ひとつのテキスト（プリント1～2ページ分）を扱います。テキストを講読し、その内容に関して議論を行います。

成績評価方法:

試験は行いません。授業への積極的な参加状況により成績評価を行います。そのため、欠席が年間で全授業回数の5分の1（6回）を超えると不合格となります。

テキスト(教科書):

プリントを配布します。

参考書:

特に使用しません。

ドイツ語Ⅳa 1単位(春学期)

ドイツ語Ⅳb 1単位(秋学期)

[春] ドイツ語を使おう (中級編)

[秋] ドイツ語を使おう (中級編)

セット履修

山口 祐子

(春学期)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この講座では、授業中にドイツ語だけで学習することを通じて、4技能（読む・書く・聞く・話す）の総合的な実力アップを目指します。とりわけ、以下の点を重視します。

1) 基礎的な語彙力の定着。聞き取り（書き取り）や会話練習を通して、基礎的な単語や熟語表現をマスターすることを目指します。2) 正確な読解能力の習得。ある程度まとまった文章を読みながら、確実な内容理解のためのコツを学びます。3) 確実な発信能力の習得。とくに初級文法後半の学習事項について、ドリル形式の問題を繰り返し練習します。受講生の習熟度に応じて、メールなど文章を書く課題もあります。

授業はすべてドイツ語で行われます。授業はすべてドイツ語で行われます。教材は、ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）のA2-2相当からB1（中級前半）程度を目安に、ドイツで出版されている教科書を主に使用する予定です。会話の経験が全くない受講生には、最初は難しく感じられるかもしれません。その場合は、授業の予習・復習のために、毎回1時間半程度の自宅学習時間を必ず確保してください。まずは、授業中ドイツ語の質問に答えてみることから始めましょう。ドイツ語圏への留学を考えている方、留学後、ドイツ語により磨きをかけたい方、ドイツ語の資格試験取得を考えている方など、意欲的な受講生の参加を期待しています。

成績評価方法:

平常点（40%程度）と、各学期末試験（60%程度）をもとに総合的に判断します。最も重要な評価基準は、この授業を通して受講生のドイツ語能力がどれほど向上したか、です。なお、以下の場合には成績評価対象外とします。1) 正当な事由のない欠席が全体の3割を超えた場合、2) 授業中の私語やプレゼンテーションの無断欠席などにより、授業の進行が著しく妨げられた場合、3) そのほか、他の受講生に著しく不利益を生じさせる行為があった場合、など。

テキスト(教科書):

初回の授業で指示します。

参考書:

授業中に適宜指示します。

(秋学期)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この講座では、授業中にドイツ語だけで学習することを通じて、4技能（読む・書く・聞く・話す）の総合的な実力アップを目指します。とりわけ、以下の点を重視します。

1) 基礎的な語彙力の定着。聞き取り（書き取り）や会話練習を通して、基礎的な単語や熟語表現をマスターすることを目指します。2) 正確な読解能力の習得。ある程度まとまった文章を読みながら、確実な内容理解のためのコツを学びます。3) 確実な発信能力の習得。とくに初級文法後半の学習事項について、ドリル形式の問題を繰り返し練習します。受講生の習熟度に応じて、メールなど文章を書く課題もあります。

授業はすべてドイツ語で行われます。教材は、ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）のA2-2相当からB1（中級前半）程度を目安に、ドイツで出版されている教科書を主に使用する予定です。会話の経験が全くない受講生には、最初は難しく感じられるかもしれません。その場合は、授業の予習・復習のために、毎回1時間半程度の自宅学

習時間を必ず確保してください。まずは、授業中ドイツ語の質問に答えてみることから始めましょう。ドイツ語圏への留学を考えている方、留学後、ドイツ語により磨きをかけたい方、ドイツ語の資格試験取得を考えている方など、意欲的な受講生の参加を期待しています。

成績評価方法:

平常点（40%程度）と、各学期末試験（60%程度）をもとに総合的に判断します。最も重要な評価基準は、この授業を通して受講生のドイツ語能力がどれほど向上したか、です。なお、以下の場合には成績評価対象外とします。1) 正当な事由のない欠席が全体の3割を超えた場合、2) 授業中の私語やプレゼンテーションの無断欠席などにより、授業の進行が著しく妨げられた場合、3) そのほか、他の受講生に著しく不利益を生じさせる行為があった場合。

テキスト(教科書):

初回の授業で指示します。

参考書:

授業中に適宜指示します。

ドイツ語Ⅳa 1単位(春学期)

ドイツ語Ⅳb 1単位(秋学期)

[春] ドイツの今を知るためのドイツ語

[秋] ドイツの今を知るためのドイツ語

セット履修

米山 かおる

(春学期)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

現代ドイツを理解するための様々なテーマに関するドイツ語のテキストや文献、新聞記事等を読み、ドイツに関する知識をつけながら、必要なドイツ語の復習や補足をし、ステップアップを目指す。また、日本との比較を通して、自分の考えをドイツ語で発言することのできるドイツ語力をつける。

成績評価方法:

平常点(出席・授業への参加度)、授業内試験

テキスト(教科書):

初回の授業で指示します

(秋学期)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

現代ドイツを理解するための様々なテーマに関するドイツ語のテキストや文献、新聞記事等を読み、ドイツに関する知識をつけながら、必要なドイツ語の復習や補足をし、ステップアップを目指す。また、日本との比較を通して、自分の考えをドイツ語で発言することのできるドイツ語力をつける。

成績評価方法:

平常点(出席・授業への参加度)、授業内試験

テキスト(教科書):

初回の授業で指示します

外国語Ⅱ フランス語

フランス語Ⅳa 1単位(春学期)

フランス語Ⅳb 1単位(秋学期)

[春] -日本・フランス文化論-

[秋] 日本・フランス文化論

セット履修

ガボリオ, マリ

(春学期)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業は、フランス語の「読む、書く、聴く、話す」という4つの運用能力を伸ばすことを目的とし、特にフランス語による自然な会話能力を磨き、更にはフランスと日本とを総合的に理解すること、フランス語でそうしたテーマについて話せるようになることを目指します。日本とフランスをテーマごとに比較すれば、他方の国に対する理解はいつそう深まり、相対的な観点から日本を捉え直すことにもつながると思われれます。そのために「日本とフランスの社会と文化を考える」をテーマに、フランス語による資料の解説、グループでのディスカッション、プレゼンテーション等を行います。更に時事フランス語を十分に身につけるために、語彙に関する特別な訓練をしていきたいと考えています。学生ひとりひとりに細かい指導を行いたいと思います。

成績評価方法:

授業への積極的な参加、及び春学期・秋学期各一回ずつのプレゼンテーションを総合して評価します。

テキスト(教科書):

『Découvrir le Japon』(ジェローム・ルボワ、井上桜子)、白水社、2016年 ISBN: 978-4-560-06122-0

その他、プリントも配布します。

参考書:

必要に応じて指示します。

(秋学期)**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

この授業は、フランス語の「読む、書く、聴く、話す」という4つの運用能力を伸ばすことを目的とし、特にフランス語による自然な会話能力を磨き、更にはフランスと日本とを総合的に理解すること、フランス語でそうしたテーマについて話せるようになることを目指します。日本とフランスをテーマごとに比較すれば、他方の国に対する理解はいつそう深まり、相対的な観点から日本を捉え直すことにもつながると思われまます。そのために「日本とフランスの社会と文化を考える」をテーマに、フランス語による資料の解説、グループでのディスカッション、プレゼンテーション等を行います。学生ひとりひとりに細かい指導を行いたいと思います。

成績評価方法:

授業への積極的な参加、及び春学期・秋学期各一回ずつのプレゼンテーションを総合して評価します。

テキスト(教科書):

『Découvrir le Japon』(ジェローム・ルボワ、井上桜子)、白水社、2016年 ISBN: 978-4-560-06122-0

その他、プリントも配布します。

参考書:

必要に応じて指示します。

フランス語Ⅳa 1単位(春学期)**フランス語Ⅳb 1単位(秋学期)**

[春] フランス語リスニング・スピーキング強化

[秋] フランス語リスニング・スピーキング強化

セット履修

中川 真知子

(春学期)**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

2年間から3年間、フランス語を学習してきた人を対象に、これまで得た知識を実践に移し、日常のさまざまな状況に対応できるように、リスニングとスピーキングに重点をおいて学習します。教科書にある資料を利用し、フランスおよびフランス語圏の社会・文化をめぐるトピックについて、モデルを応用しながら、フランス語で発言するやり方を学んでいきます。CECR/CEFR A2レベルの発話力・聴解力を身につけることが目標です。

授業は可能なかぎりフランス語で行ないます。

成績評価方法:

期末試験ならびに平常点(授業参加、課題)により評価します。

テキスト(教科書):

E. Heu et alii, *ÉDITO A2*, Didier, 2016, ISBN:9782278083190

参考書:

授業内で紹介します。

(秋学期)**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

2年間から3年間、フランス語を学習してきた人を対象に、これまで得た知識を実践に移し、日常のさまざまな状況に対応できるように、リスニングとスピーキングに重点をおいて学習します。教科書にある資料を利用し、フランスおよびフランス語圏の社会・文化をめぐるトピックについて、モデルを応用しながら、フランス語で発言するやり方を学んでいきます。CECR/CEFR A2レベルの発話力・聴解力を身につけることが目標です。

授業は可能なかぎりフランス語で行ないます。

成績評価方法:

期末試験ならびに平常点(授業参加、課題)により評価します。

テキスト(教科書):

E. Heu et alii, *ÉDITO A2*, Didier, 2016, ISBN:9782278083190

参考書:

授業で紹介いたします。

フランス語Ⅳa 1単位(春学期)**フランス語Ⅳb 1単位(秋学期)**

[春] 仏検対策(準2級-2級レヴェル以上)とフランス語原典講読

[秋] 仏検対策(準2級-2級レヴェル以上)とフランス語原典講読

セット履修

新島 進

(春学期)**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

実用フランス語技能検定試験(通称、仏検)準2級の過去問を解きながらフランス語の力、とりわけ文章読解力の向上を目指します。過去問を用いた学習以外にも、小テストなどによって語彙力を強化し、また、受講者のリクエストに応じて選んだフランス語のテキストを訳読します。なお、仏検を実際に受験をするか否かは受講者の自由です。

成績評価方法:

出席+試験

テキスト(教科書):

市販の単語集(未定)を購入していただきます(過去問はこちらで用意します)。

参考書:

授業中に指示します。

(秋学期)**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

実用フランス語技能検定試験(通称、仏検)2級の過去問を解きながらフランス語の力、とりわけ文章読解力の向上を目指します。過去問を用いた学習以外にも、小テストなどによって語彙力を強化し、また、受講者のリクエストに応じて選んだフランス語のテキストを訳読します。なお、仏検を実際に受験をするか否かは受講者の自由です。

成績評価方法:

出席+試験

テキスト(教科書):

市販の単語集(未定)を購入していただきます(過去問はこちらで用意します)。

参考書:

授業中に指示します。

フランス語Ⅳa 1単位(春学期)**フランス語Ⅳb 1単位(秋学期)**

[春] フランス語の文章を読む

[秋] フランス語の文章を読む

セット履修

新島 和也

(春学期)**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

初級文法を終えたみなさんが新聞記事や簡単な文学作品を自力で読めるようにします。

辞書の使い方や文章を読む上での注意点を事例で説明し、必要に応じて文法の復習、簡単な和文仏訳などを行います。

成績評価方法:

平常点(出席状況、参加態度)と試験

テキスト(教科書):

コピー教材を使います。

(秋学期)**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

初級文法を終えたみなさんが新聞記事や簡単な文学作品を自力で読めるようにします。

辞書の使い方や文章を読む上での注意点を事例で説明し、必要に応じて文法の復習、簡単な和文仏訳などを行います。

成績評価方法:

平常点(出席状況、参加態度)と試験

テキスト(教科書):

コピー教材を使います。

参考書:

なし。

外国語Ⅱ 中国語

中国語Ⅳa 1単位(春学期)

中国語Ⅳb 1単位(秋学期)

[春] 中国語で日中間の慣習や大学事情について話してみましょ

[秋] 中国語で日中間の慣習や大学事情について話してみましょ

セット履修

胡 婉如

(春学期)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

初級中国語を履修した学生を対象にするこの授業は、基礎的な事項を再確認しながら、会話を中心に授業を進める。

A、やり方

前半:聞き取り練習を行ったり、発音を直したりする。

後半:学習者が主体的に前回の授業の内容に基づいて自力で仕上げていく予定です。

① 教材を朗読して内容の理解を確認する。句型や慣用句などの説明を通して、口頭で短文を造ってもらう。

② 本文の内容に基づいて問答練習や会話発表をしてもらい、ドリルなどを通して、理解度を確認する。

③ 授業中、できるだけ中国語を使う。

B、進み具合

学生の人数やレベルにもよるが、二、三回で一課のようなペースで、授業を進める予定である。

最新中国事情の学習や会話の発表を通して、日中間の慣習や大学事情について、中国語で中国人とコミュニケーションが少しでもとれるように次の3点を目標とする。

① 内容を聞いて直ちに理解できる。

② 正確な発音および自然なリズムで言える。

③ 日中間の慣習や大学事情について一般的な応答が支障なく行える。

成績評価方法:

試験成績

平常点(出席状況、会話発表、確認小テスト結果など)

テキスト(教科書):

『言葉と文化 一挙両得 中級中国語』 陳淑梅・陸薇 朝日出版社

参考書:

開講時指示する

(秋学期)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

引き続き教材の第8課から始まる。春学期と大体同じく、次のように授業を進めていく。

① 教材を朗読して内容の理解を確認する。句型や慣用句などの説明を通して、口頭で短文を造ってもらう。

② 本文の内容に基づいて問答練習や会話発表をもらい、ドリルなどを通して、理解度を確認する。

③ 授業中、できるだけ中国語を使う。

最新中国事情の学習や会話の発表を通して、日中間の慣習や大学事情について、中国語で中国人とコミュニケーションが少しでもとれるように次の3点を目標とする。

① 内容を聞いて直ちに理解できる

② 正確な発音および自然なリズムで言える

③ 日中間の慣習や大学事情について一般的な応答が支障なく行える

成績評価方法:

試験成績

平常点(出席状況、会話発表、確認小テスト結果など)

テキスト(教科書):

『言葉と文化 一挙両得 中級中国語』 陳淑梅・陸薇 朝日出版社

参考書:

開講時指示する

中国語Ⅳa 1単位(春学期)

中国語Ⅳb 1単位(秋学期)

[春] 中国の新聞を読む

[秋] 中国の新聞を読む

セット履修

村越 貴代美

(春学期)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

北京で市民によく読まれている「新京報」という新聞から記事を選んで、読んでいきます。

紙版と同じ内容の電子版がホームページにアップされますので、そこから記事を選んで、配布します。

新聞の文章には、独特の書き方があります。ニュースの内容について知るといより、新聞など報道文の「読み方」を学ぶと考えると、テーマは、政治・社会問題・生活・スポーツなど、なるべく幅広いジャンルから選びたいと思います。

成績評価方法:

授業での発表と、試験による。

テキスト(教科書):

プリントを配布する。

(秋学期)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

春学期に引き続き、北京の新聞「新京報」を読みます。

成績評価方法:

授業での発表と、試験による。

テキスト(教科書):

プリントを配布する。

中国語Ⅳa 1単位(春学期)

中国語Ⅳb 1単位(秋学期)

[春] 雑誌『読者』を読む

[秋] 雑誌『読者』を読む

セット履修

村越 貴代美

(春学期)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

『読者』という雑誌があります。いろいろな新聞・雑誌に掲載された短めの文章を集めたもので、月に2回発行され、中国でよく読まれているものです。

中国で大人が読む雑誌ですから、知らない言葉がたくさんあると思いますが、ここに載せられている文章は、中国の人が「ちょっとお洒落でいい話だ」と感じているものです。成語や慣用句がたくさん使われており、中級以上の学習者が語彙を増やすのに最適です。

成績評価方法:

授業での発表と試験による。

テキスト(教科書):

プリントを配布する。

(秋学期)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

春学期同様、『読者』を読みながら、語彙を増やします。

成績評価方法:

授業での発表と試験による。

テキスト(教科書):

プリントを配布する。

外国語Ⅱ スペイン語

スペイン語Ⅳa 1単位(春学期)

スペイン語Ⅳb 1単位(秋学期)

[春] スペイン語圏文化について話し合う

[秋] スペイン語圏文化の理解を深めよう

セット履修

ウエチ, ナンシー

(春学期)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

スペイン語の総合的応用能力を高めると同時に論理的・客観的な思考のトレーニングにも役立つような素材を取り扱う。ラテンアメリカの社会、文化などの理解を深めることを目指します。様々なテーマ

の読み物に触れることで、コミュニケーションをする知識を身につけて行きます。辞書をよく活用してスペイン語に親しむこと、情報を入力すること、批判的な意見を大切にします。また、インターネット等を利用したレポート、教材として活用することも考えています。テーマについて話し合う等の演習を行う。

成績評価方法:

成績評価基準: 出席状況、授業への参加態度、試験の結果などをあわせて総合的に判断します。

テキスト(教科書):

教室で配布

(秋学期)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

スペイン語の総合的な応用能力を高めると同時に論理的・客観的な思考のトレーニングにも役立つような素材を取り扱う。ラテンアメリカの社会、文化などの理解を深めることを目指します。様々なテーマの読み物に触れることで、コミュニケーションをする知識を身につけて行きます。辞書をよく活用してスペイン語に親しむこと、情報を入力すること、批判的な意見を大切にします。また、インターネット等を利用したレポート、教材として活用することも考えています。テーマについて話し合う等の演習を行う。

成績評価方法:

成績評価基準: 出席状況、授業への参加態度、試験の結果などをあわせて総合的に判断します。

テキスト(教科書):

教室で配布

スペイン語Ⅳa 1単位(春学期)

スペイン語Ⅳb 1単位(秋学期)

[春] ペルー内戦の記憶を読む

[秋] ペルー内戦の記憶を読む

セット履修

佐藤 正樹

(春学期)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業は、既に日吉で二年間スペイン語を勉強し、さらに三田でも学習を続けたい、という学生を対象とする読解中心の授業です。

本授業の目的は、ネイティブのスペイン語話者を想定して書かれた長文の精読を通じて、読解力を養うことです。今年度は、昨年度に引き続き、20世紀末の南米ペルーを震撼させたテロリスト集団、センドロ・ルミノソ Sendero Luminoso のリーダー、アビマエル・グスマン Abimael Guzmán の生涯を題材にしたベストセラー小説 La Cuarta Espada を取り上げます。仮にペルーやその歴史に関心が無くとも、小説として興味深く読める内容になっています。なお、昨年度読み進めた部分については翻訳原稿を配布し、その先から読解を進めていく予定です。

授業は、一定量のスペイン語テキストを事前に訳してきてもらい、授業現場で翻訳内容について確認・議論する形で進めます。必要に応じて文法解説や練習なども行います。

成績評価方法:

授業への参加(和訳準備を含む)、および授業内試験で評価を行います。

テキスト(教科書):

なし。テキストは授業中に適宜配布します。

参考書:

授業内で適宜紹介していきます。

(秋学期)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業は、既に日吉で二年間スペイン語を勉強し、さらに三田でも学習を続けたい、という学生を対象とする読解中心の授業です。

本授業の目的は、ネイティブのスペイン語話者を想定して書かれた長文の精読を通じて、読解力を養うことです。今年度は、昨年度に引き続き、20世紀末の南米ペルーを震撼させたテロリスト集団、センドロ・ルミノソ Sendero Luminoso のリーダー、アビマエル・グスマン Abimael Guzmán の生涯を題材にしたベストセラー小説 La Cuarta Espada を取り上げます。仮にペルーやその歴史に関心が無くとも、小説として興味深く読める内容になっています。なお、昨年度読み

進めた部分については翻訳原稿を配布し、その先から読解を進めていく予定です。

授業は、一定量のスペイン語テキストを事前に訳してきてもらい、授業現場で翻訳内容について確認・議論する形で進めます。必要に応じて文法解説や練習なども行います。

成績評価方法:

授業への参加(和訳準備を含む)、および授業内試験で評価を行います。

テキスト(教科書):

なし。テキストは授業中に配布します。

参考書:

授業内で適宜紹介していきます。

スペイン語Ⅳa 1単位(春学期)

スペイン語Ⅳb 1単位(秋学期)

[春] スペイン語中上級

[秋] スペイン・中南米の現代事情について読む。

セット履修

山本 昭代

(春学期)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

スペイン語の基本的な文法項目を直説法から接続法までひととおり終えている人を対象としたクラスです。これまで習った文法項目を復習しながら、さらに語彙を増やし、新しい表現を学んでいきます。同時にスペイン語が話される国々の歴史や文化にも関心を深めることを目標とします。

受講者のレベル・希望に応じて講義内容を修正することもあります。

成績評価方法:

授業への参加度、期末試験、課題によって総合的に評価する。

テキスト(教科書):

『初級～中級スペイン語 世界遺産を訪ねて 改訂版』 禅野美徳ほか 著 朝日出版社 2016年 ISBN:978-4-255-55068-8

(秋学期)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

スペイン・中南米地域のインターネット新聞・雑誌から、受講者の興味・関心に応じて抜粋して読み、議論する。

成績評価方法:

授業への参加度、期末試験、課題によって総合的に評価する。

テキスト(教科書):

教科書はなし。コピーを配布する。

外国語Ⅱ (選択A)

ドイツ語Ⅴa 1単位(春学期)

ドイツ語Ⅴb 1単位(秋学期)

[春] ドイツ語の基本

[秋] ドイツ語の基本

セット履修

七字 眞明

(春学期)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

ドイツ語圏の大学への留学のチャンスが生まれた、大学卒業前に第3、第4、…の外国語としてドイツ語を勉強してみたくなった、研究会(ゼミ)でドイツ語の基礎知識が急速必要となった、ドイツ語圏へ短期留学したがあらためて文法を確認したい、何らかの個人的な理由により最低限のドイツ語の会話力や聞き取り能力を身に付けたい、といった皆さんを対象として、ドイツ語文法の基礎を解説するとともに、ドイツ語による簡単なコミュニケーションの練習を行います。

テキストとして「ドイツ語の時間〈話すための文法〉web練習問題付」(清野智昭著・朝日出版社)を使用します。

成績評価方法:

試験は行いません。授業への積極的な参加状況により成績評価を行います。そのため、欠席・遅刻が多いと不合格となります。

テキスト(教科書):

『ドイツ語の時間〈話すための文法〉web練習問題付』(清野智昭著・朝日出版社・ISBN:978-4-255-25389-3・2200円+税)

参考書:
授業中に適宜紹介します。

(秋学期)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

ドイツ語圏の大学への留学のチャンスが生まれた、大学卒業前に第3、第4、…の外国語としてドイツ語を勉強してみたく、研究会(ゼミ)でドイツ語の基礎知識が急遽必要となった、ドイツ語圏へ短期留学したがあらためて文法を確認したい、何らかの個人的な理由により最低限のドイツ語の会話力や聞き取り能力を身に付けたい、といった皆さんを対象として、ドイツ語文法の基礎を解説するとともに、ドイツ語による簡単なコミュニケーションの練習を行います。

テキストとして「ドイツ語の時間〈話すための文法〉web練習問題付」(清野智昭著・朝日出版社)を使用します。

成績評価方法:

試験は行いません。授業への積極的な参加状況により成績評価を行います。そのため、欠席・遅刻が多いと不合格となります。

テキスト(教科書):

『ドイツ語の時間 <話すための文法> web練習問題付』(清野智昭著・朝日出版社・ISBN: 978-4-255-25389-3・2200円+税)

参考書:

授業中に適宜紹介します。

フランス語 Va 1単位(春学期)

フランス語 Vb 1単位(秋学期)

[春] フランス語学術表現演習 I

[秋] フランス語学術表現演習 II

セット履修

ルボワ, ジェローム

(春学期)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業の目的は、筆記表現力とコミュニケーションの能力を高めることにあります。また、フランス的な発表の方法や論述の仕方について取り上げていきます。

ある言語を学ぶということは、「口頭理解・表現能力」と「筆記理解・表現能力」だけではならず、相手国の文化やその言語を使っている人々の考え方を理解しなければ、上手くコミュニケーションを取れないと考えられます。この授業では、様々なフランス文化(社会、歴史、思想、文学など)をテーマにして日本文化と比較しながら議論や発表を行います。

成績評価方法:

授業への積極的な参加の有無、及び学期末の試験やレポートを総合して、評価を行います。

テキスト(教科書):

授業中に配布するプリント。

(秋学期)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業の目的は、筆記表現力とコミュニケーションの能力を高めることにあります。また、フランス的な発表の方法や論述の仕方について取り上げていきます。

ある言語を学ぶということは、「口頭理解・表現能力」と「筆記理解・表現能力」だけではならず、相手国の文化やその言語を使っている人々の考え方を理解しなければ、上手くコミュニケーションを取れないと考えられます。この授業では、様々なフランス文化(社会、歴史、思想、文学など)をテーマにして日本文化と比較しながら議論や発表を行います。

成績評価方法:

授業への積極的な参加の有無、及び学期末の試験やレポートを総合して、評価を行います。

テキスト(教科書):

授業中に配布するプリント。

中国語 V 1単位(春学期)

中国語 V 1単位(秋学期)

[春] 中国語の慣用句を使いこなしましょう

[秋] 中国語の慣用句を使いこなしましょう

胡婉如

(春学期)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

中国語らしき中国語の表現を身に付け、日中の語感の違いに気づき、実践的な中国語会話能力を高めるとともに中国人の発想、生活習慣を理解してもらうためにこの授業は中国北京語言大学教材『漢語口語慣用句教程』に基づいて、最新の表現などを取り入れながら自由会話を中心に授業を進めていく。

主に次の3点を目標とする。

1. 慣用句の奥深さを理解し、より幅広いより豊かな表現を身に付ける。
 2. 日常生活における会話に慣用句を応用できる。
 3. 聴く、話す、読む、書く四機能を含めた総合能力を高める。
- やり方
- ① 課文の朗読とヒアリングによる内容の理解を確認したうえで受講者同士による問答練習を行う。
 - ② 文型や慣用句などを用いてペアで口頭練習を行う。
 - ③ 発表者による話題の展開について、添削後全員議論する。
 - ④ 毎回最も興味のある最新話題を5分間自由トークする。

進み具合

受講者数とレベルにもよるが、3回1課のペースで授業を進める予定。

成績評価方法:

期末試験

平常点 (出席状況、会話発表、小テスト)

テキスト(教科書):

『中国語口語表現 ネイティブに学ぶ慣用句』沈建華編著 是永俊・陳薇編訳 東方書店

参考書:

開講時指示する

(秋学期)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

春学期の続きで、中国語らしき中国語の表現を身に付け、日中の語感の違いに気づき、実践的な中国語会話能力を高めるとともに中国人の発想、生活習慣を理解してもらうためにこの授業は中国北京語言大学教材『漢語口語慣用語教程』に基づいて、最新の表現などを取り入れながら自由会話を中心に授業を進めていく。

主に次の3点を目標とする。

1. 慣用句の奥深さを理解し、より幅広いより豊かな表現を身に付ける。
 2. 日常生活における会話に慣用句を応用できる。
 3. 聴く、話す、読む、書く四機能を含めた総合能力を高める。
- やり方
- ① 課文の朗読とヒアリングによる内容の理解を確認したうえで受講者同士による問答練習を行う。
 - ② 文型や慣用句などを用いてペアで口頭練習を行う。
 - ③ 発表者による話題の展開について、添削後全員議論する。
 - ④ 毎回最も興味のある最新話題を5分間自由トークしてもらう。

進み具合

受講者数とレベルにもよるが、3回1課のペースで授業を進める予定

成績評価方法:

期末試験

平常点 (出席状況、会話発表、小テスト)

テキスト(教科書):

『中国語口語表現 ネイティブに学ぶ慣用句』沈建華編著 是永俊・陳薇編訳 東方書店

参考書:

開講時指示する

スペイン語 Va 1 単位(春学期)**スペイン語 Vb 1 単位(秋学期)**

[春] DELE B1、B2 の読解問題

[秋] Patente de curso を読む

セット履修

山本 昭代

(春学期)**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

スペイン語の初級・中級の文法を一通り終え、接続法まで理解している人を対象としたクラスです。

DELE(Diploma de Español como Lengua Extranjera)とは、スペインの教育・職業訓練省が認定するスペイン語の検定試験です。スペイン語圏への留学や就職の際に語学能力を証明する手段として重視されています。

必ずしも留学などを旨さないまでも、DELEの試験問題はレベルに応じた標準的なスペイン語が用いられ、語学力を向上させるうえで最適です。

この講義では、とくに読解の問題を中心に、受講者のレベルに応じて、B1(中級)またはB2(中上級)の問題を解いていきます。

成績評価方法:

平常点30点、期末試験70点の割合で評価します。

平常点には、授業への参加度、授業準備、授業態度などが含まれます。

テキスト(教科書):

プリント配布

(秋学期)**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

後期は、スペインの有名な作家アルトゥーロ・ペレス＝レベルテがウェブ上で連載しているエッセイ「Patente de curso」を読みます。風格のあるよく練られた文章は非常に読みがいがあり、こまめに辞書を引き、ときにはネットで検索するなどしながら読み込む必要があります。

成績評価方法:

平常点30点、期末試験70点の割合で評価します。

平常点には、授業への参加度、授業準備、授業態度などが含まれます。

テキスト(教科書):

プリント配布

ロシア語 a 1 単位(春学期)**ロシア語 b 1 単位(秋学期)**

[春] ロシア語初級

[秋] ロシア語初級

セット履修

佐野 洋子

(春学期)**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

この授業は、初めてロシア語を学ぶ人を対象としたクラスです。一年間で、標準ロシア語文を読む上で必要な文法を習得していきます。今学期は、発音と文法の基礎を学びます。

まずは、発音・アクセント・イントネーションを徹底させ、さらに講読や文章表現力の基礎となる、最低限の基礎的語彙、文法事項、基本構文の習得を目指します。最終的には、辞書と文法表を用いれば、平易なロシア語文を自力で読める読解力をつけることが本授業の目標です。

成績評価方法:

平常点：授業での質疑応答、課題の発表などを総合して判断します。

テキスト(教科書):

教材は、初回の授業で配布します。

参考書:

露和辞典が必要となりますが、初回の授業で説明します。

(秋学期)**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

この授業は一年間で完結する授業です。春学期に引き続き、標準ロシア語文を読む上で必要な文法を習得していきます。今学期は、文法の総仕上げを行い、訳読を中心に進めていきます。

中級レベルの文を、辞書と文法表を用いて、正確に読む力をつけることが今学期の目的です。最終的には、各自の興味や専門に従

って、独学でもロシア語を続けていける基礎学力をつけたいと思います。

成績評価方法:

平常点：授業での質疑応答、課題の発表などを総合して判断します。

テキスト(教科書):

春学期に使用した教科書を引き続き用います。その他、プリントも配布します。

参考書:

『露和辞典』を準備してください。